



機能解説

CIMPHONY Plusでの各種設定や機能、その操作方法についてご説明します。

※はじめての方は、まず、「かんたん操作」をお読みいただくことをおすすめします。

3D : [現場情報] の [3Dを利用する] がオンの場合に
使用できる機能です。

※ [3Dを利用する] は「Professional」プランの場合に
表示されます。

目次

1. 役割と権限	1
2. アカウントの登録	4
2-1 CIMPTHONY Plusにアカウントを登録する	4
2-2 CIMPTHONY Plusにログインする	7
2-3 CIMPTHONY Plusからログアウトする	8
2-4 ユーザー情報を変更する	9
2-5 グループの管理	11
3. 契約者	15
3-1 契約認証を行う	15
3-2 契約者を変更する	18
3-3 契約内容を確認する	20
3-4 契約現場一覧を確認する	21
3-5 現場作成権限を設定する	22
3-6 現場参加者を除名する	24
4. 現場作成者	25
4-1 現場を新規作成する	25
5. 所有者	28
5-1 現場に招待する	28
5-2 参加者に現場に対する権限を設定する	31
5-3 現場情報を編集する	32
5-4 現場を削除する	34

6. 作成者－現場管理	35
6-1 地図を切り替える	35
6-2 現場を検索する	36
6-3 現場の表示切替（工期前/工期中/終了）	37
6-4 現場の表示切替（リスト表示とタイル表示）	38
6-5 現場情報を確認する	39
6-6 現場に入る	41
6-7 現場を切り替える	42
7. 作成者－現場ビューア	43
7-1 ファイルを登録する	43
7-2 タイムライン：日付選択	47
7-3 タイムライン：表示期間の切り替え	49
7-4 ファイルを確認する	50
7-5 ファイル情報を変更する	52
7-6 ファイル一覧について	55
7-7 地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える	56
7-8 距離を計測する	62
7-9 面積を計測する	64
7-10 体積を計測する 3D	66
7-11 注釈：マーカーを配置する	68
7-12 注釈：テキストを配置する	69
7-13 注釈：ファイルを配置する	70
7-14 計測や注釈を編集する/削除する	74
7-15 管理断面を確認する 3D	78
7-16 任意断面を確認する 3D	79
7-17 現況データを比較する 3D	80
7-18 土量進捗を確認する 3D	83
7-19 カラーバーを編集する 3D	85
7-20 視点を切り替える	87

7-21	現場ビューアの画像を出力する	89
7-22	現場共有URLを発行する	91
7-23	点群の表示設定を行う 3D	92
7-24	3Dデータの標高を補正する 3D	93
7-25	地中のデータの表示/非表示を切り替える 3D	94
7-26	ヘルプを表示する	95
8.	作成者 – ファイル管理	96
8-1	フォルダーの追加/削除/名称変更/移動	96
8-2	ファイルの追加/削除/情報編集/移動	101
8-3	ファイル情報を確認する	115
8-4	ファイルを検索する	116
8-5	ファイルをダウンロードする	117
9.	参照者 – 現場管理	120
9-1	地図を切り替える	120
9-2	現場を検索する	121
9-3	現場の表示切替（工期前/工期中/終了）	122
9-4	現場の表示切替（リスト表示とタイル表示）	123
9-5	現場情報を確認する	124
9-6	現場に入る	126
9-7	現場を切り替える	127
10.	参照者 – 現場ビューア	128
10-1	タイムライン：日付選択	128
10-2	タイムライン：表示期間の切り替え	131
10-3	ファイルを確認する	132
10-4	ファイル一覧について	134
10-5	地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える	135
10-6	管理断面を確認する 3D	141
10-7	任意断面を確認する 3D	142
10-8	現況データを比較する 3D	143
10-9	土量進捗を確認する 3D	146
10-10	視点を切り替える	148

10-11	現場ビューアの画像を出力する	150
10-12	点群の表示設定を行う 3D	152
10-13	地中のデータの表示/非表示を切り替える 3D	153
10-14	ヘルプを表示する	154
11.	参照者－ファイル管理	155
11-1	ファイル管理を開く	155
11-2	ファイルを検索する	156
11-3	ファイル情報を確認する	157
11-4	ファイルをダウンロードする	158
12.	設計ビューア 3D	161
12-1	設計ビューアを開く 3D	161
12-2	画面構成 3D	164
13.	点群ビューア 3D	166
13-1	点群ビューアを開く 3D	166
13-2	画面構成 3D	169
14.	3Dモデルビューア 3D	171
14-1	3Dモデルビューアを開く 3D	171
14-2	画面構成 3D	173
15.	図面ビューア 3D	175
15-1	図面ビューアを開く 3D	175
15-2	画面構成 3D	177
16.	注意事項	179
16-1	工期終了した現場での作業の制限について	179

1

役割と権限

契約に関する役割、現場に関する役割、各役割に与えられた権限を説明します。

アカウントを登録すると、**通常ユーザー**になります。



契約認証を行った人は、**契約者**になります。

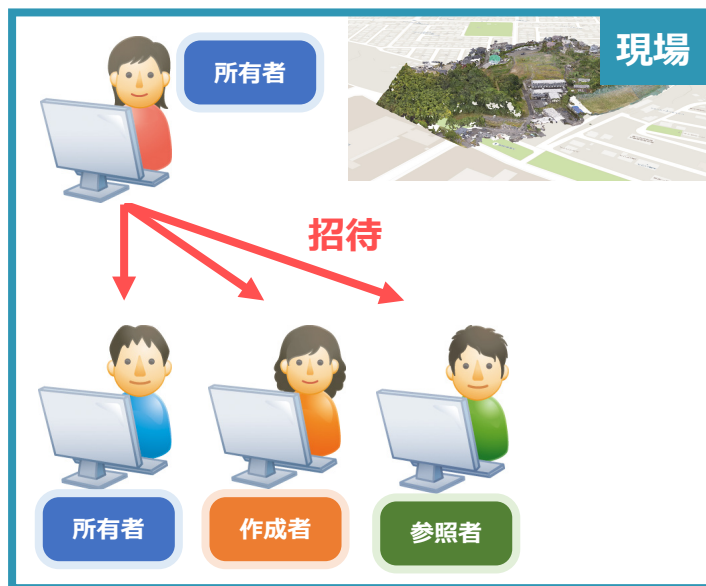


契約者が現場作成権限を付与した人は、**現場作成者**になります。



現場作成者は作成した現場の**所有者**になり、所有者は招待した人に、**所有者**、**作成者**、**参照者**の権限を付与することができます。

※役割と権限の詳細は次ページを確認してください。



契約権限

■ 契約に関する役割

通常ユーザー	新規アカウント登録を行うと、すべてのアカウントはまず通常ユーザーとなります。 現場作成はできません。（※現場に招待してもらわないと作業できません。）
契約者	契約認証を行うと、通常ユーザーから契約者になります。 現場作成の他に、現場作成権限を他の通常ユーザーに与えることができます。
現場作成者	契約者から現場作成権限を与えられたユーザーです。 現場の作成が可能です。

■ 各役割に与えられた権限

	通常ユーザー	契約者	現場作成者
契約情報の閲覧		○	
現場作成権限の付与		○	
現場の新規登録		○	○
グループ管理	○	○	○

現場権限

■ 現場に関する役割

所有者	現場情報の管理、参加者の招待、参加者への権限設定ができます。 現場を作成したユーザーおよび契約者は、自動的に現場の所有者となります。 複数人所有者を設定することもできます。
作成者	現場内で、データの閲覧・登録・編集ができます。
参照者	現場内で、データの閲覧のみ可能です。

■ 各役割に与えられた権限

画面	機能	所有者	作成者	参照者
現場管理	現場情報	○	閲覧のみ	閲覧のみ
	参加者招待	○	×	×
	現場削除	○	×	×
現場ビューア	計測－距離計測	○	○	閲覧のみ
	計測－面積計測	○	○	閲覧のみ
	計測－体積計測 3D	○	○	閲覧のみ
	注釈	○	○	閲覧のみ
	断面 3D	○	○	○
	施工状況 3D	○	○	○
	カラーバーの編集 3D	○	○	×
	視点切替	○	○	○

画面	機能	所有者	作成者	参照者
現場ビューア	出力－画像出力	○	○	○
	出力－URL 共有	○	○	×
	表示設定－点群表示 3D	○	○	○
	表示設定－標高補正 3D	○	○	×
	ヘルプ	○	○	○
ファイル管理	フォルダー	○	○	閲覧のみ
	ファイル	○	○	閲覧のみ
	ダウンロード	○	○	○
設計ビューア 3D	断面	○	○	○
	視点切替	○	○	○
	出力－画像出力	○	○	○
	出力－URL 共有	○	○	×
	表示設定－標高補正	○	○	×
	ヘルプ	○	○	○
点群ビューア 3D	視点切替	○	○	○
	出力－画像出力	○	○	○
	出力－URL 共有	○	○	×
	表示設定－点群表示	○	○	○
	表示設定－標高補正	○	○	×
	ヘルプ	○	○	○
3D モデルビューア 3D	視点切替	○	○	○
	出力－画像出力	○	○	○
	出力－URL 共有	○	○	×
	表示設定－標高補正	○	○	×
	ヘルプ	○	○	○
図面ビューア 3D	データ領域	○	○	○
	出力－画像出力	○	○	○
	出力－URL 共有	○	○	×
	背景色	○	○	○
	ヘルプ	○	○	○

2

アカウントの登録

CIMPHONY Plusのアカウント登録方法や、ログイン・ログアウト、ユーザー情報の変更、グループ管理の操作を説明します。

2-1 CIMPHONY Plusにアカウントを登録する

CIMPHONY Plusにアカウントを登録する方法を説明します。

① ログイン画面

(<https://cimphonyplus.fukuicompu.co.jp/fccloud/>) で、
[新規アカウント登録] をクリックします。

ログイン画面は、[福井コンピュータホームページ] - [製品・サービスを探す] - [CIMPHONY Plus] - [ログインはこちら] から開くこともできます。



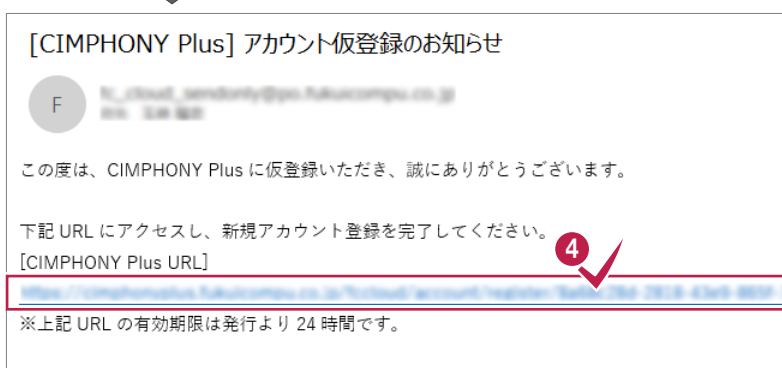
② メールアドレスを入力します。

③ [メール送信] をクリックします。

入力したメールアドレスに
「[CIMPHONY Plus] アカウント仮登録のお知らせ」が送信されます。



④ 記載されている URL にアクセスします。



- 5 [プライバシーポリシーを承諾] をクリックします。

プライバシーポリシーを最後まで読む
(一番下までスクロールする)と、
有効になります。

プライバシーポリシーの承諾

以下のプライバシーポリシーを最後までお読み（一番下までスクロールして）いただき「プライバシーポリシーを承諾」をチェックしてから次へお進みください。

会社名	個人情報管理責任者
福井コンピュータホールディングス株式会社	
福井コンピュータアーキテクト株式会社	福井コンピュータホールディングス株式会社 情報システム部 部長
福井コンピュータスマート株式会社	
福井コンピュータ株式会社	福井コンピュータ株式会社 個人情報管理責任者

■個人情報に関するお問い合わせ窓口
Webからのお問い合わせ：[個人情報に関するお問い合わせフォーム](#)
お電話によるお問い合わせ：福井コンピュータグループ総合案内（ナビダイヤル）0570-039-291
※福井コンピュータシステム株式会社のプライバシーポリシーについては、[こちら](#)をご覧ください。

☒ プライバシーポリシーを承諾

- 6 アカウント情報を入力します。

(*は入力必須項目です。)

- 7 [登録] をクリックします。

登録が完了し、入力したメールアドレスに「[CIMPHONY Plus] アカウント登録完了のお知らせ」が送信されます。

登録できる写真ファイルの拡張子は、
「gif」「jpg」「jpeg」「png」「bmp」です。

[パスワード] は8文字以上20文字以内
の英数字を混在させた半角英数字を入力
してください。

新規アカウント登録

6 メールアドレス

氏名* 福井 太郎

氏名 (カナ)

電話番号

会社名* 福井コンピュータ株式会社

会社名 (カナ)

写真

ファイルをここにドロップ
OR
クリックしてファイル参照...

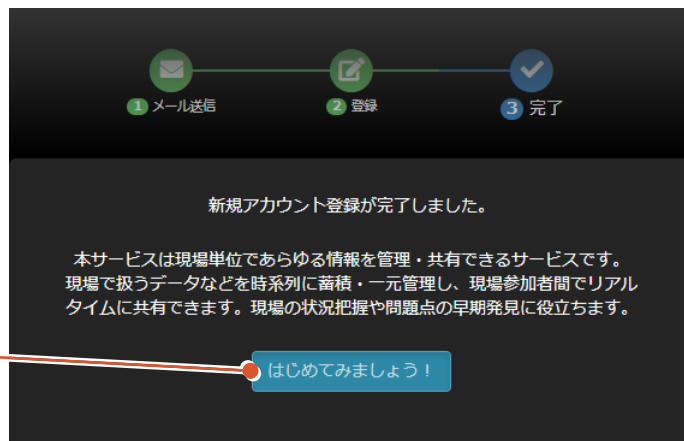
パスワード*

パスワード (確認用)*

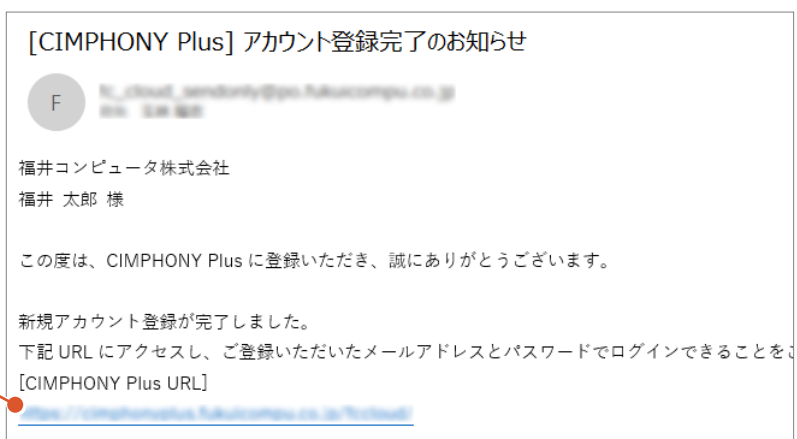
利用規約* ☒ 同意する

← ログインへ 登録

【はじめてみましょう！】をクリックすると、CIMPHONY Plusにログインします。



記載されているURLにアクセスすると、ログイン画面が表示されます。ログインする方法は、「2-2.CIMPHONY Plusにログインする」(P.7)を参照してください。



2-2 CIMPHONY Plusにログインする

CIMPHONY Plusにログインする方法を説明します。

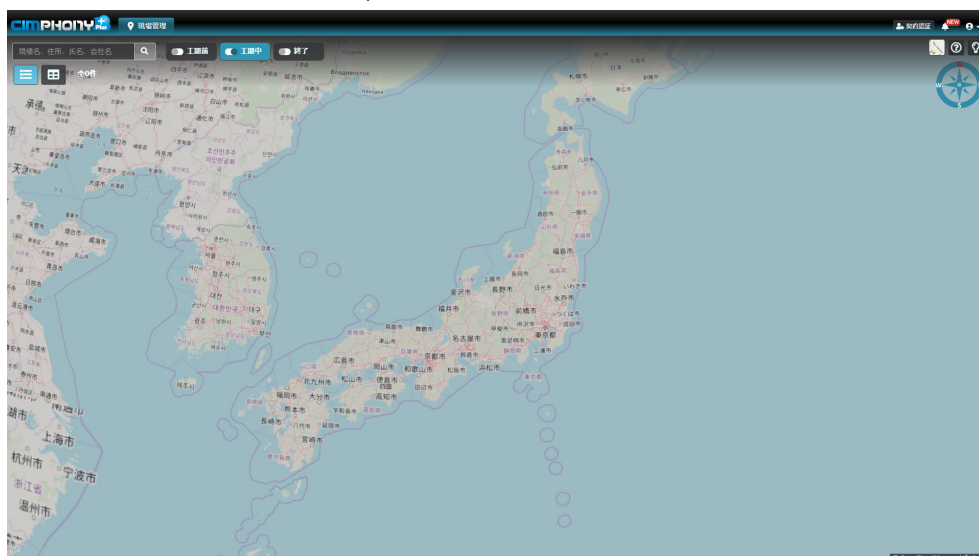
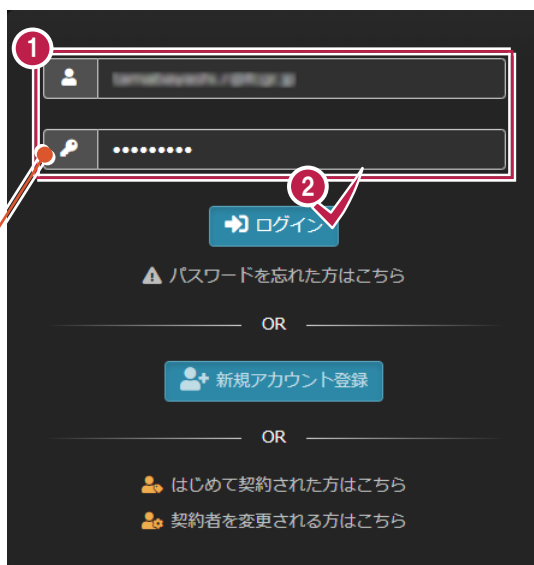
1 ログイン画面

(<https://cimphonyplus.fukuicompu.co.jp/fccloud/>) で、メールアドレスとパスワードを入力します。

2 [ログイン] をクリックします。

現場管理画面が表示されます。

パスワードを30分以内に5回連続で間違えると、アカウントがロックされます。注意して入力してください。



ログイン画面は、[福井コンピュータホームページ] – [製品・サービスを探す] – [CIMPHONY Plus] – [ログインはこちら] から開くこともできます。

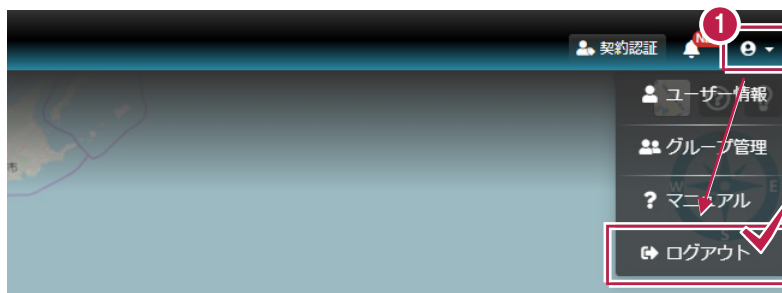


2-3 CIMPAPHONY Plusからログアウトする

CIMPAPHONY Plusからログアウトする方法を説明します。

- 1 画面右上のユーザーボタン（ログアウト）をクリックします。

CIMPAPHONY Plus が終了し、ログイン画面が表示されます。

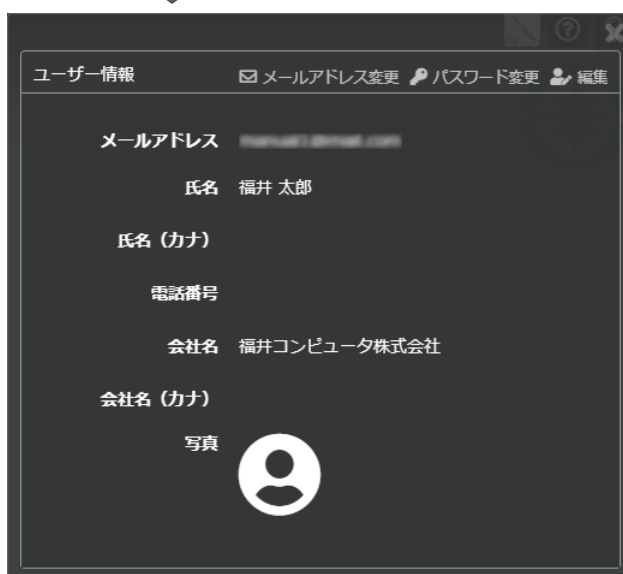


2-4 ユーザー情報を変更する

ユーザー情報を変更する方法を説明します。

- 1 画面右上のユーザーボタン－ [ユーザー情報] をクリックします。

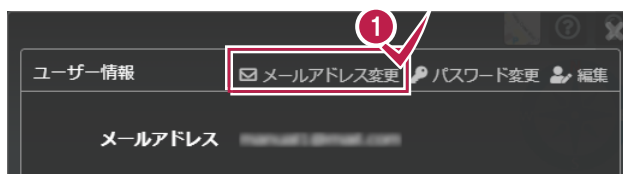
ユーザー情報が表示されます。



■ メールアドレス変更

メールアドレスを変更します。

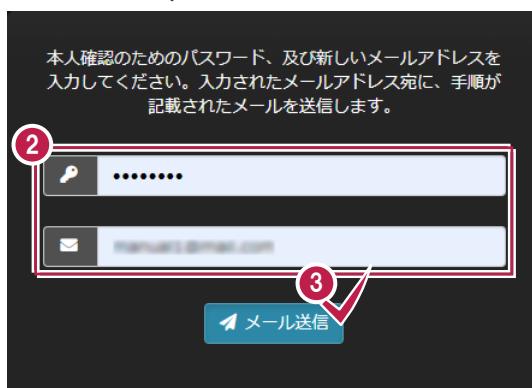
- 1 [メールアドレス変更] をクリックします。



- 2 パスワードと新しいメールアドレスを入力します。

- 3 [メール送信] をクリックします。

入力したメールアドレスに「[CIMPHONY Plus] メールアドレス変更のお知らせ」が送信されます。



- ④ 記載されている URL にアクセスします。

次の手順で、このコードを使用します。

[CIMPHONY Plus] メールアドレス変更のお知らせ

F  fukunishi@fukunishi.com
TEL: 011-234-5678

福井コンピュータ株式会社
福井 太郎 様

平素は、CIMPHONY Plus をご利用いただき、誠にありがとうございます。

下記 URL にアクセスし、コードを入力して、メールアドレス変更を完了してください。

=====

コード: 12345678901234567890

=====

[CIMPHONY Plus URL]

<https://www.cimphonyplus.co.jp/portal/account/changeemail/Token/2017/267/12345678901234567890>

※上記 URL の有効期限は発行より 24 時間です。

- ⑤ メールに記載されているコードを入力します。

- ⑥ [確認] をクリックします。

メールアドレスが変更され、ログイン画面が表示されます。

新しいメールアドレスでログインしてください。

送信されたメールに記載されたコードを入力してください。

⑤

⑥

■ パスワード変更

パスワードを変更します。

- ① [パスワード変更] をクリックします。

ユーザー情報

✉ メールアドレス変更 **🔑 パスワード変更** 👤 編集

メールアドレス fukunishi@fukunishi.com

氏名 福井 太郎

- ② [現パスワード] [パスワード] [パスワード (確認用)] を入力します。

- ③ [パスワード変更] をクリックします。

パスワードが変更され、ログイン画面が表示されます。

新しいパスワードでログインしてください。

[パスワード] は8文字以上20文字以内の英数字を混在させた半角英数字を入力してください。

パスワード変更

②

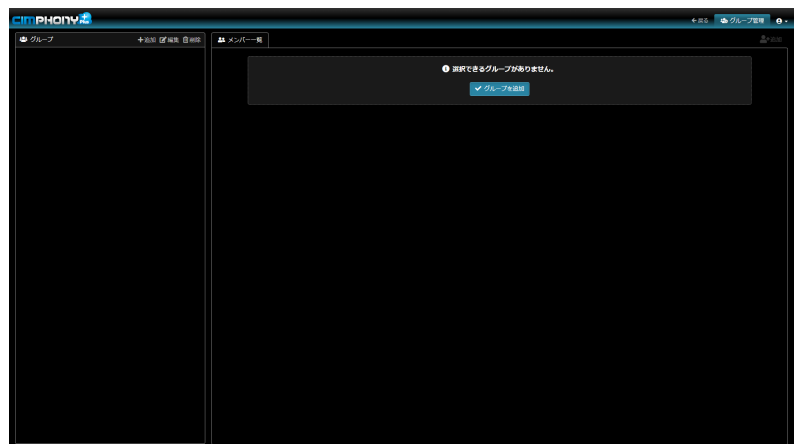
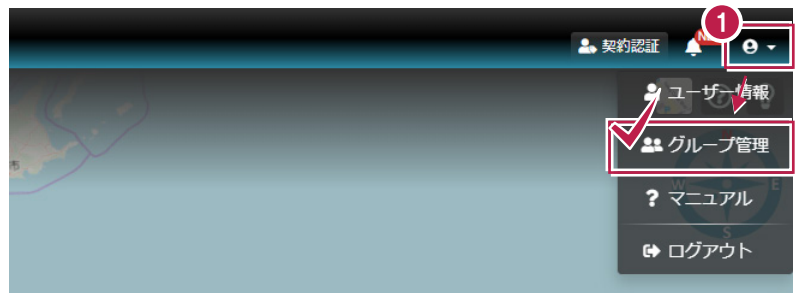
③

2-5 グループの管理

グループ管理とは、現場と一緒にいく人や、会社の組織等を最初に登録しておく機能です。
グループにメンバーを登録することで、現場に招待しやすくなります。
ここでは、グループの追加と削除、メンバーの追加と編集について説明します。

- 1 画面右上のユーザーボタン－〔グループ管理〕をクリックします。

グループ管理画面が表示されます。



■ グループの追加

グループを追加します。

- 1 グループ一覧右上の〔追加〕をクリックします。



- 2 グループ名を入力後、enter キーを押して確定します。

グループが追加されます。



■ グループ名の変更

グループ名を変更します。

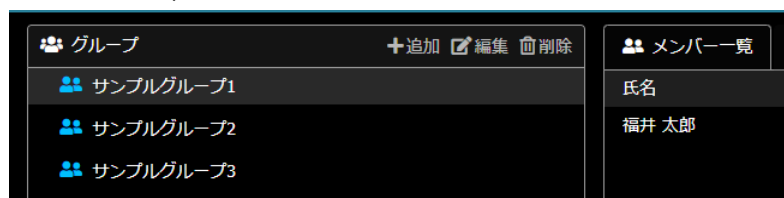
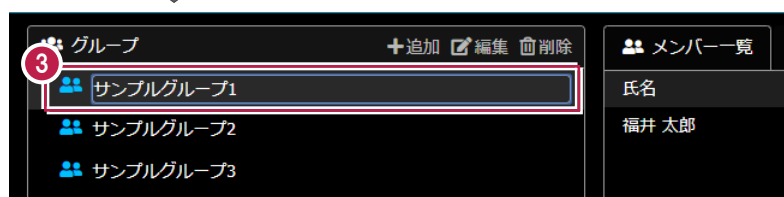
① 名前を変更するグループを選択します。

② グループ一覧右上の「編集」をクリックします。



③ グループ名を入力後、enter キーを押して確定します。

グループ名が変更されます。



■ グループの削除

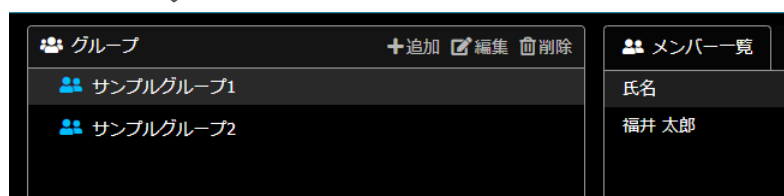
グループを削除します。

① 削除するグループを選択します。

② グループ一覧右上の「削除」をクリックします。



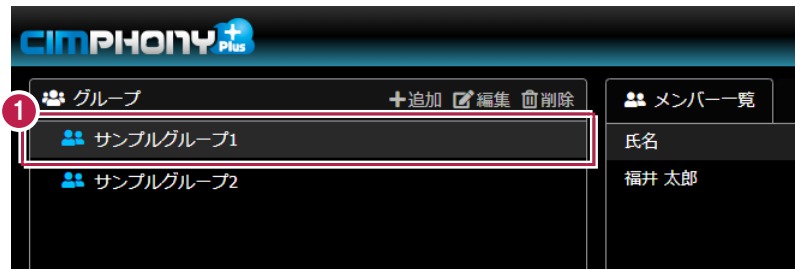
③ 「はい」をクリックします。
グループが削除されます。



■メンバーの追加

メンバーを追加します。

- 1 メンバーを追加するグループを選択します。



- 2 メンバー一覧右上の「追加」をクリックします。



- 3 「メールアドレスから検索」、もしくは「知り合いを検索」を使用して、ユーザーを検索します。

「メールアドレスから検索」：
入力されたメールアドレスに完全一致する、
アカウント登録済みのユーザーを検索します。

「知り合いを検索」：
参加中の現場か、参加している他のグループ
から、ユーザーを検索します。

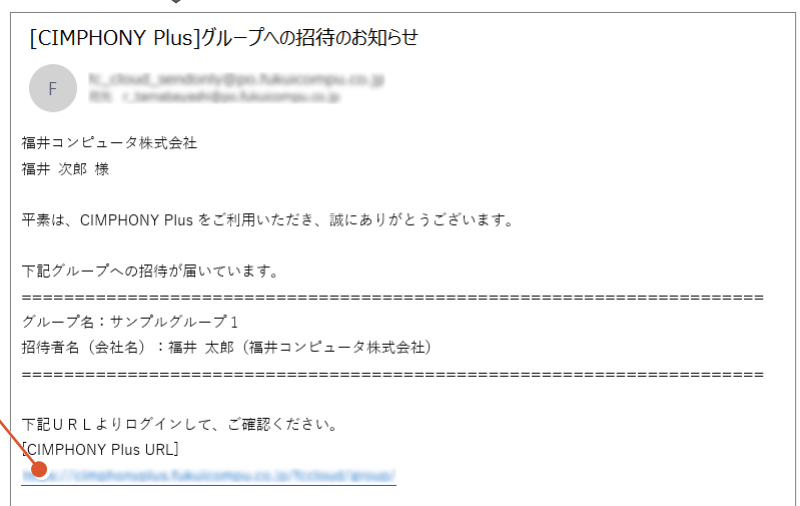


- 4 招待するユーザーのチェックをオンにします。

- 5 「招待」をクリックします。

招待された人に「[CIMPAPHONY Plus]グループ
への招待のお知らせ」が送信されます。

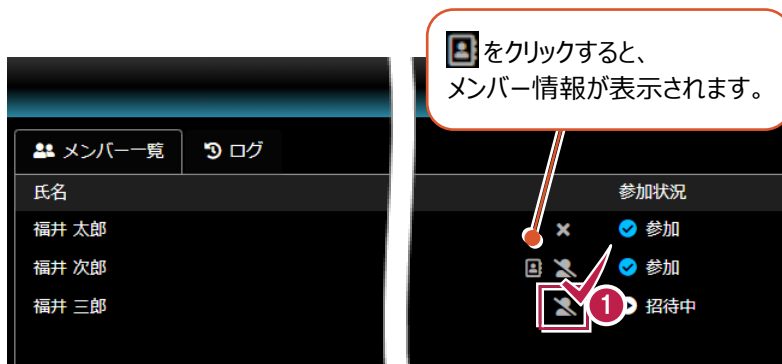
記載されているURLにアクセスしてログイン
すると、グループに参加することができます。



■メンバーの編集

メンバーの各編集を行います。

- 1 [参加状況] の左側のアイコンをクリックします。



- 2 [はい] をクリックします。
メンバーが一覧から削除されます。



■ログの確認

各グループの編集履歴を確認します。

- 1 [ログ] タブを選択します。
編集履歴が表示されます。



3

契約者

契約認証を行うと、通常ユーザーから契約者になります。

契約者は、現場作成の他に、現場作成権限を他の通常ユーザーに与えることができます。

ここでは、契約情報の設定や、契約内容・契約現場一覧の確認、現場作成権限の付与・解除、現場参加者を除名する操作を説明します。

3-1 契約認証を行う

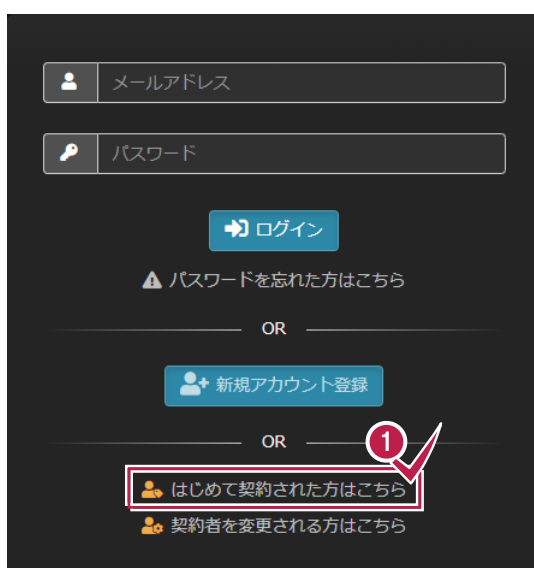
通常ユーザーが契約認証を行う方法を説明します。

※一人が複数の契約認証を行うことはできません。また、他の契約の現場作成者（現場作成の権限を持っている方）は契約認証できません。

① ログイン画面

(<https://cimphonyplus.fukuicompu.co.jp/fccloud/>) で、
「はじめて契約された方はこちら」をクリックします。

ログイン画面は、「福井コンピュータホームページ」－「製品・サービスを探す」－「CIMPHONY Plus」－「ログインはこちら」から開くこともできます。



② 契約情報を設定するアカウントのメールアドレスを入力します。

③ 「メール送信」をクリックします。

入力したメールアドレスに
「[CIMPHONY Plus] 契約認証のお知らせ」
が送信されます。



- ④ 記載されている URL にアクセスします。

アカウントが登録されていない場合は、プライバシーポリシーの承諾画面が表示されます。
アカウントの登録方法は、「2-1.CIMPHONY Plusにアカウントを登録する」のP.5を参照してください。

[CIMPHONY Plus] 契約認証のお知らせ

F  fukucloud_security@fuku.fukuicompu.co.jp
TEL: 092-555-2991 FAX: 092-555-2991

福井コンピュータ株式会社
福井 太郎 様

この度は、CIMPHONY Plus をご契約いただき、誠にありがとうございます。

下記 URL にアクセスし、契約認証を完了してください。
[CIMPHONY Plus URL]
<https://cimphonyplus.fukuicompu.co.jp/fcloud>

※上記 URL の有効期限は発行より 24 時間です。

- ⑤ メールアドレスとパスワードを入力します。

- ⑥ [ログイン] をクリックします。

契約認証画面が表示されます。

⑤ メールアドレスとパスワードを入力します。

⑥ [ログイン] をクリックします。

- ⑦ [契約コード] [ユーザーコード] を入力します。

- ⑧ [認証] をクリックします。

認証が完了し、入力したメールアドレスに「[CIMPHONY Plus] 契約認証完了のお知らせ」が送信されます。

⑦ [契約コード] [ユーザーコード] を入力します。

⑧ [認証] をクリックします。

※契約書類に記載されているコードを入力してください。

※契約書類に記載されているコードを入力してください。

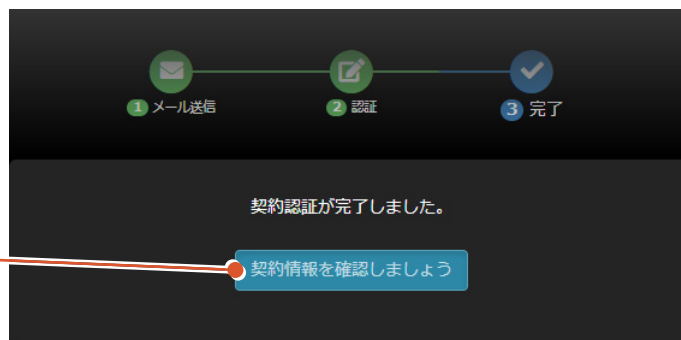
ご契約内容

ご契約プラン名	Standard 20
ご契約コード	XXXXXXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
ご契約期間	2019/10/01 ~ 2020/09/30
URL	https://cimphonyplus.fukuicompu.co.jp/fcloud

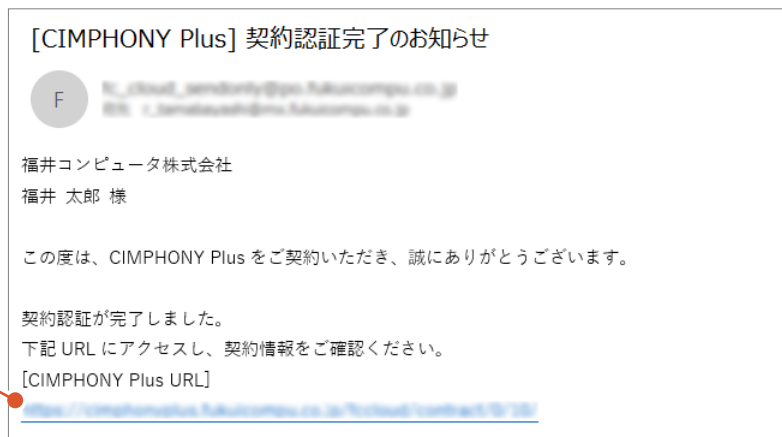
ご契約者情報(企業情報)

ユーザーコード	XXXXXXXXXX
会社名	XXXXXXXXXX
住所	XXXXXXXXXX
電話番号	XXXXXXXXXX

「契約情報を確認しよう」をクリックすると、契約情報確認画面が表示されます。



記載されているURLにアクセスすると、契約情報確認画面が表示されます。契約内容の詳細は、「3-3. 契約内容を確認する」(P.20)を参照してください。



3-2 契約者を変更する

契約者を変更する方法を説明します。

- 1 ログイン画面
(<https://cimphonyplus.fukuicompu.co.jp/fccloud/>) で、
「契約者を変更される方はこちら」をクリックします。

ログイン画面は、[福井コンピュータホームページ] - [製品・サービスを探す] - [CIMPHONY Plus] - [ログインはこちら] から開くこともできます。



- 2 契約を引き継ぐアカウントのメールアドレスを入力します。
- 3 「メール送信」をクリックします。
入力したメールアドレスに「[CIMPHONY Plus] 契約引継のお知らせ」が送信されます。

- 4 記載されている URL にアクセスします。

⑤ メールアドレスとパスワードを入力します。

⑥ [ログイン] をクリックします。

契約引継画面が表示されます。

The image shows a login screen with a dark background. At the top, there is a header with a user icon and the email address 'f_cimphonyplus@fpc.fukui-compu.co.jp'. Below this are two input fields: one for the email address and one for the password, both containing placeholder text. A blue button with a right arrow and the text 'ログイン' (Login) is positioned below the password field. Red circles with numbers 5 and 6 highlight the input fields and the login button respectively.

⑦ [契約コード] [ユーザーコード] を入力します。

※契約書類に記載されているコードを入力してください。

⑧ [引継] をクリックします。

引継が完了し、入力したメールアドレスに「[CIMPHONY Plus] 契約引継完了のお知らせ」が送信されます。

The image shows a contract transfer screen with a dark background. At the top, there is a progress bar with three steps: 1. メール送信 (Email Send), 2. 引継 (Transfer), and 3. 完了 (Complete). The second step, '引継', is currently active. Below the progress bar, the title '契約引継' (Contract Transfer) is displayed. The main content area contains a form with the following fields: 'メールアドレス' (Email Address) with the value 'f_cimphonyplus@fpc.fukui-compu.co.jp', '契約コード*' (Contract Code*) with three input boxes, and 'ユーザーコード*' (User Code*) with one input box. A blue button with a right arrow and the text '引継' (Transfer) is located at the bottom right. Red circles with numbers 7 and 8 highlight the form fields and the transfer button respectively.

[契約情報を確認しよう] をクリックすると、契約情報確認画面が表示されます。

The image shows a confirmation screen with a dark background. At the top, there is a progress bar with three steps: 1. メール送信 (Email Send), 2. 引継 (Transfer), and 3. 完了 (Complete). The third step, '完了', is currently active. Below the progress bar, the title '契約引継' (Contract Transfer) is displayed. The main content area contains the text '契約引継が完了しました。' (Contract transfer is complete.) and a blue button with the text '契約情報を確認しよう' (Check contract information). A red circle with the number 8 highlights the button.

記載されているURLにアクセスすると、契約情報確認画面が表示されます。契約内容の詳細は、「3-3. 契約内容を確認する」(P.20)を参照してください。

[CIMPHONY Plus] 契約引継完了のお知らせ

F f_cimphonyplus@fpc.fukui-compu.co.jp
f_cimphonyplus@fpc.fukui-compu.co.jp
f_cimphonyplus@fpc.fukui-compu.co.jp

福井コンピュータ株式会社
福井 次郎 様

この度は、CIMPHONY Plus の契約を引き継いでいただき、誠にありがとうございます。

契約引継が完了しました。

下記 URL にアクセスし、契約情報をご確認ください。

[CIMPHONY Plus URL]

[https://cimphonyplus.fukui-compu.co.jp/contract/transfer/confirm/](#)

3-3 契約内容を確認する

契約内容を確認する方法を説明します。

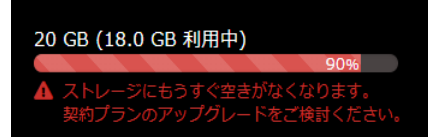
① 現場管理画面右上の「契約情報」タブを選択します。

② 「契約内容」を選択します。

契約内容が確認できます。



「ストレージ容量」は使用量が80パーセントを越えると赤色になり、警告メッセージが表示されます。

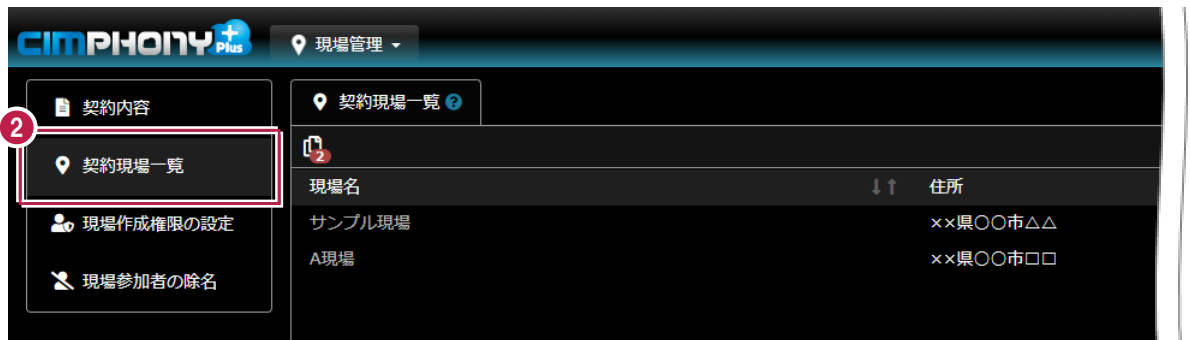


3-4 契約現場一覧を確認する

契約下にある現場（契約者または現場作成者が作成した現場）の一覧を確認する方法を説明します。

- 1 現場管理画面右上の「契約情報」タブを選択します。

- 2 「契約現場一覧」を選択します。
契約現場一覧が確認できます。



■をクリックすると昇順、
■をクリックすると降順に並べ替えることができます。

3-5 現場作成権限を設定する

他の通常ユーザーに現場作成権限を付与する方法と、権限を解除する方法を説明します。

■ 現場作成権限の設定

他の通常ユーザーに現場を作成できる権限を付与します。

- 1 現場管理画面右上の「契約情報」タブを選択します。



- 2 「現場作成権限の設定」を選択します。

- 3 現場作成者一覧右上の「追加」をクリックします。



- 4 「メールアドレスから検索」、もしくは「グループから検索」を使用して、ユーザーを検索します。

「メールアドレスから検索」：
入力されたメールアドレスに完全一致する、アカウント登録済みのユーザーを検索します。

「グループから検索」：
参加しているグループからユーザーを検索します。

- 5 現場作成者に設定するユーザーのチェックをオンにします。



- 6 「追加」をクリックします。

追加したユーザーに現場作成権限が付与されます。



■ 現場作成者の除名

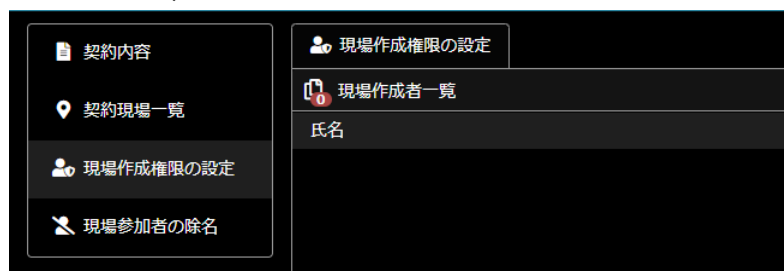
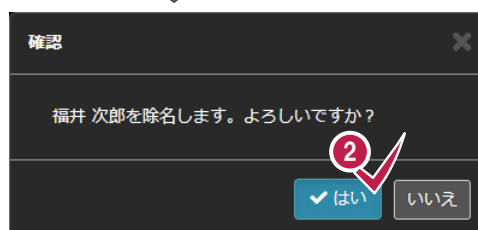
現場作成者の権限を解除します。

- 1 権限を解除する現場作成者右側の [×] をクリックします。



- 2 [はい] をクリックします。

現場作成者一覧から除名され、権限が解除されます。



3-6 現場参加者を除名する

全現場の参加者から、指定のユーザーを除名する方法を説明します。

現場参加者の権限を設定する方法は、「5-2.参加者に現場に対する権限を設定する」(P.31)を参照してください。

- 1 現場管理画面右上の「契約情報」タブを選択します。



- 2 「現場参加者の除名」を選択します。

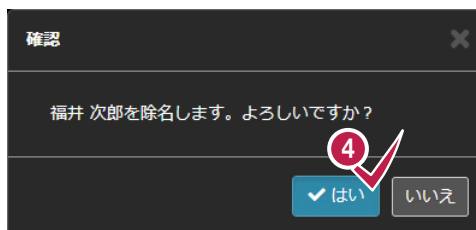
- 3 除名する現場参加者右側の「×」をクリックします。



- 4 「はい」をクリックします。

現場参加者が除名されます。

※契約に紐づくすべての現場から除名されます。
(契約に紐づかない現場からは除名されません。)



4

現場作成者

現場作成者が、新規現場を作成する操作を説明します。

4-1 現場を新規作成する

現場を新規作成する方法を説明します。

- 1 現場管理画面上の「現場の新規登録」をクリックします。

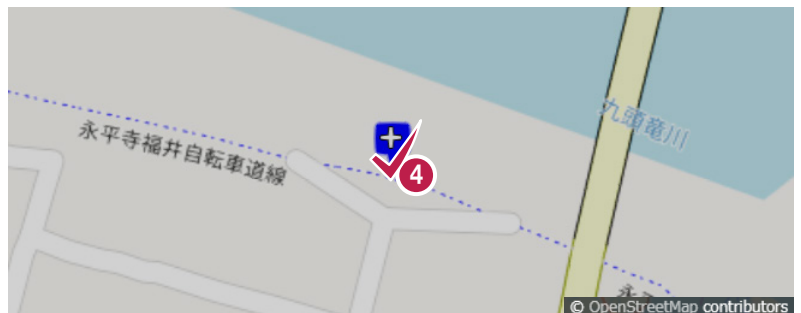


- 2 「現場名」 「住所」 を入力します。

- 3 「現場位置を登録する」 をクリックします。

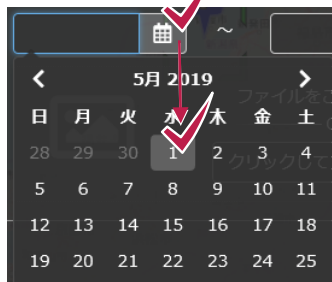
*は入力必須項目です。

- 4 ビューア上をクリックして、現場位置を指定します。



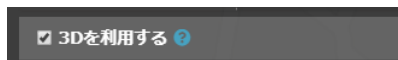
⑤ [工期] を設定します。

カレンダーボタンをクリックして、
工期開始日・終了日を設定してください。



(工期を過ぎると機能が制限されます。)

契約プランが「Professional」の場合は、
[3Dを利用する] が表示されます。
オンにすると、3D機能が使用できます。



以降、3D機能の解説には **3D** を表示
しています。

⑥ [保存] をクリックします。

現場情報が登録されます。

⑦ [×] をクリックします。

現場管理画面左側に登録した現場が表示
されます。

[現場位置] を指定すると、
[平面直角座標系] が自動で
設定されます。
リストから選択することもできます。

【平面直角座標系】の自動設定について

[現場位置] を指定すると、[平面直角座標系]
が自動で設定されます。

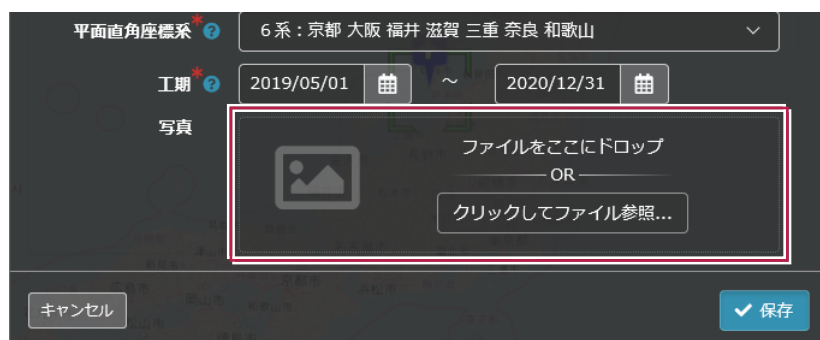
- ・座標系の判定は、国土地理院が定める各座標系の区域（都道府県、市町村、島）を参考におこないます。
- ・自動設定するのは、[平面直角座標系] が「未選択」の場合のみです。
- ・北方領土や沖ノ鳥島などの特殊な地域ではうまく自動設定できないことがあります。
- ・自動設定された場合、正しく設定されているか確認してください。
- ・各座標系の区域の詳細は、平面直角座標系のヘルプボタンにあるリンク先に記載されています。

現場が表示されない場合は、
[工期前] [工期中] [終了] をオン
にして確認してください。



写真の設定

画像ファイルを枠内にドラッグ＆ドロップ、もしくは「クリックしてファイル参照」をクリックしてファイルを選択すると、写真を設定することができます。



5

所有者

所有者は、現場情報の管理や、参加者の招待、参加者への権限を設定することができます。

現場を作成したユーザーおよび契約者は、自動的に現場の所有者となります。

所有者を複数人設定することもできます。

ここでは、現場に参加者を招待、参加者に現場に対する権限を設定、現場情報の編集、現場を削除する操作を説明します。

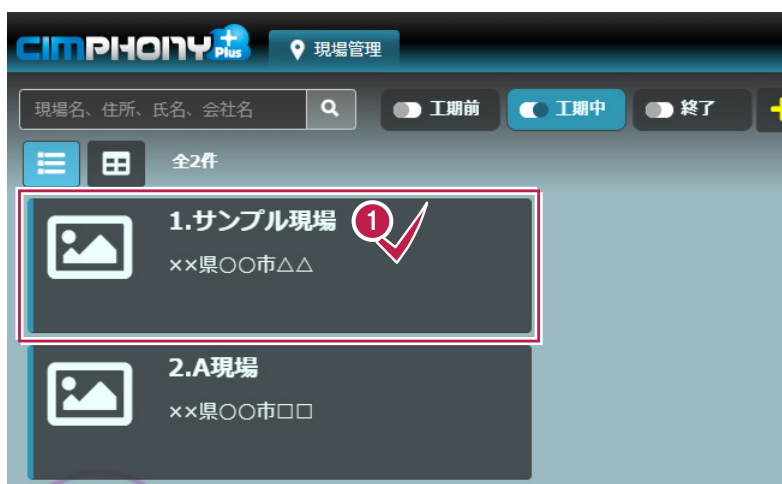
5-1 現場に招待する

現場に参加者を招待する方法と、現場参加者を除名する方法を説明します。

■ 参加者の追加

現場に参加者を招待（追加）します。

- 1 参加者を招待（追加）する現場をクリックします。



- 2 [詳細] をクリックします。

現場に入っている（現場ビューが表示されている）場合は、[現場管理] タブ左側の現場名ボタンをクリックすると、現場情報が表示されます。



- 3 [参加者] タブを選択します。



- 4 [追加] をクリックします。

契約者とこの現場を新規に登録した現場作成者は自動で追加されます。

- ⑤ [メールアドレスから検索]、もしくは[他の現場の参加者から検索]、[グループから検索]を使用して、ユーザーを検索します。

【メールアドレスから検索】：
入力されたメールアドレスに完全一致する、アカウント登録済みのユーザーを検索します。

【他の現場の参加者から検索】：
参加中の他の現場からユーザーを検索します。

【グループから検索】：
参加しているグループからユーザーを検索します。

⑤

⑥

⑦

【権限】は「所有者」「作成者」「参照者」から選択します。

追加ボタンを押すと、チェックを入れた人に招待メールが送信され

追加

- ⑥ 追加するユーザーのチェックをオンにします。

- ⑦ [追加] をクリックします。

一覧に追加され、招待された人に「[CIMPHONY Plus]現場招待のお知らせ」が送信されます。

現場情報

現場 参加者

氏名 会社名 権限

福井 太郎	福井コンピュータ株式会社	所有者
福井 次郎	福井コンピュータ株式会社	作成者

記載されているURLにアクセスしてログインすると、招待された現場が表示されます。



[CIMPHONY Plus]現場招待のお知らせ

F 氏名: 福井 次郎 会社名: 福井コンピュータ株式会社

福井コンピュータ株式会社
福井 次郎 様

平素は、CIMPHONY Plus をご利用いただき、誠にありがとうございます。

下記現場への招待が届いています。

=====
現場名: サンプル現場
会社名: 福井コンピュータ株式会社
招待者名: 福井 太郎
=====

下記URLよりログインして、ご確認ください。

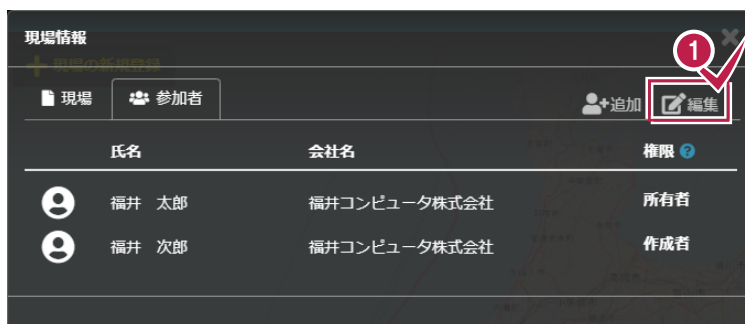
[CIMPHONY Plus URL]

[https://cimphonyplus.fukui-computer.co.jp/invite](#)

■ 参加者の除名

現場参加者を除名します。

① [編集] をクリックします。



② 除名する参加者右側の [削除] をクリックします。

契約者と自分のアカウントには、
[削除] が表示されません。



③ [参加状況] を確認して、[保存] をクリックします。

参加者が一覧から削除されます。



5-2 参加者に現場に対する権限を設定する

参加者に現場に対する権限を設定する方法を説明します。

- ① 権限を設定する現場をクリックします。

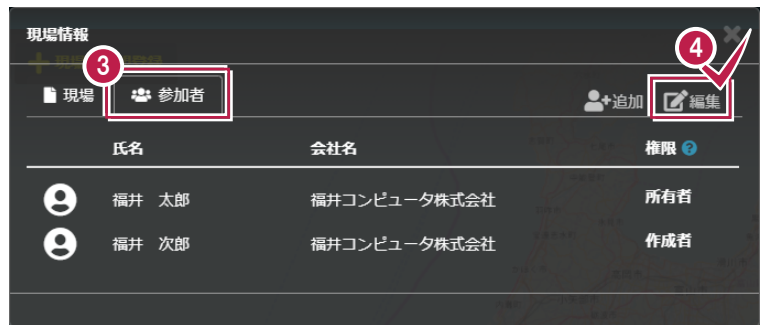


- ② [詳細] をクリックします。

現場に入っている（現場ビューア）の場合は、[現場管理] タブ左側の現場名ボタンをクリックすると、現場情報が表示されます。



- ③ [参加者] タブを選択します。

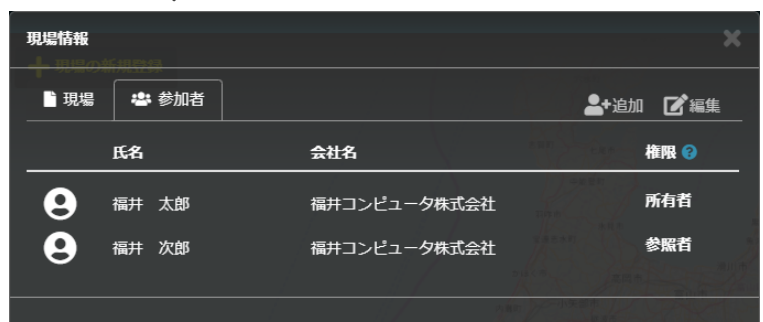
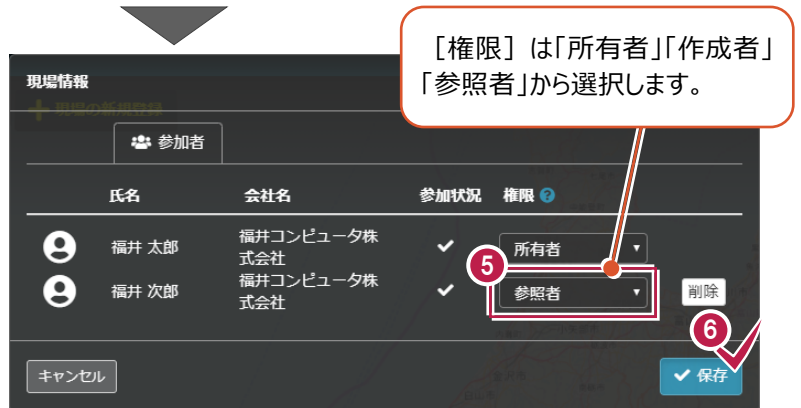


- ④ [編集] をクリックします。

- ⑤ 参加者の [権限] を変更します。

- ⑥ [保存] をクリックします。

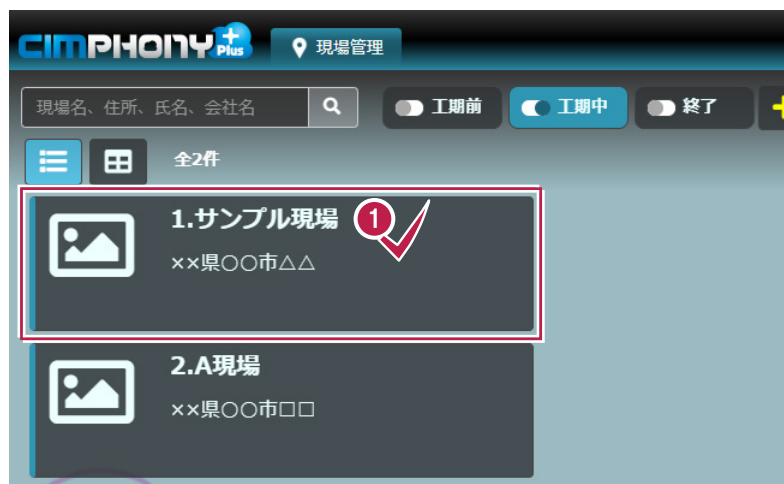
参加者の権限が変更されます。



5-3 現場情報を編集する

現場情報を編集する方法を説明します。

① 情報を編集する現場をクリックします。



② [詳細] をクリックします。



③ [編集] をクリックします。



④ 現場情報を編集します。

⑤ [保存] をクリックします。

現場情報が上書きされます。

現場情報

現場

基本情報

④

現場名* サンプル現場 (編集)

住所* ××県〇〇市△△

現場位置* 現場位置を変更する

平面直角座標系* 6系: 京都 大阪 福井 滋賀 三重 奈良 和歌山

工期* 2019/05/01 ~ 2020/12/31

写真

ファイルをここにドロップ
OR
クリックしてファイル参照...

キャンセル 保存 ⑤

⑥ [×] をクリックします。

現場管理画面に戻ります。

現場情報

現場 参加者 編集

基本情報

現場名 サンプル現場 (編集)

住所 ××県〇〇市△△

平面直角座標系 6系: 京都 大阪 福井 滋賀 三重 奈良 和歌山

工期 2019/05/01 ~ 2020/12/31

写真

⑥

CIMPHONY Plus 現場管理

現場名、住所、氏名、会社名

工期前 工期中 終了

全2件

1. サンプル現場 (編集)
××県〇〇市△△

2.A現場
××県〇〇市□□

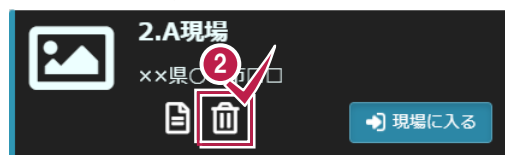
5-4 現場を削除する

現場を削除する方法を説明します。

① 削除する現場をクリックします。

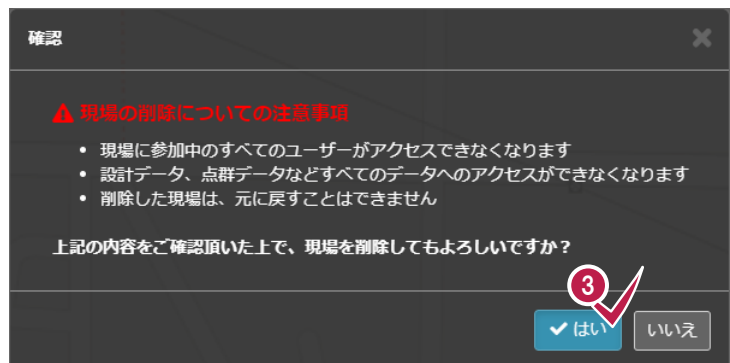


② [削除] をクリックします。



③ [はい] をクリックします。

現場が削除されます。



6

作成者－現場管理

「作成者」権限を持つ方が、「現場管理」タブで使用可能な機能について説明します。



6-1 地図を切り替える

現場管理の背景に表示されている地図の種類を変更します。

- 1 画面右上の地図のアイコンをクリックします。



- 2 「地図・空中写真」の各地図をクリックすると、ビューアに表示する地図を変更できます。

- 3 「地形」の各設定をクリックすると、ビューアに表示する地図を、平面または 3D に変更できます。



補足

地図を 3D 表示にした場合の注意点

「地形」で「国土地理院標高タイル（10m）」や「国土地理院標高タイル（5m）」を選択すると地図を3D表示することができますが、標高タイルの情報がない箇所については、地図の一部がくぼんだり、地図が白や黒で抜けたりしますので、ご了承ください。（例：国土地理院空中写真）



6-2 現場を検索する

検索キーワードを入力して、該当する現場を表示します。

- 1 検索キーワードを入力します。
※検索キーワードとして使用できるのは、「現場名」、「住所」、「参加者氏名」、「参加者会社名」です。その一部でも構いません。



- 2 [検索] をクリックします。



- 3 検索キーワードを含む現場のみ表示されます。
※参加している現場のみ表示されます。



- 4 該当する現場が 0 件だった場合や、検索を終了する（全現場表示に戻す）場合は、「検索キーワード」を空欄にし、[検索] をクリックしてください。



6-3 現場の表示切替（工期前/工期中/終了）

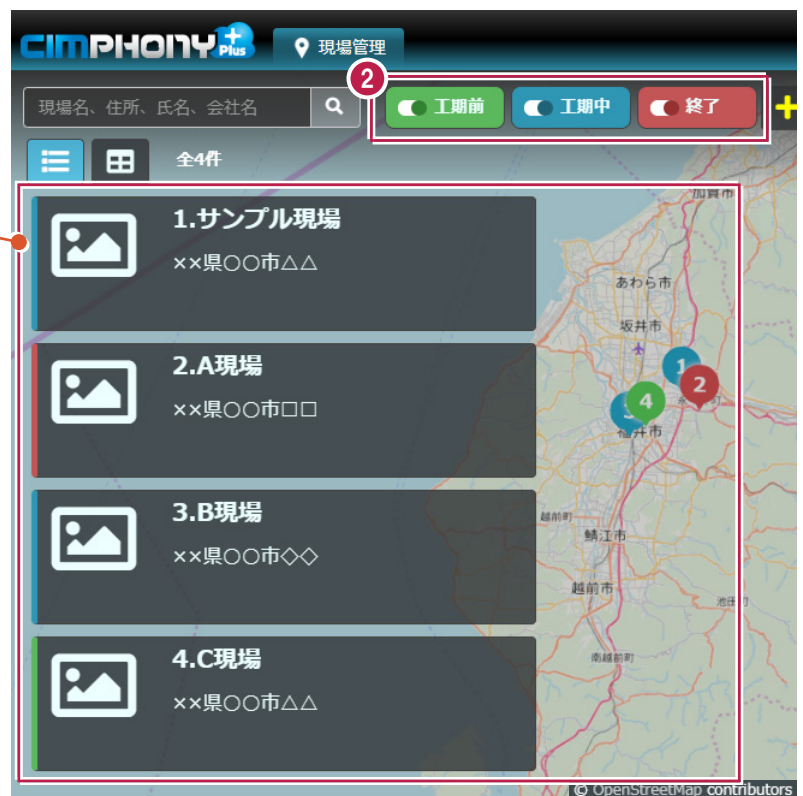
現場管理の表示を、「工期前」、「工期中」、「終了」で切り替えます。

- ① 【工期中】のみオンの場合は、一覧、地図とも工期中の現場のみ表示されます。



- ② すべての現場を表示する場合は、【工期前】、【工期中】、【終了】をオンにします。

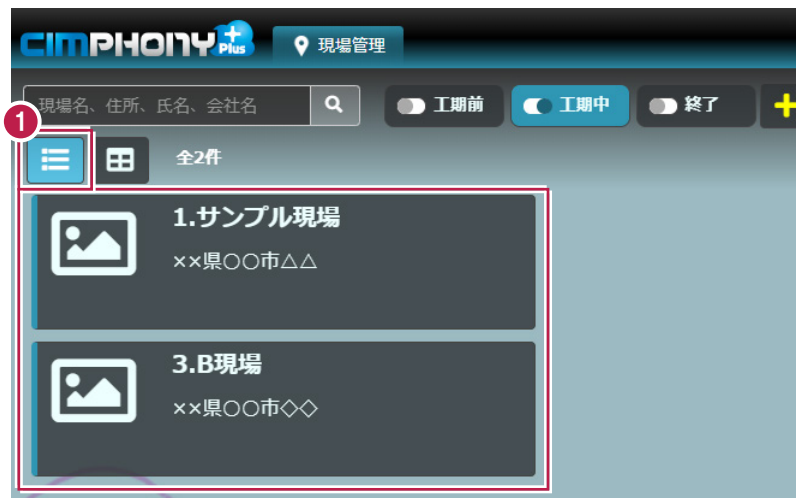
工期前の現場は「緑色」、
工期中の現場は「青色」、
終了した現場は「赤色」で
表示されます。



6-4 現場の表示切替（リスト表示とタイル表示）

現場パネルの表示方法を切り替えます。

- ① [リスト表示] をオンにすると、画面左側に現場が一覧表示されます。



- ② [タイル表示] をオンにすると、画面内に現場が一覧表示されます。

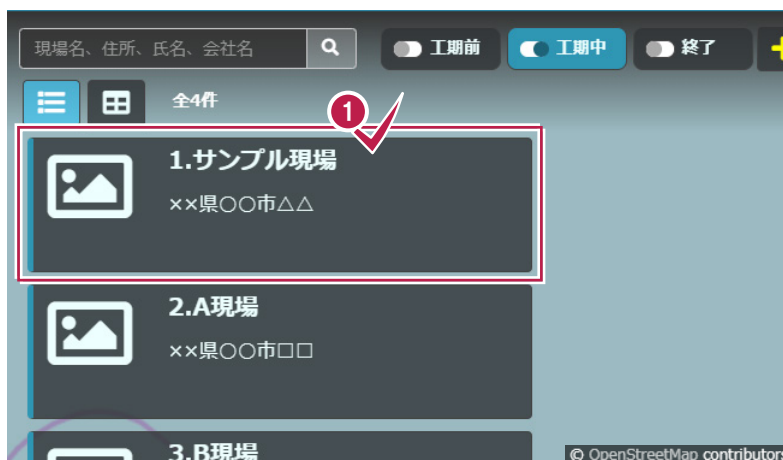
タイル表示の場合は、写真が大きく表示され、工期も確認できます。



6-5 現場情報を確認する

工期や参加者、権限などの情報を確認します。

① 確認する現場をクリックします。



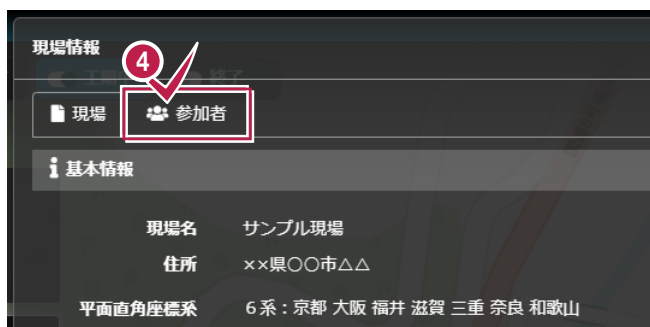
② [詳細] をクリックします。



③ 現場の基本情報が確認できます。

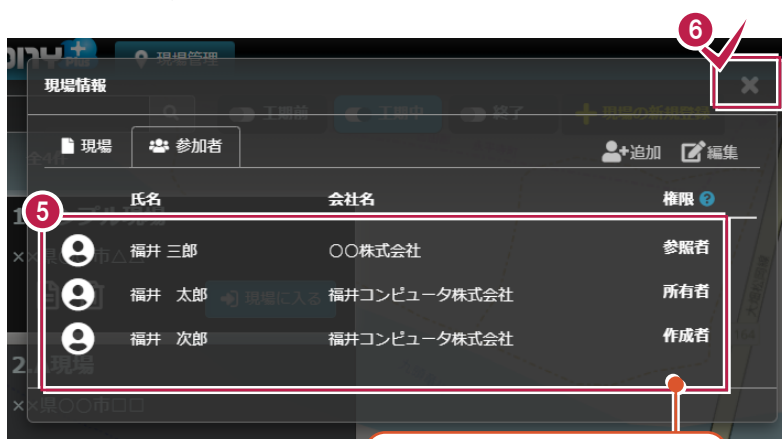


④ [参加者] タブをクリックします。



⑤ 参加者の一覧が表示されます。

⑥ 右上の [閉じる] ボタンで終了します。



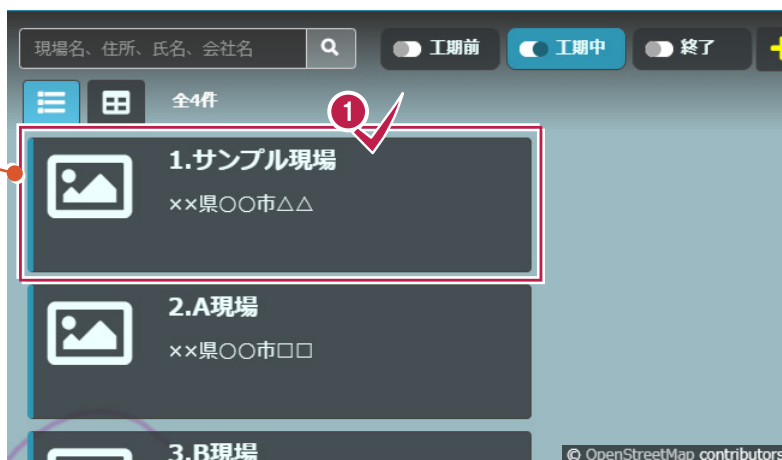
この現場における権限が確認
できます。

6-6 現場に入る

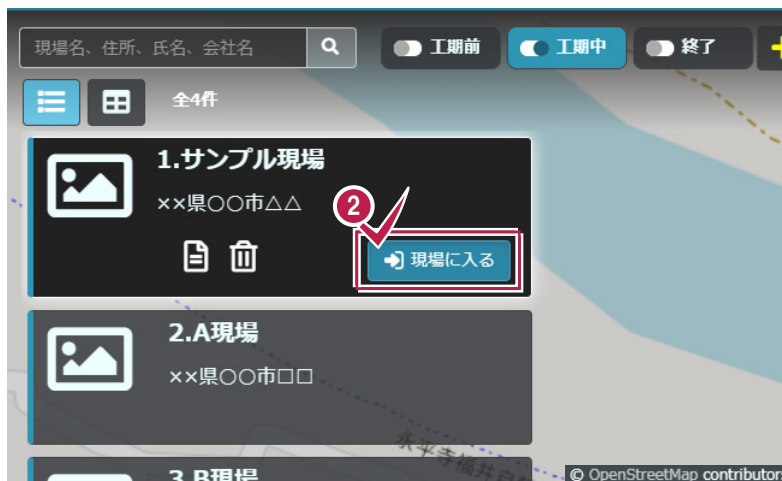
作業をおこなう現場に入ります。

① 現場をクリックします。

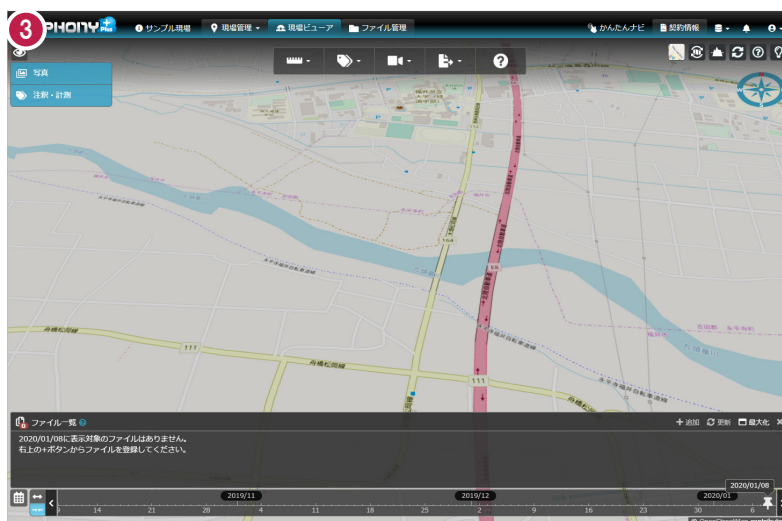
参加中の現場のみ表示されます。



② [現場に入る] をクリックします。



③ 現場ビューが開きます。



6-7 現場を切り替える

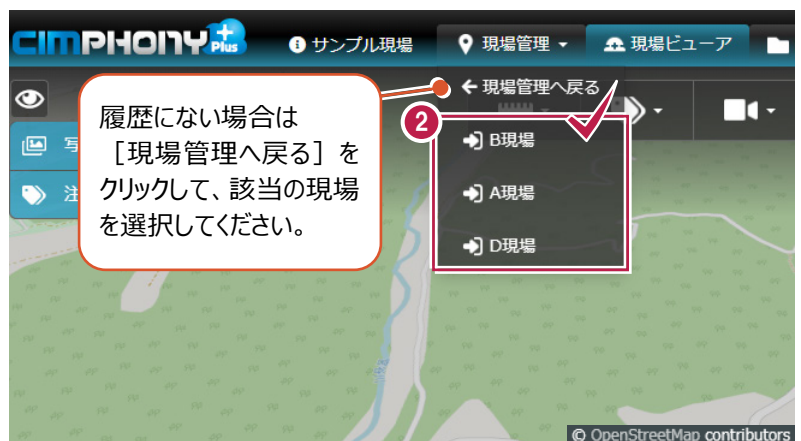
現場ビューアから、別の現場を開きます。

一旦現場管理に戻って開くこともできますが、最近閲覧した現場であれば履歴から開くこともできます。

- ① [現場管理▼] をクリックします。



- ② 最近開いた現場の履歴が表示されます。
該当の現場をクリックします。



- ③ 現場が切り替わります。



7

作成者－現場ビューア

「作成者」権限を持つ方が、[現場ビューア] タブで使用可能な機能について説明します。



7-1 ファイルを登録する

写真や書類などのファイルをアップロードして登録します。

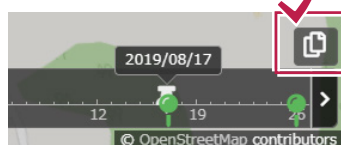
ファイルの登録は、現場ビューアのファイル一覧からおこなう方法や「かんたんナビ」からおこなう方法があります。

■ 現場ビューアのファイル一覧からおこなう場合

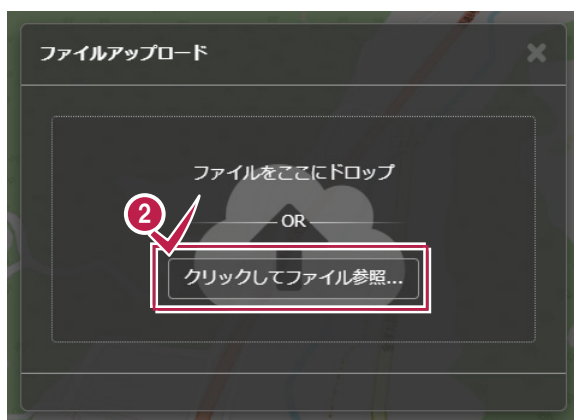
- 1 現場ビューアで、ファイル一覧の「+追加」をクリックします。

ファイル一覧が表示されていない場合

画面右下の「ファイル一覧」ボタンをクリックしてください。

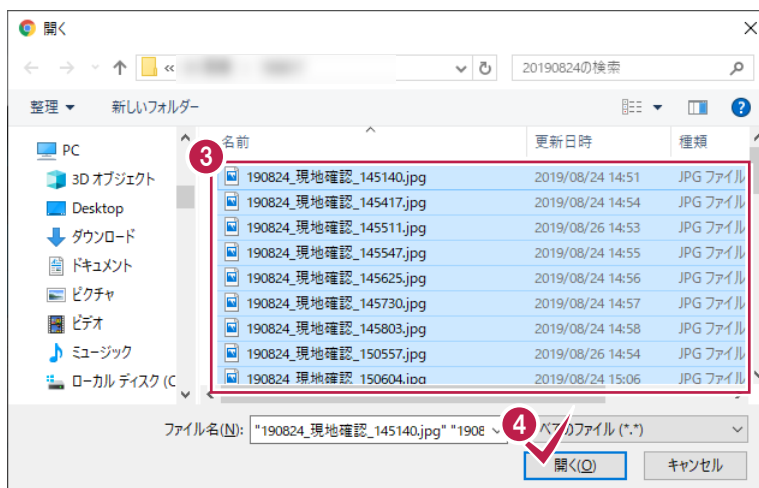


- 2 「クリックしてファイル参照」をクリックします。
※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。

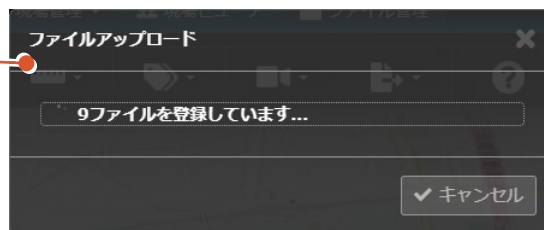


- 3 アップロードするファイルを選択します。
※複数のファイルを選択できます。

- 4 「開く」をクリックします。



ファイルのアップロードが完了すると、
右記のダイアログは自動で閉じます。



- 5 ファイル一覧やビューアで、登録したファイルが確認できます。
※写真の位置情報を取得し、ビューアに表示されます。位置情報のない写真や、PDFなどの書類はビューアには表示されません。
(追加したファイルは「ファイル管理」の「共有」フォルダーに登録されます。)

3D 3D 専用ファイルの場合

3D専用ファイルは、「かんたんナビ」から登録するか、「ファイル管理」のそれぞれのフォルダーを選択してファイル追加してください。

「かんたんナビ」での登録方法は次ページ、「ファイル管理」での登録方法は、「8-2.ファイルの追加/削除/情報編集/移動」のP.104以降を参照してください。



補足

アップロードが完了しても、ファイル一覧やビューアにファイルが表示されない場合

撮影情報を持った写真は、「撮影日」の日付に登録されます。そのため、工期外の写真はビューア（地図上）に表示されませんのでご注意ください。工期内に撮影した写真であれば、タイムラインを確認し、ファイルが登録されている目印である「緑のピン」をクリックしてください。

また、撮影情報を持っていない写真や、PDFなどの書類は「本日」の日付に登録されます。

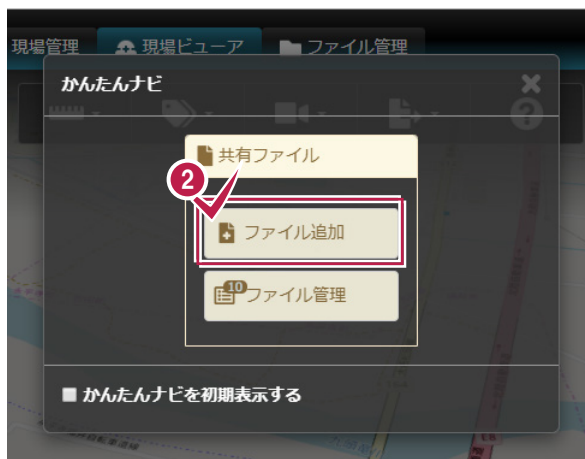


■ かんたんナビからおこなう場合

- ① 画面右上の「かんたんナビ」をクリックします。



- ② 「ファイル追加」をクリックします。



これ以降の操作手順は、
「■ 現場ビューアのファイル一覧からおこなう場合」の
手順②（P.43）からをご覧ください。

3D 「現場情報」の「3Dを利用する」がオンの場合

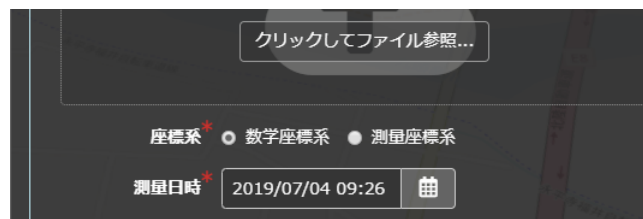
以下のように表示されます。

設計データ、点群データは、「ファイル管理」の「設計」、「点群」フォルダーに登録されます。

対応するファイルの拡張子は、設計ファイル：「xml」、点群ファイル：「txt」「csv」「asc」「xyz」「las」「laz」「e57」です。



点群データを追加する際は、【座標系】【測量日時】を設定してください。



【座標系】：登録するファイルの座標系を選択してください。

【測量日時】：測量日時を設定してください。

現場の工期内が選択可能です。

3D

点群ファイルのアップロードが完了しても、ビューアに表示されない場合

点群データは、データ変換と進捗計算の処理が完了後、現場ビューアに反映されます。

ビューア右上の「更新」をクリックして、最新の状態に更新してください。



「更新」をクリックしても表示されない場合は、「ファイル管理」－「点群」フォルダーで「データ変換」と「進捗計算」が「完了」になっているか確認してください。



「完了」になっていてもビューアに表示されない場合は、タイムライン右側のファイル種別切り替えボタンで「点群データ」を選択し、「オレンジのピン」以降の日付をクリックして選択してください。



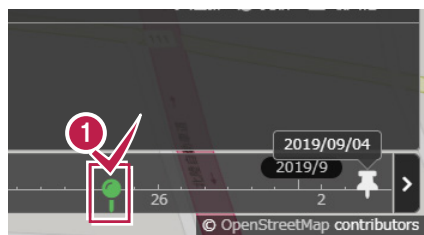
7-2 タイムライン：日付選択

タイムラインでは、写真や書類などの登録ファイルを時系列に表示します。

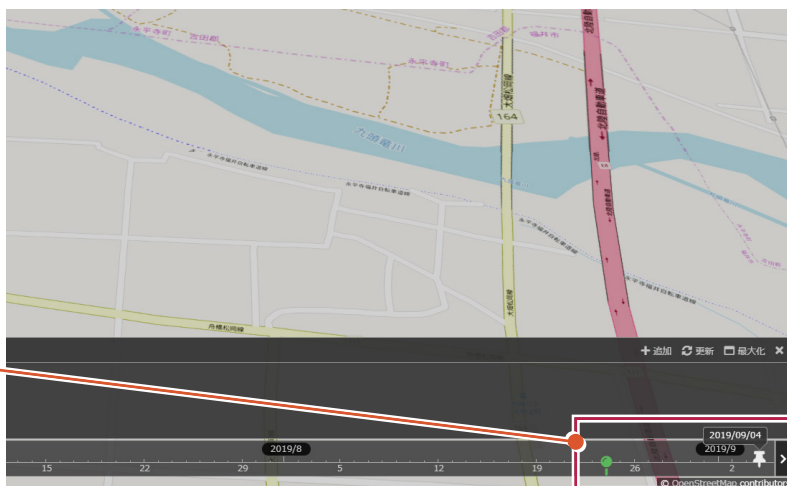
日付の選択は、タイムラインから選択する方法とカレンダーから選択する方法の2通りがあります。

■ タイムラインから日付を選択する

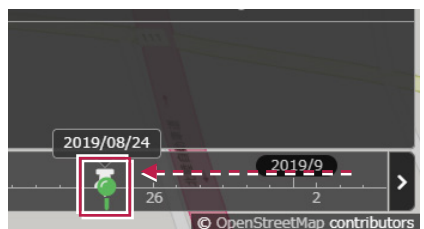
- ① タイムライン上で、表示する日付の目盛りをクリックします。



登録データがある日付には緑色のピンが表示されます。



- ② 選択した日付のビューが表示されます。



白いピンが移動します。

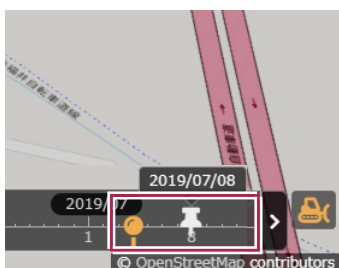
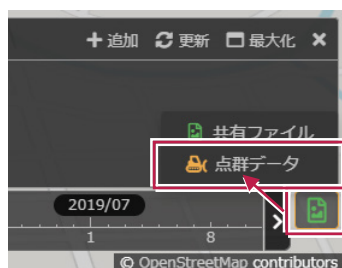


ファイル一覧やビューが切り替わります。

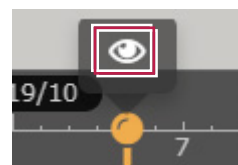
3D 点群データの測量日時を確認する

タイムライン右側のファイル種別切り替えボタンで「点群データ」を選択すると、点群データ登録時に設定した「測量日時」に「オレンジのピン」が表示されます。

タイムラインで日付を選択すると、選択した日付の直前に登録されている点群データがビューに表示されます。



ピンにマウスオーバーし、「点群ビュー」をクリックすると、点群ビューが起動します。
点群ビューの詳細は、「13.点群ビュー」(P.166)を確認してください。



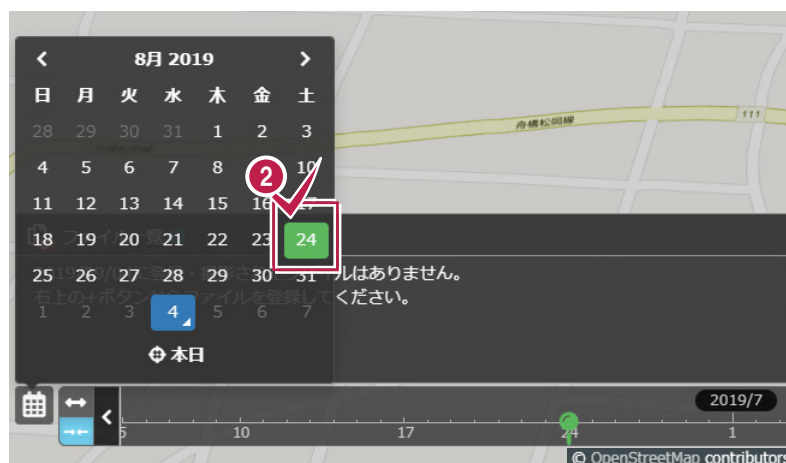
■ カレンダーから日付を選択する

- 1 画面左下の「カレンダーアイコン」をクリックします。



- 2 表示する日付を選択します。
※写真や書類などの登録データがある場合は、カレンダーの日付が緑色で表示されます。

※カレンダーを閉じる場合は、
「カレンダーアイコン」を再度クリックします。



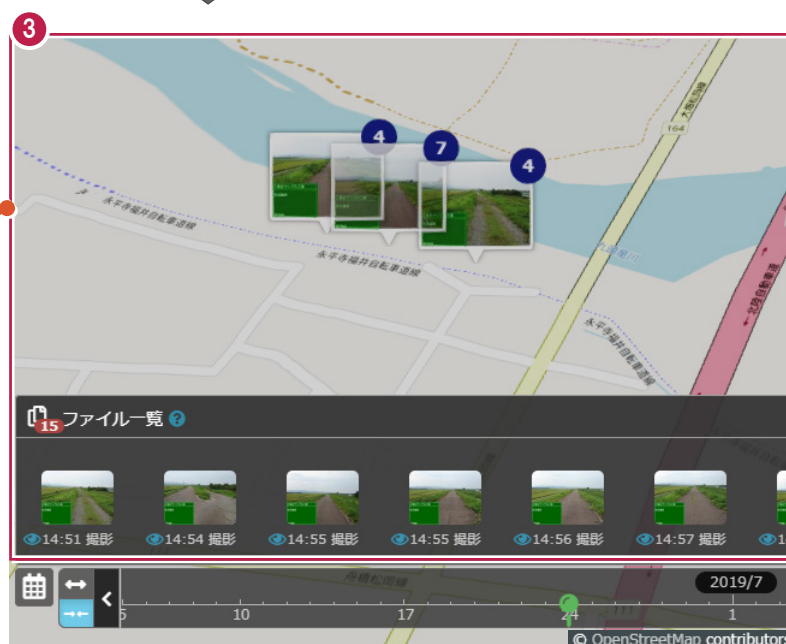
3D 点群データの場合

ファイル種別切り替えボタンで「点群データ」が選択されている場合、点群データ登録時に設定した「測量日時」はオレンジ色で表示されます。



- 3 選択した日付のビューが表示されます。

ファイル一覧やビューが切り替わります。



7-3 タイムライン：表示期間の切り替え

タイムラインの表示方法は、工期の「全期間」と「3か月間」の2通りから選択できます。

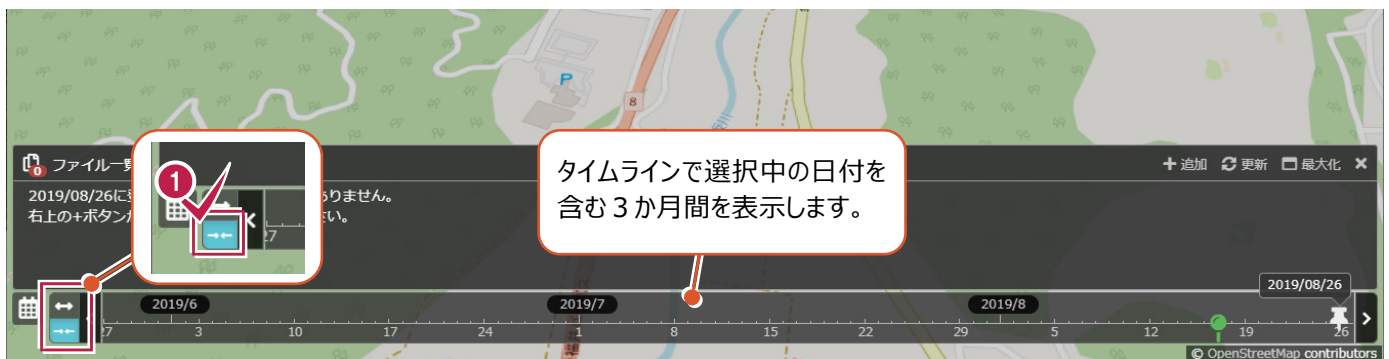
■ 全期間を表示する

① 画面左下の「全期間」をオンにします。



■ 3か月間を表示する

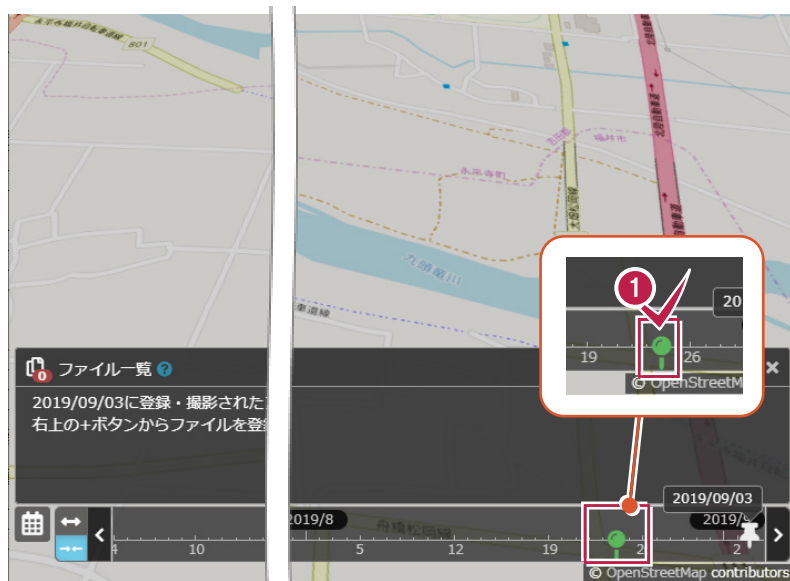
① 画面左下の「3か月間」をオンにします。



7-4 ファイルを確認する

写真や書類など、登録したファイルを確認します。
ファイルが存在する日付には、タイムラインに緑のピンが表示されます。

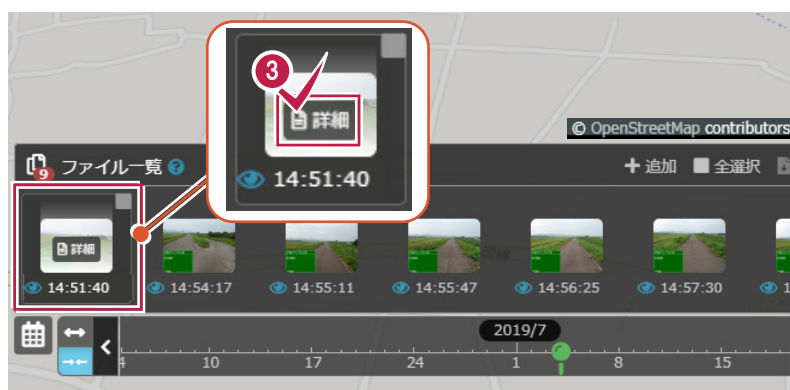
- 1 タイムライン上で、緑のピンをクリックします。



- 2 ファイル一覧に表示されます。



- 3 ファイル情報を確認します。
ファイル一覧で、該当のファイルにマウスオーバーし、[詳細] をクリックします。



- ④ 画面右側に、ファイルの詳細情報が表示されます。

「詳細」で表示される情報について

電子小黑板付きデジタル工事写真であれば、右のように画像のサムネイルおよびファイル情報、Exif情報、写真情報が表示されます。

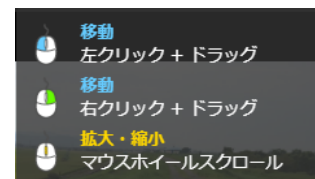
JPEGなどの画像ファイルは、画像のサムネイルおよびファイル情報、Exif情報が表示され、PDFやExcelなどのファイルは、ファイル情報のみ表示されます。

地図上の写真をクリックしても、同様にファイル情報を表示できます。



- ⑤ 写真の上でマウスホイールを奥に転がすと、拡大できます。
拡大表示中は左ボタンドラッグや右ボタンドラッグで移動ができます。

操作方法は、[ヘルプ] ? でも確認できます。

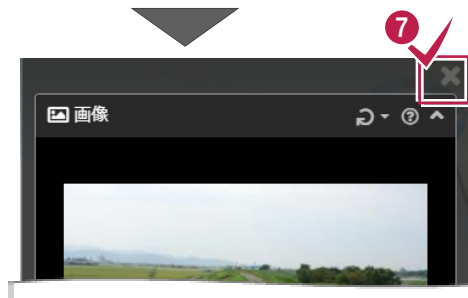


写真の拡大や移動をした後、
[元に戻す] [Reset] で元の拡大率に戻ります。

- ⑥ 写真の左右の矢印で、次の写真、前の写真に移ることができます。



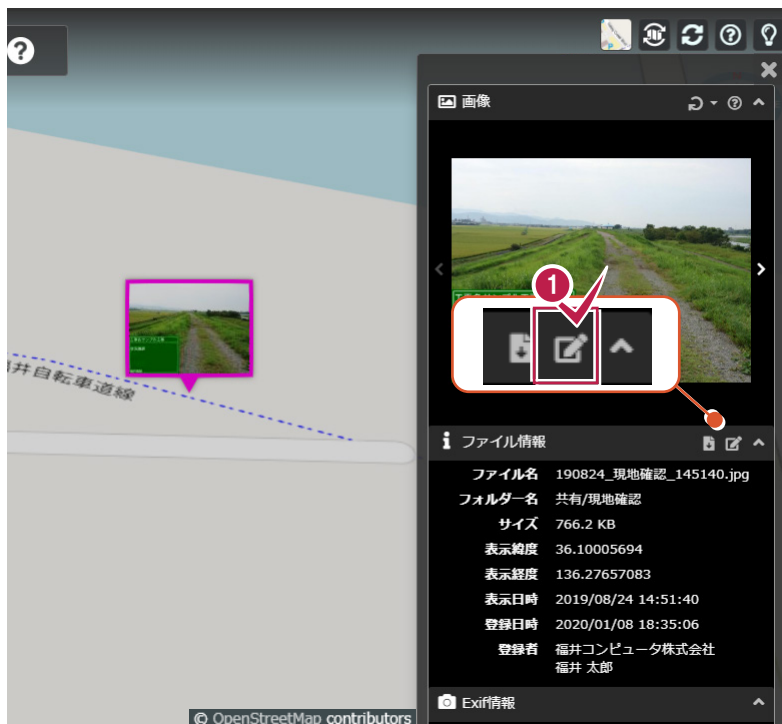
- ⑦ [閉じる] ボタンをクリックして、ファイル情報を閉じます。



7-5 ファイル情報を変更する

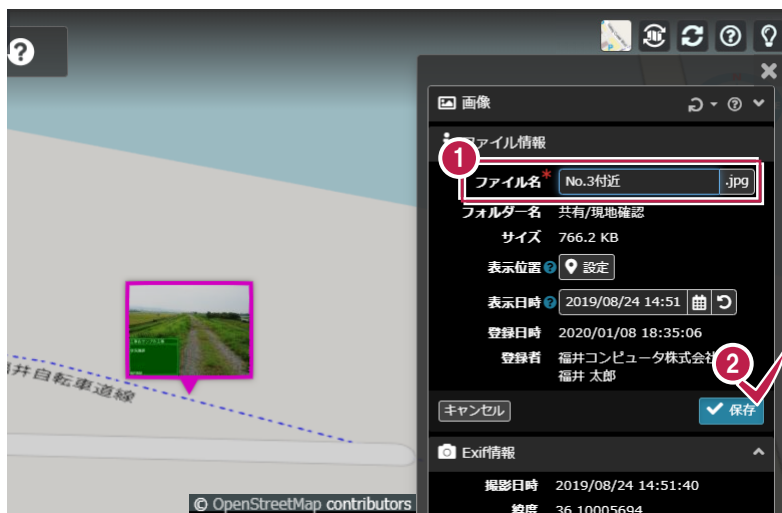
ファイル名や表示位置、表示日時を変更します。

- 1 ファイルの詳細情報を表示して、
[ファイル情報] の [編集] をクリックします。
(詳細情報の表示方法は、「7-4.ファイルを確認する」(P.50)を確認してください。)



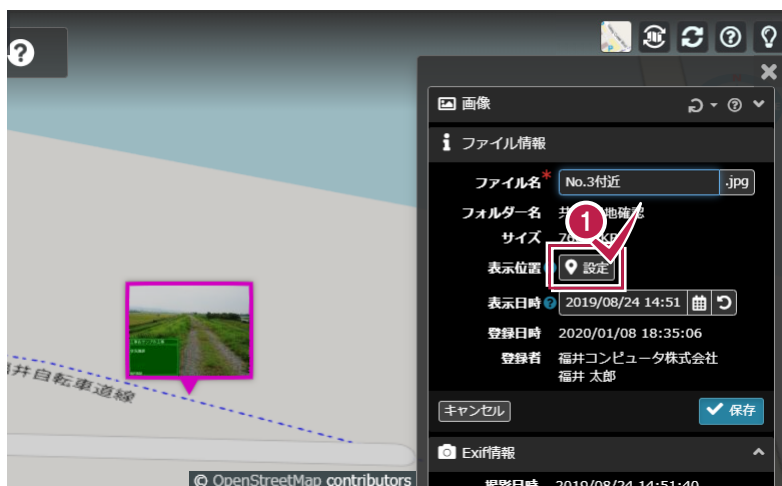
■ ファイル名を変更する

- 1 [ファイル名] を変更します。
- 2 [保存] をクリックします。



■ 表示位置を変更する

① [表示位置] の [設定] をクリックします。



② 表示位置をクリックします。

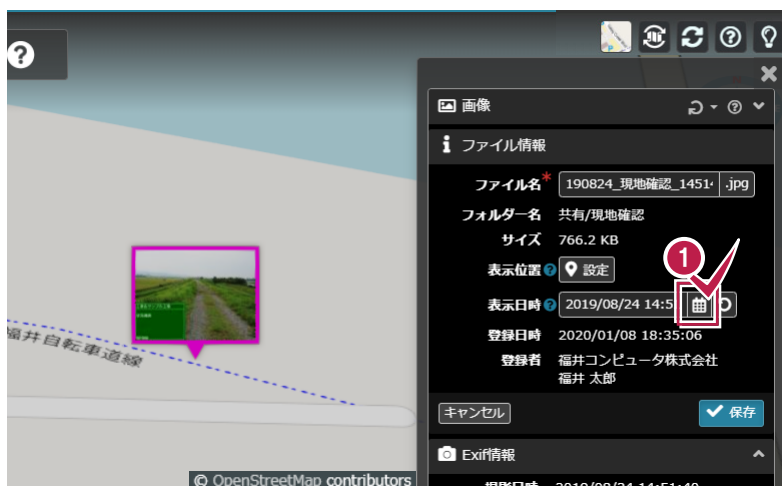


③ [保存] をクリックします。



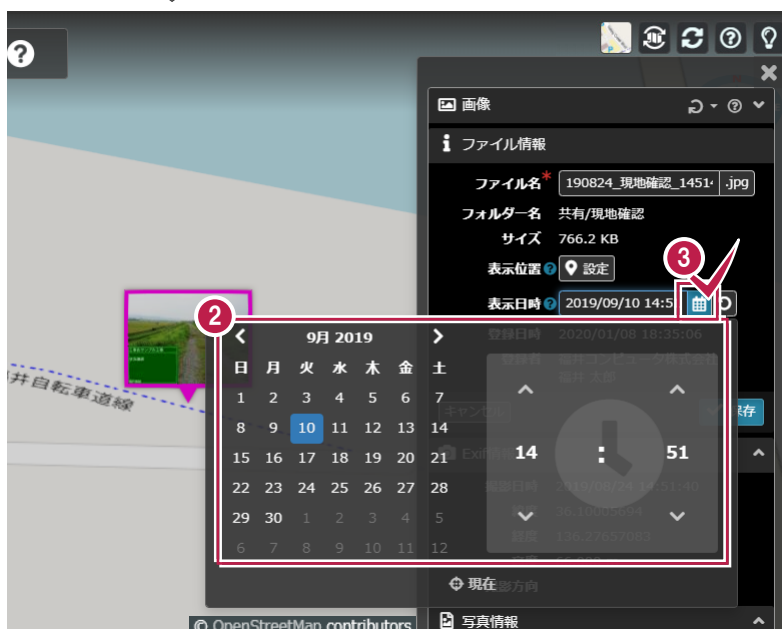
■ 表示日時を変更する

- 1 [表示日時] のカレンダーボタンをクリックします。



- 2 表示日時を選択します。

- 3 カレンダーボタンをクリックして、カレンダーを閉じます。



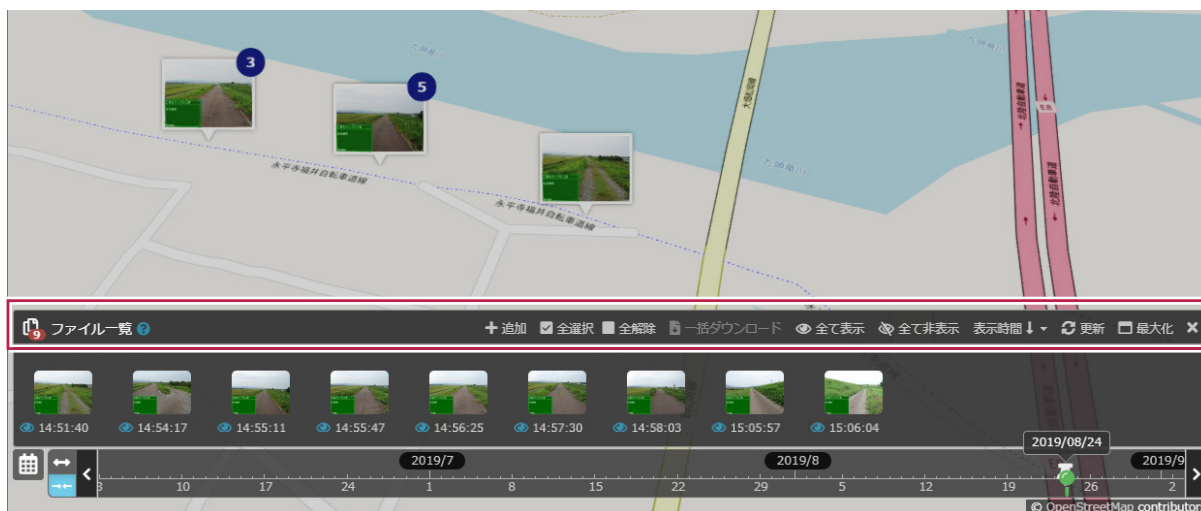
- 4 [保存] をクリックします。

タイムラインにピンが追加され、表示日時が変更されたことが確認できます。



7-6 ファイル一覧について

ファイル一覧の各機能について説明します。



【追加】：写真や書類などのファイルを追加します。（詳細は、「7-1.ファイルを登録する」（P.43）を参照してください。）

【全選択】：すべてのファイルを選択します。

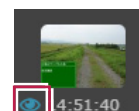
【全解除】：すべてのファイルの選択を解除します。

【一括ダウンロード】：ファイルをダウンロードします。

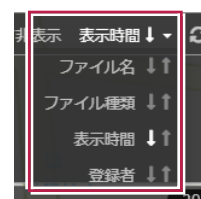
ファイルを1つ以上選択するとクリックできます。

ファイルの選択は各ファイルの右上にあるチェックボックスをオンにするか、【全選択】をクリックします。

【全て表示】 / 【全て非表示】：すべてのファイルをビューア上に表示/非表示にします。
各ファイルの目のアイコンをクリックしても切り替えられます。
（※目のアイコンは位置情報のある写真のみ表示されます。）



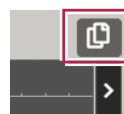
【表示時間】：ファイルの並び順（【ファイル名】、【ファイル種類】、【表示時間】、【登録者】）を切り替えます。
各並び順の右側にある↓↑をクリックして、「昇順」「降順」を切り替えることができます。



【更新】：最新の状態に更新します。

【最大化】：ファイル一覧を全画面で表示します。元の表示に戻す場合は、【縮小】をクリックします。

【閉じる】ボタン：ファイル一覧を非表示にします。
ファイルアイコンをクリックで再表示できます。



3D 【現場情報】の【3Dを利用する】がオンの場合

タイムライン右側にファイル種別切り替えボタンが表示されます。
ファイル一覧を確認する場合は、【共有ファイル】を選択してください。



7-7 地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える

地図上に表示されている写真や注釈、計測結果などの、表示/非表示を切り替えます。

- 1 画面左上にある「写真」、「注釈・計測」のオン・オフを切り替えます。

「写真」や「注釈・計測」が表示されていない場合は、「表示設定（目のアイコン）」をクリックしてください。



「写真」をオフにした場合



「写真」、「注釈・計測」をオフにした場合



補足

ファイルごとに表示/非表示を切り替えるには

ファイル一覧で、各ファイルの「目のアイコン」をクリックすることで、表示/非表示を切り替えることができます。
(※位置情報がある写真のみ、目のアイコンが表示されます。)



3D

【現場情報】の【3Dを利用する】がオンの場合

【写真】、【注釈・計測】のほか、【設計】（三角網、中心線形、測点名、横断線）、【現況】、【3Dモデル】、【図面】の表示/非表示を切り替えることができます。



図面

※最前面に表示されます。
※図面の位置がずれる場合は、
「図面が正しい位置に配置されない場合」
(P.60)を確認してください。

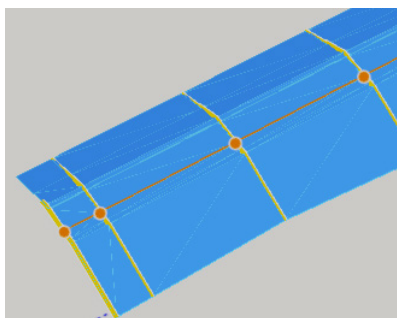
※3Dモデル、図面の表示について

ファイル管理のファイル情報で、【現場ビューア】が
【表示する】になっているデータが表示されます。
表示/非表示の切り替え方法は、「3Dデータのファイル
情報の編集について」(P.113)を確認してください。

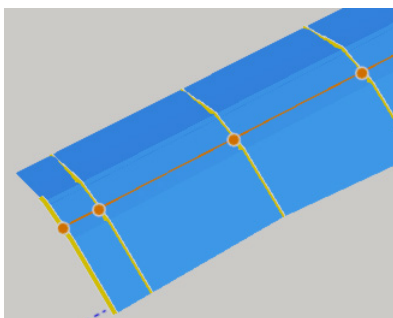
(次ページへ続きます)

「三角網」の右側のボタンをクリックすると、「面+線（ワイヤー）」「面のみ」「線（ワイヤー）のみ」を切り替えることができます。

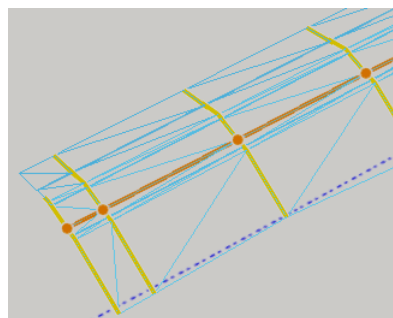
「面+線（ワイヤー）」



「面のみ」

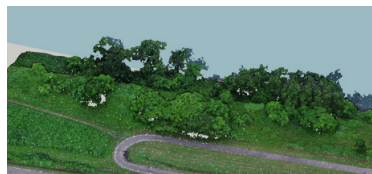


「線（ワイヤー）のみ」

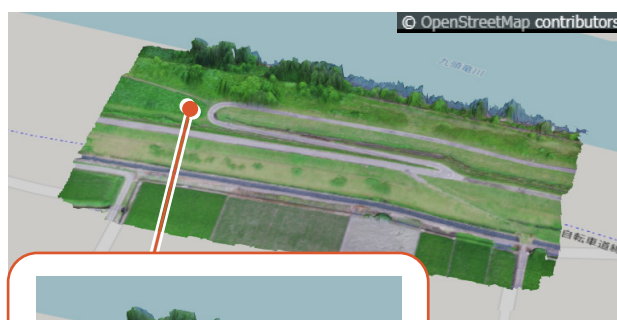


「現況」の右側のボタンをクリックすると、「点群」「メッシュ」を切り替えることができます。
メッシュデータの範囲については次ページを確認してください。

「点群」

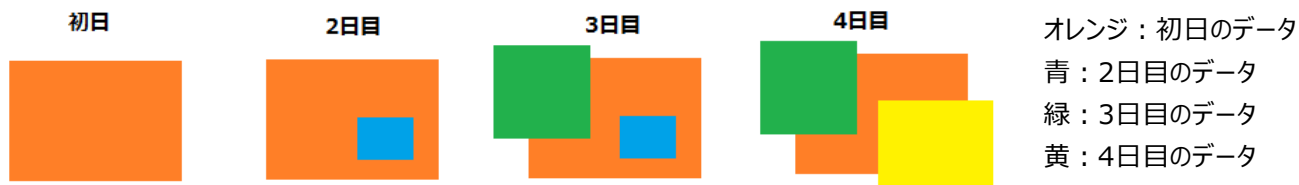


「メッシュ」



メッシュデータの範囲について

日々アップロードされる現況点群データを時系列順に継承したデータが作成されます。

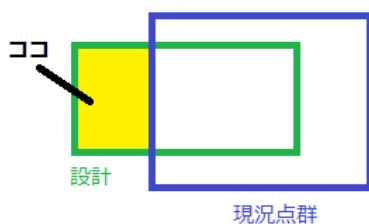


色付きの四角形は現況点群データの範囲です。

前日までの現況範囲の外であれば追加され、範囲内であれば上書き（差し替え）されます。

したがって、「メッシュデータの範囲」は「その日の現況点群データの範囲」より広くなることがあります。

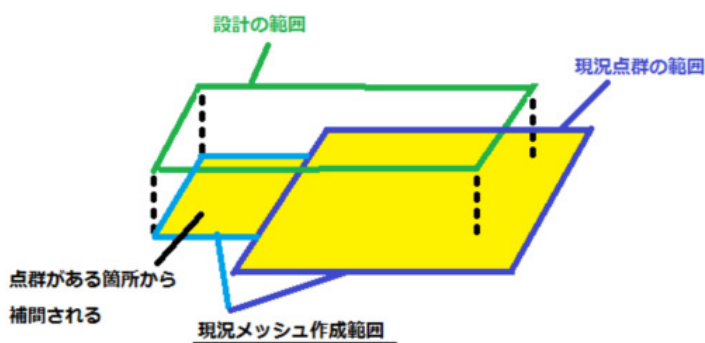
設計データの範囲に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が比較範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群データを用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

3D 図面が正しい位置に配置されない場合

図面の座標情報が誤っている場合、正しい位置に配置されません。

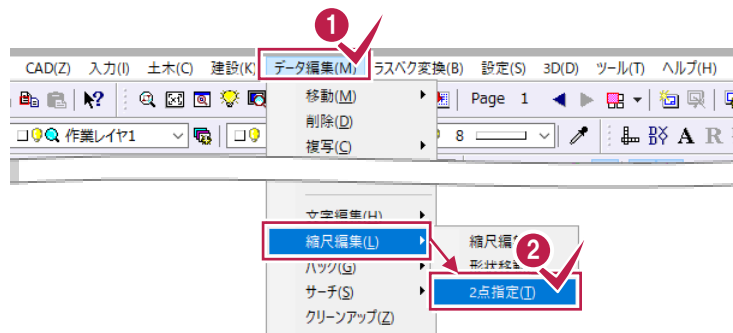
「EX-TREND武蔵 建設CAD」などの図面作成アプリケーションを使用して、座標値を正しく設定してください。

■ 建設 CAD で座標値を設定する方法

ここでは、建設CADの「縮尺編集」－「2点指定」を利用して、座標値を訂正する方法を説明します。

「縮尺編集」－「2点指定」では、図面上の2点を指定して、現場座標値を設定することができます。

① メニューバーの「データ編集」をクリックします。



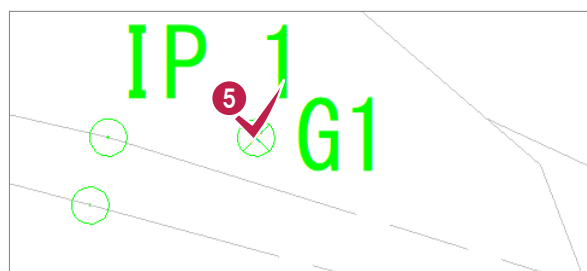
② 「縮尺編集」－「2点指定」をクリックします。

③ 訂正する縮尺をオンにします。

④ [OK] をクリックします。



⑤ 1点目の基準点をクリックします。



⑥ 2点目の基準点をクリックします。



(次ページへ続きます)

7 座標値を入力します。

8 [OK] をクリックします。

現場座標値/距離

7 座標値入力

1点目
X座標 11158.926 m
Y座標 24837.639 m << 座標入力一覧

2点目
X座標 11188.949 m
Y座標 24709.278 m << 座標入力一覧

☐ 距離入力 距離 0.000 m

8 OK キャンセル

9 縮尺を確認します。

縮尺の編集と共にCADデータも変更
する場合は、[CADデータも変更]
をオンにします。

10 [OK] をクリックします。

縮尺編集確認

? コマンドを実行すると、UNDOができなくなります。実行しますか？

9 現在の縮尺

名称	データ	縦縮尺	横縮尺	原点X	原点Y	回転角
プロット	○	300	300	11280.481	24954.203	0.0000

↓

編集後の縮尺

名称	データ	縦縮尺	横縮尺	原点X	原点Y	回転角
プロット	○	300	300	11084.559	24656.459	0.0000

計測縮尺値変更 300

☐ CADデータも変更

10 OK 戻る 中止

7-8 距離を計測する

現場ビューで、距離（2点間距離、累積距離）を計測します。

- ① [計測▼] - [距離計測] をクリックします。



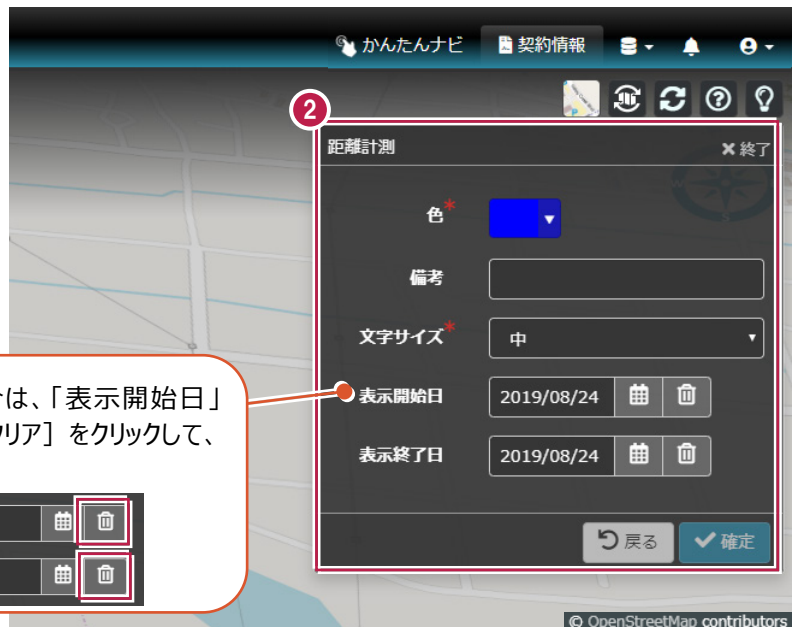
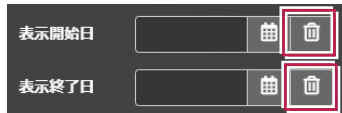
- ② 画面右上に、距離計測ダイアログが表示されます。

「色」、「備考」、「文字サイズ」、「表示開始日」、「表示終了日」を設定します。

※「色」と「文字サイズ」は入力必須項目（*）です。

※「備考」は 100 文字以内です。

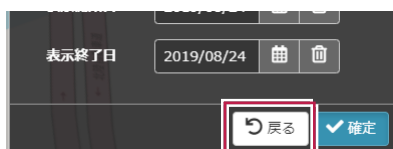
距離を常に表示する場合は、「表示開始日」「表示終了日」の「選択クリア」をクリックして、空欄にしてください。



- ③ ビューア上で、計測する点を2点以上クリックします。

クリック位置を間違えた場合

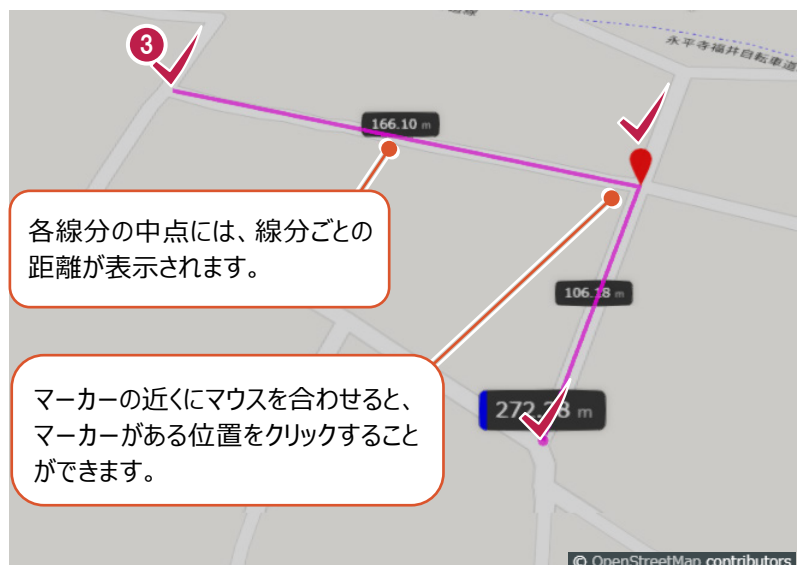
距離計測ダイアログの「戻る」をクリックすることで、1つ前のクリック位置に戻ります。



3D [現場情報] の [3D を利用する] がオンの場合

点群や設計面上、3Dモデル面上、図面線上を指定することができます。

（ただし、端点を正確には指定できません。）

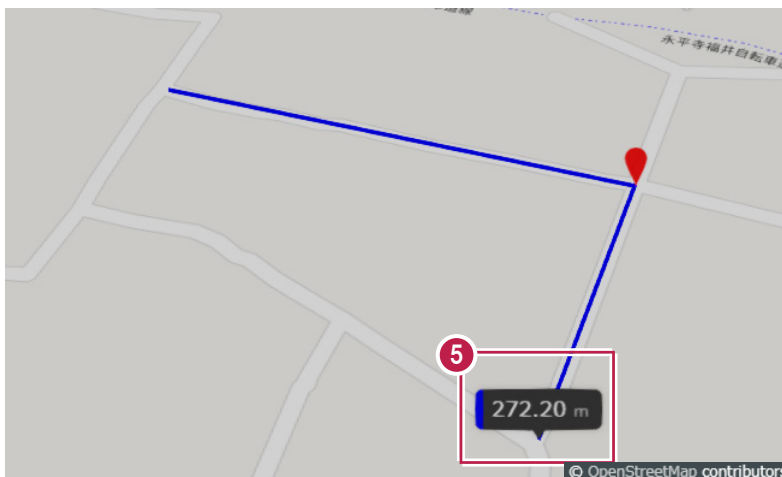


- ④ 最後のポイントをクリック後、[確定] をクリックします。
※ビューア上で 2 点以上クリックすると、
[確定] が押せるようになります。



ビューア上で、最後のポイントをダブルクリックしても確定できます。

- ⑤ 終点に計測値が配置されます。



- ⑥ [計測] をクリックして、コマンドを終了します。

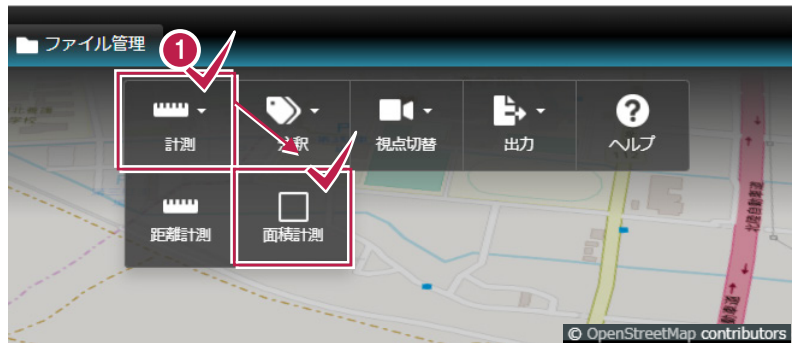
距離計測ダイアログの [×終了] を
クリックしても、コマンドを終了できます。



7-9 面積を計測する

現場ビューアで、面積を計測します。

- ① [計測▼] – [面積計測] をクリックします。



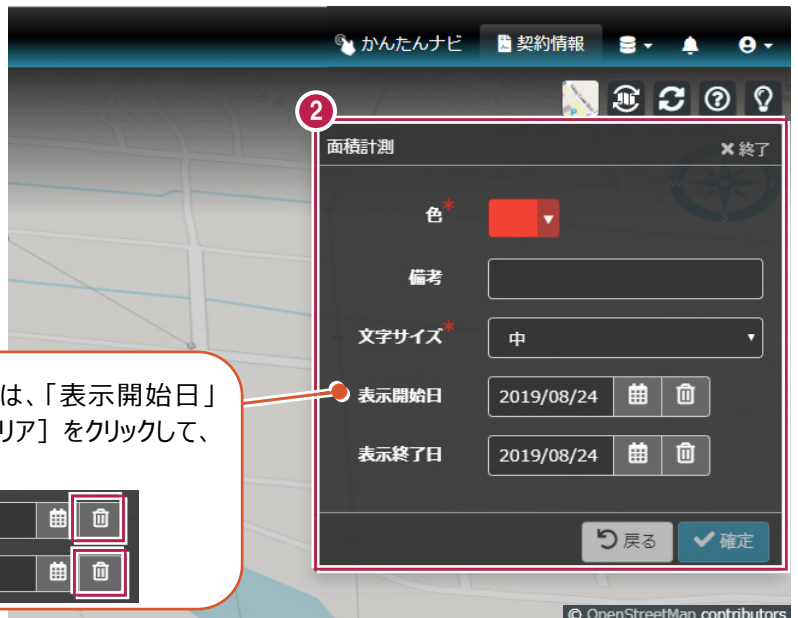
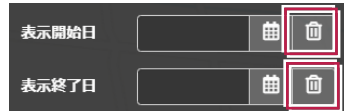
- ② 画面右上に、面積計測ダイアログが表示されます。

「色」、「備考」、「文字サイズ」、「表示開始日」、「表示終了日」を設定します。

※「色」と「文字サイズ」は入力必須項目（*）です。

※「備考」は 100 文字以内です。

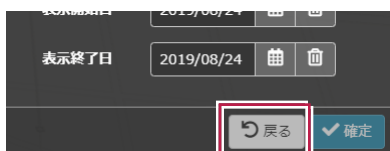
面積を常に表示する場合は、「表示開始日」「表示終了日」の「選択クリア」をクリックして、空欄にしてください。



- ③ ビューア上で、計測する点を 3 点以上クリックします。

クリック位置を間違えた場合

面積計測ダイアログの「戻る」をクリックすることで、1つ前のクリック位置に戻ります。



3D 【現場情報】の【3D を利用する】がオンの場合

点群や設計面上、3Dモデル面上、図面線上を指定することができます。

（ただし、端点を正確には指定できません。）



マーカーの近くにマウスを合わせると、マーカーがある位置をクリックすることができます。

- ④ 最後のポイントをクリック後、[確定] をクリックします。
※ビューア上で 3 点以上クリックすると、
[確定] が押せるようになります。

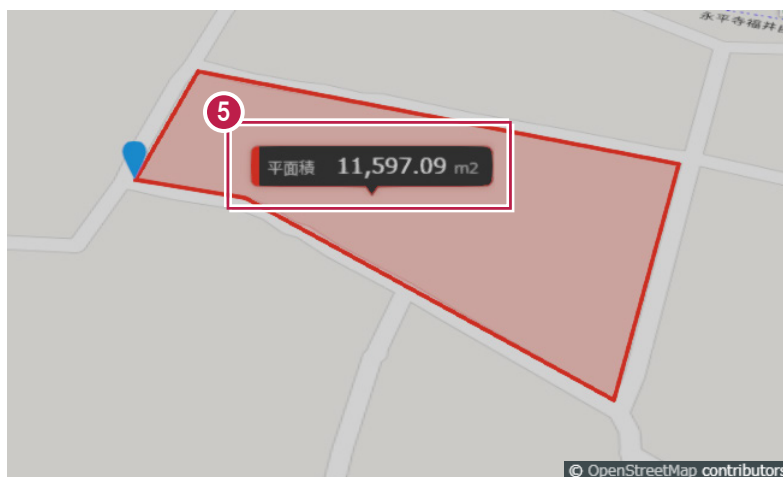
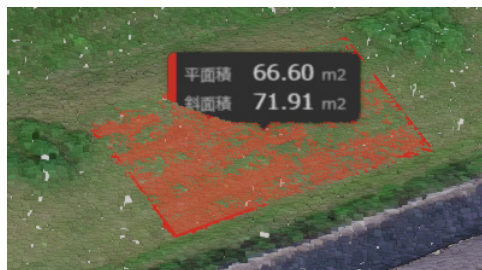


ビューア上で、最後のポイントをダブルクリックしても確定できます。

- ⑤ 範囲内に計測値が配置されます。

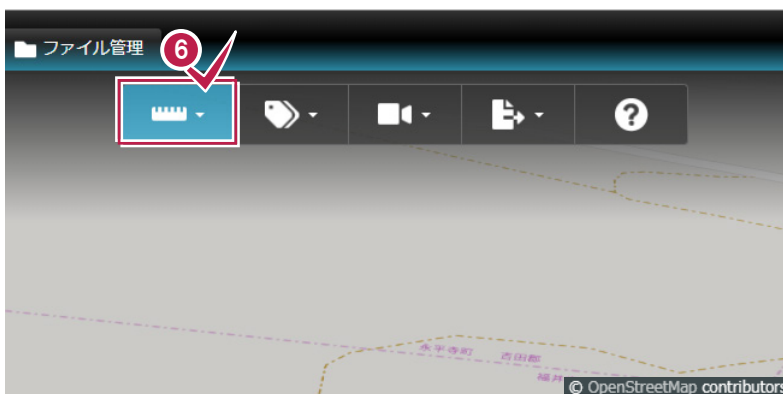
3D 点群や設計面上、3D モデル面上を指定した場合

「平面積」と、標高を考慮した「斜面積」が表示されます。



- ⑥ [計測] をクリックして、コマンドを終了します。

面積計測ダイアログの [×終了] をクリックしても、コマンドを終了できます。



7-10 体積を計測する

3D

現場ビューアで、体積を計測します。
点群データを登録後に操作してください。

- ① [表示設定] - [現況] をオンにします。



- ② [計測▼] - [体積計測] をクリックします。

自動でメッシュ表示に切り替わります。



- ③ 画面右上に、体積計測ダイアログが表示されます。

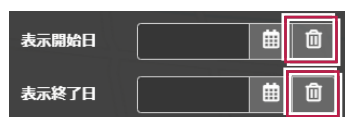
「色」、「備考」、「文字サイズ」、「表示開始日」、「表示終了日」を設定します。

※「色」と「文字サイズ」は入力必須項目 (*)

です。

※「備考」は 100 文字以内です。

体積を常に表示する場合は、「表示開始日」「表示終了日」の「選択クリア」をクリックして、空欄にしてください。



- ④ 現況メッシュ上で、計測する点を3点以上クリックします。

クリック位置を間違えた場合

体積計測ダイアログの「戻る」をクリックすることで、1つ前のクリック位置に戻ります。



- ⑤ 最後のポイントをクリック後、「確定」をクリックします。
※現況メッシュ上で3点以上クリックすると、「確定」が押せるようになります。



ビューア上で、最後のポイントをダブルクリックしても確定できます。

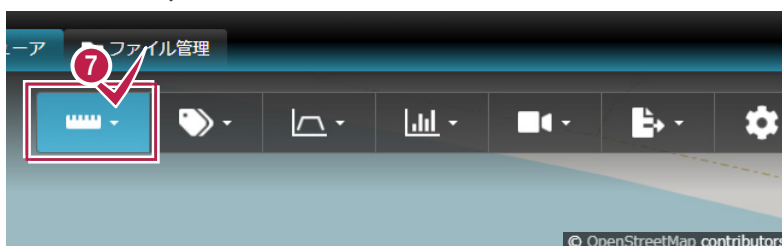
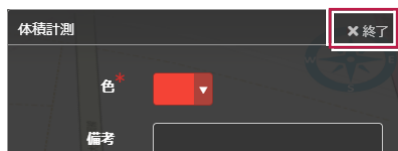
- ⑥ 範囲内に計測値が配置されます。

メッシュデータと入力した面を比較し、
入力面より上にある体積が盛土、
下にある体積が切土として計算されます。



- ⑦ 「計測」をクリックして、コマンドを終了します。

体積計測ダイアログの「×終了」をクリックしても、コマンドを終了できます。



7-11 注釈：マーカーを配置する

現場ビューア上に、マーカー（ピン）を配置します。
マーカーは、基準点を指し示したり、そのほか目印として利用できます。

① [注釈▼] - [マーカー] をクリックします。



② マーカーダイアログが表示されます。

「アイコン」、「備考」、「サイズ」、「表示開始日」、「表示終了日」を設定します。
※「アイコン」と「サイズ」は入力必須項目（*）です。
※「備考」は 100 文字以内です。

座標値を指定して配置するには

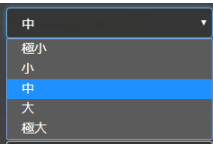
「X座標」、「Y座標」を入力してビューア上の任意の位置をクリックすると、入力した座標値にマーカーが配置されます。
※座標値は数学座標系、m単位で入力します。

数値入力（数学系）	
X座標	24404.489
Y座標	12855.395

アイコンをクリックして色を設定します。



サイズはリストボックスから選択します。



注釈を常に表示する場合は、「表示開始日」「表示終了日」の「選択クリア」をクリックして、空欄にしてください。

マーカー	
アイコン*	
備考	
サイズ*	中
表示開始日	2019/09/17
表示終了日	2019/09/17
数値入力（数学系）	
X座標	
Y座標	

3D [現場情報] の [3D を利用する] がオンの場合

「Z座標」も設定することができます。

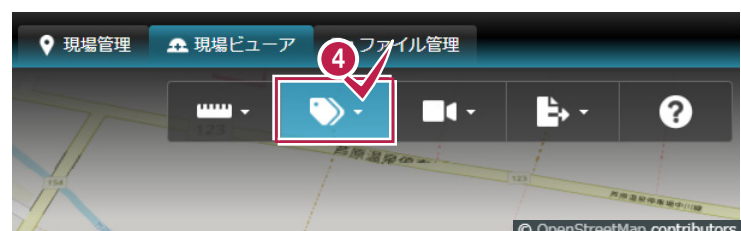
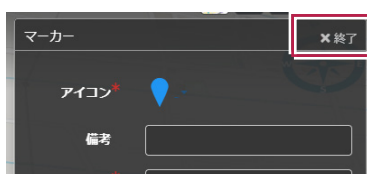
Y座標	12855.395
Z座標	12.3

③ マーカーの配置位置をクリックします。



④ [注釈] をクリックして、コマンドを終了します。

マーカーダイアログの「×終了」をクリックしても、コマンドを終了できます。



7-12 注釈：テキストを配置する

現場ビューア上に、テキスト（吹き出し文字）を配置します。
メモ書きや注釈として利用できます。

- ① [注釈▼] - [テキスト] をクリックします。



- ② テキストダイアログが表示されます。

「色」、「テキスト」、「文字サイズ」、
「表示開始日」、「表示終了日」を設定します。

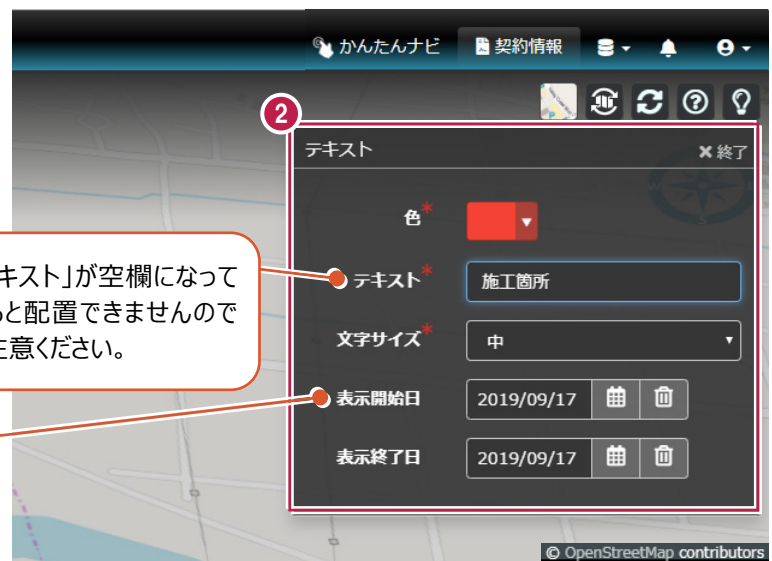
※「色」、「テキスト」、「文字サイズ」は入力必須
項目（*）です。

※「備考」は 100 文字以内です。

注釈を常に表示する場合は、
「表示開始日」「表示終了日」
の「選択クリア」をクリックして、
空欄にしてください。



「テキスト」が空欄になって
いると配置できませんので
ご注意ください。



- ③ テキストの配置位置をクリックします。

- ④ [注釈] をクリックして、コマンドを終了します。

テキストダイアログの「×終了」をクリック
しても、コマンドを終了できます。



7-13 注釈：ファイルを配置する

現場ビューア上に、注釈（ファイルマーク）を配置します。

位置情報がない書類を、注釈（ファイルマーク）に関連付けて配置し、地図上で情報を共有することができます。

- ① [注釈▼] – [ファイル] をクリックします。



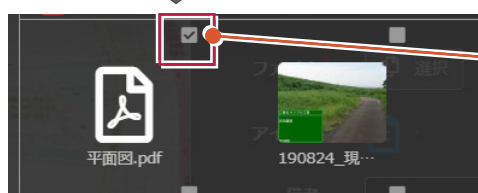
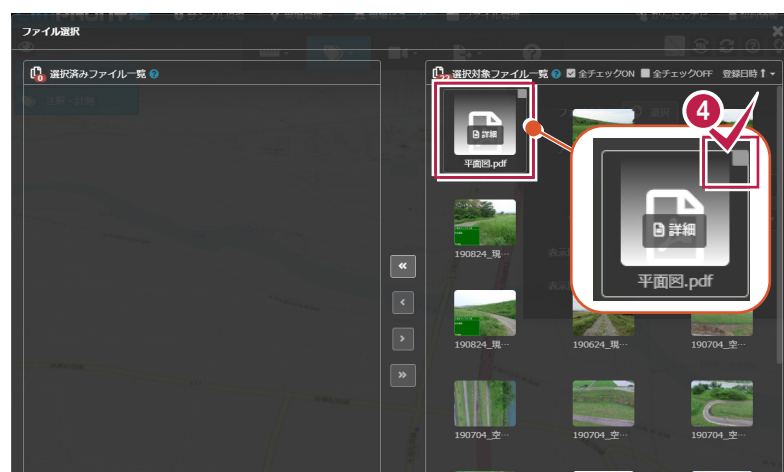
- ② ファイルダイアログが表示されます。

- ③ 「ファイル」の「選択」をクリックします。



- ④ 右側の選択対象ファイル一覧で、該当のファイルにマウスオーバーし、右上のチェックボックスをクリックします。

※複数ファイルを選択することもできます。



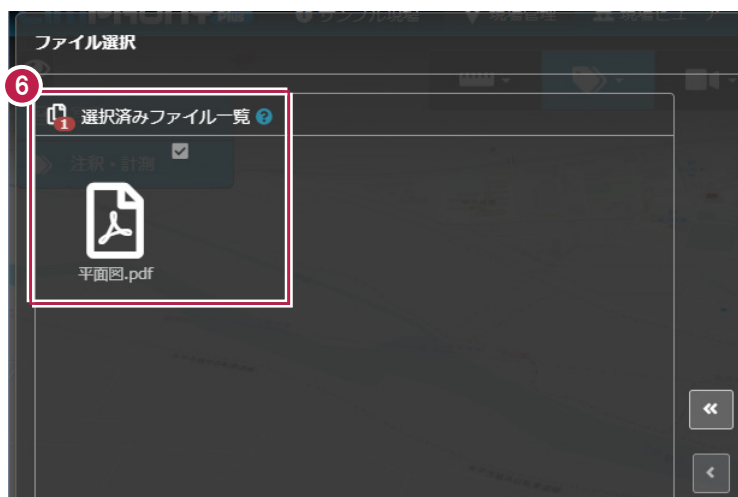
チェックがオンになったことを確認します。

- ⑤ 中央の「選択」（左矢印）をクリックします。

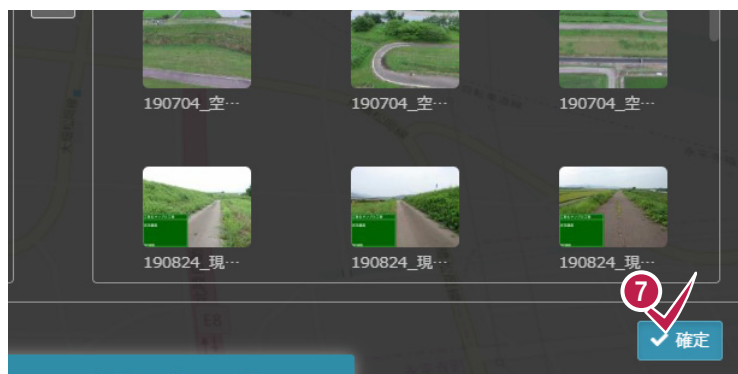
「全選択」では全ての
ファイルを選択できます。



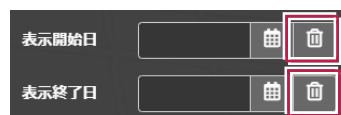
- ⑥ 左側の選択済みファイル一覧に追加されます。



- ⑦ 「確定」をクリックします。



- ※「備考」は 100 文字以内です。



-

- ファイルダイアログの [×終了] をクリックしても、コマンドを終了できます。



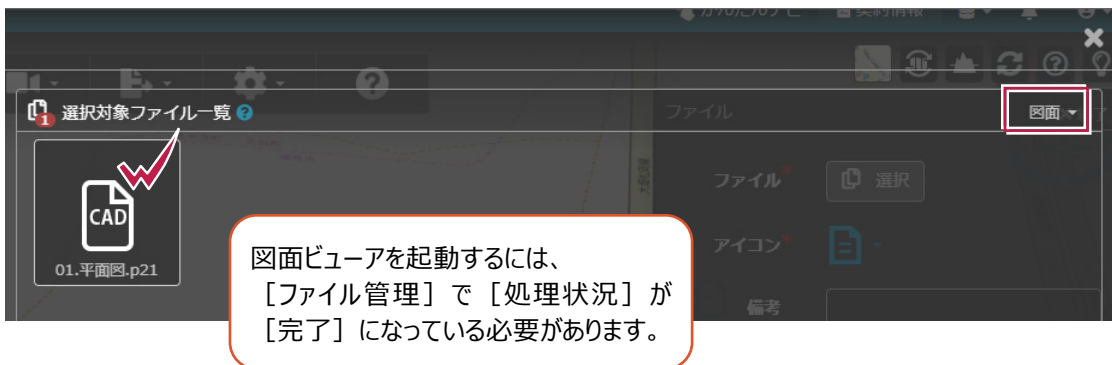
3D

【現場情報】の【3Dを利用する】がオンの場合

【選択対象ファイル一覧】で、【共有】フォルダーと【図面】フォルダーの切り替えができます。
選択したフォルダーに登録されているファイルが一覧に表示されます。



【図面】を選択した場合、ファイルをダブルクリックすると図面ビューアが起動し、図面内容を確認することができます。
図面ビューアの詳細は、「15.図面ビューア」(P.175)を確認してください。



7-14 計測や注釈を編集する/削除する

現場ビュー上の不要な計測結果や注釈（マーカー、テキスト、ファイル）を編集する操作と削除する操作を説明します。削除ではなく、一時的に非表示にする場合は「7-7.地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える」（P.56）をご確認ください。

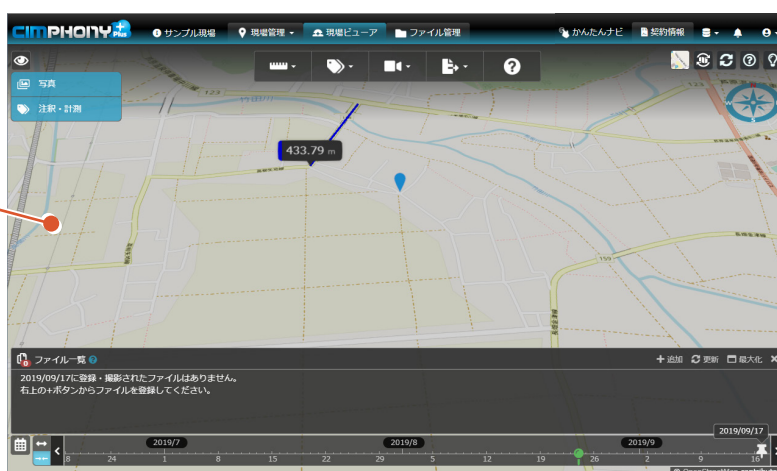
ここでは、マーカーの編集/削除の操作を例に説明します。

■ 計測や注釈を編集する

- 1 配置コマンドが起動している場合は、終了しておきます。



コマンドが何も起動していない状態になったことを確認します。

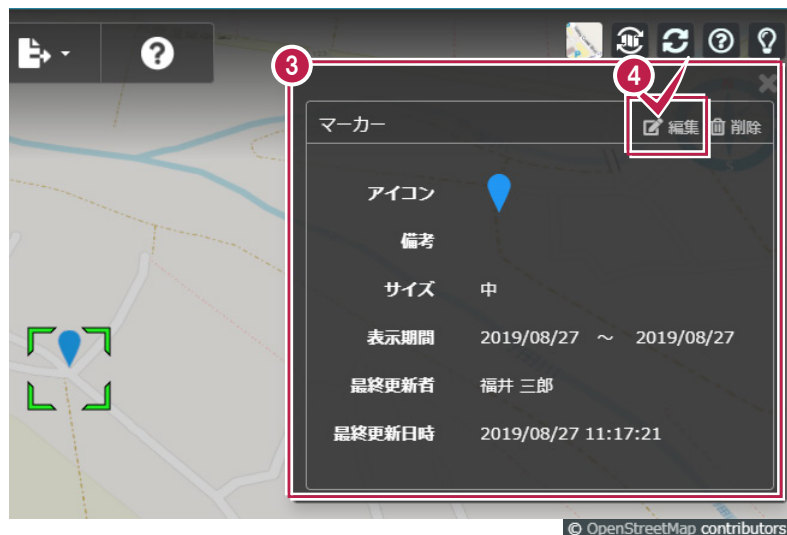


- 2 現場ビューで、編集する表示（計測または注釈）をクリックします。



③ 画面右側にプロパティが表示され、設定内容が確認できます。

④ [編集] をクリックします。



⑤ 設定を変更します。

⑥ [保存] をクリックします。



⑦ 編集後、[閉じる] ボタンをクリックします。

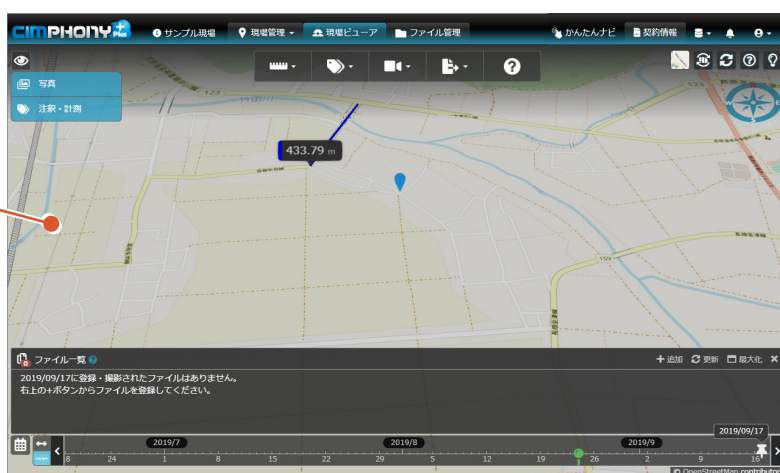


■ 計測や注釈を削除する

- 1 配置コマンドが起動している場合は、終了しておきます。



コマンドが何も起動していない状態になったことを確認します。

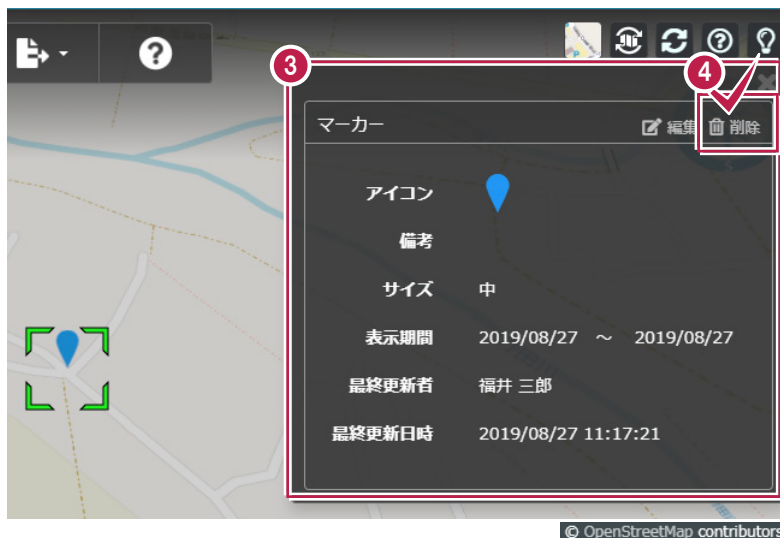


- 2 現場ビューアで、削除する表示（計測または注釈）をクリックします。

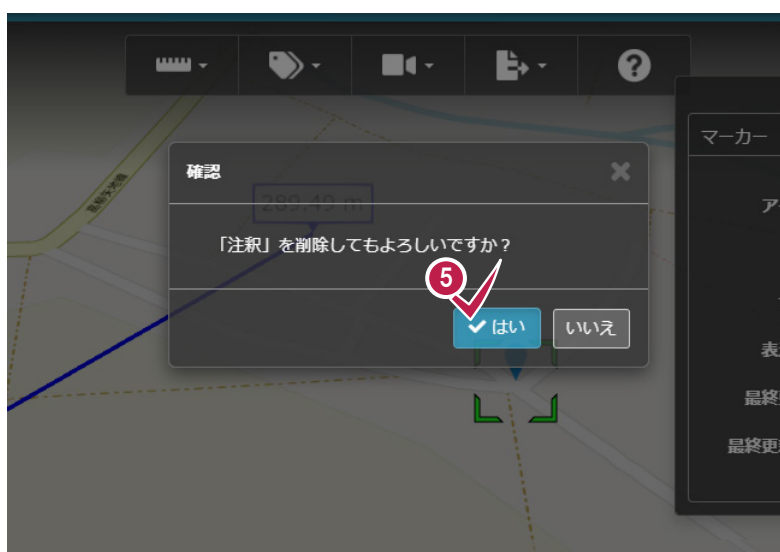


③ 画面右側にプロパティが表示されます。

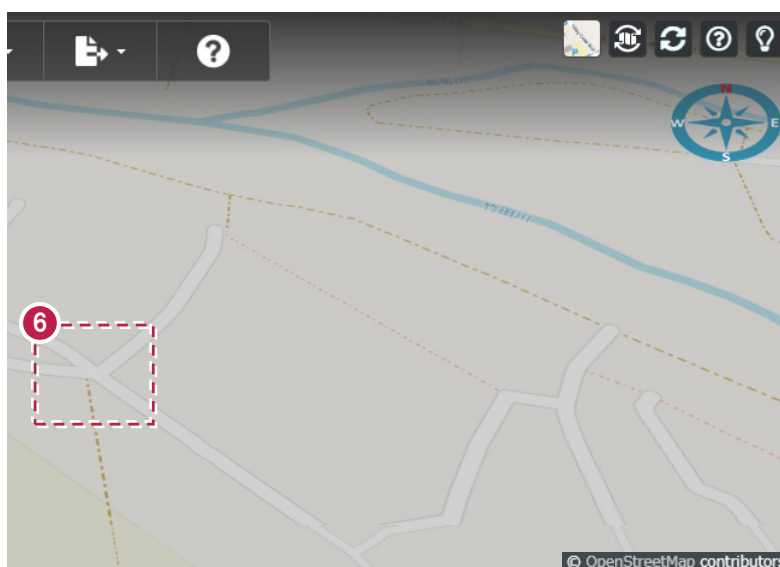
④ [削除] をクリックします。



⑤ [はい] をクリックします。



⑥ 注釈が削除されます。



7-15 管理断面を確認する

3D

管理断面を確認します。

設計データを登録後に操作してください。

① [断面▼] - [管理断面] をクリックします。

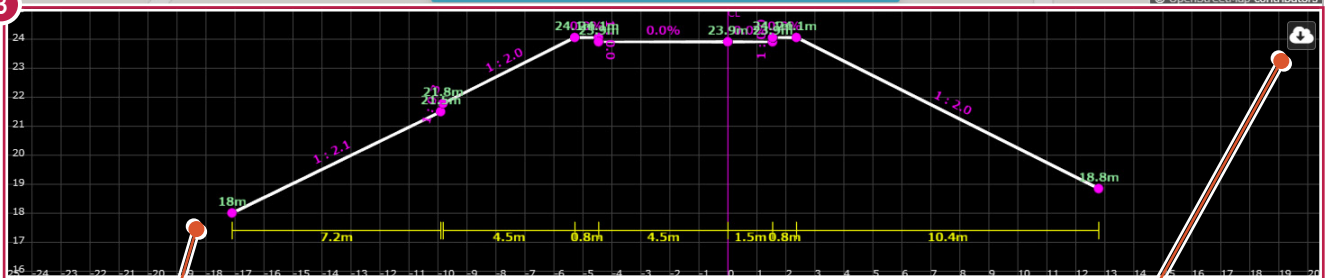
② 確認したい横断線をクリックします。

③ 管理断面を確認します。

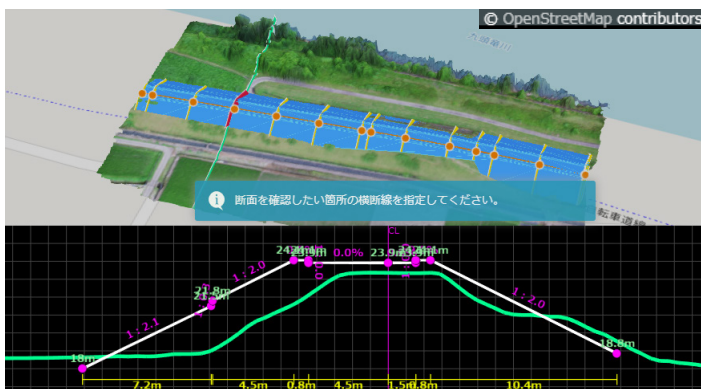
④ [断面] をクリックして、コマンドを終了します。



現況データを表示している場合、
[管理断面] 起動中は
メッシュ表示になります。



地図ビューに現況データが表示されている場合、
断面ビューにも現況データの断面（緑の線）が表示されます。



[DXF出力]  をクリックすると、断面形状図面をDXF形式で保存することができます。
(断面線とCL線が出力されます。寸法線などは出力されません。)

7-16 任意断面を確認する

3D

任意断面を確認します。

設計データもしくは点群データを登録後に操作してください。

- 1 [断面▼] - [任意断面] をクリックします。



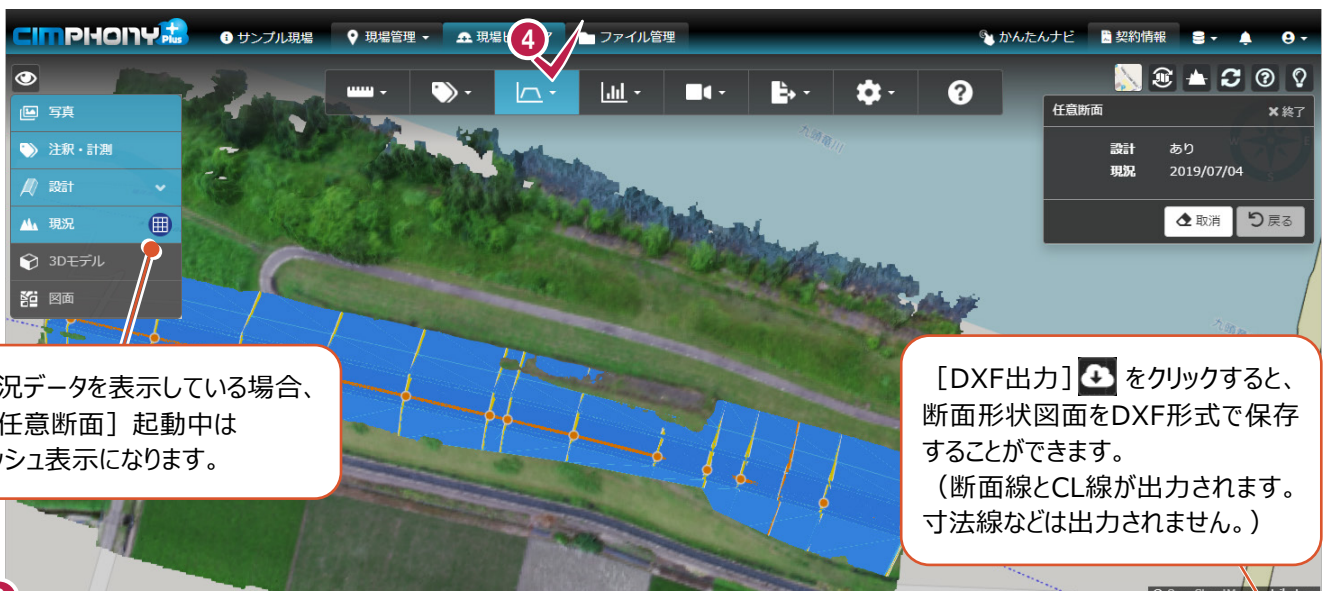
- 2 任意断面の開始点、終了点を順にクリックします。

現場ビューの場合、設計と現況の情報が表示されます。
[×終了] をクリックすると、コマンドが終了します。



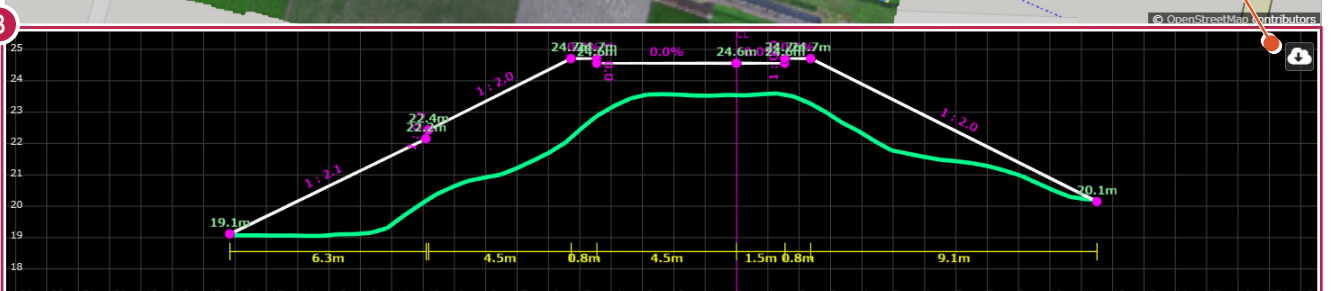
- 3 任意断面を確認します。

- 4 [断面] をクリックして、コマンドを終了します。



現況データを表示している場合、
[任意断面] 起動中は
メッシュ表示になります。

[DXF出力] をクリックすると、
断面形状図面をDXF形式で保存
することができます。
(断面線とCL線が出力されます。
寸法線などは出力されません。)



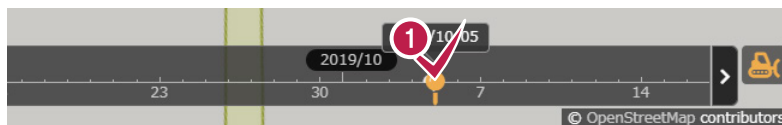
7-17 現況データを比較する 3D

現況データと設計データを比較し、違いを標高差モデルとして表示します。

2つの現況データを比較することもできます。

ここでは、点群データと設計データを比較する操作を説明します。

- ① タイムラインで、日付を選択します。

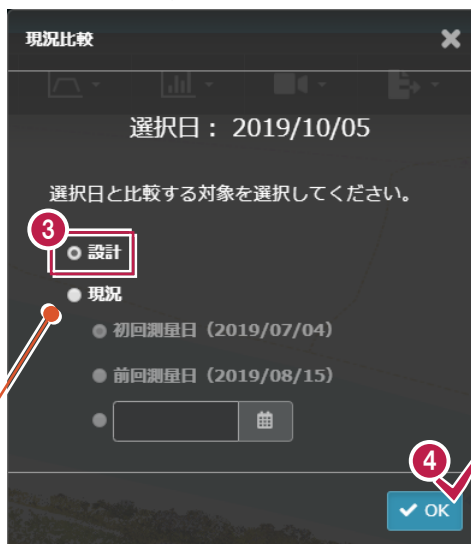


- ② [施工状況▼] - [現況比較] をクリックします。



- ③ 比較する対象を選択します。
ここでは、[設計] を選択します。

- ④ [OK] をクリックします。



※ [現況] 選択時、以下のいずれかを選択します。

[初回測量日] : 測量日時が1番古い現況データと比較します。

[前回測量日] : ① の直前の現況データと比較します。

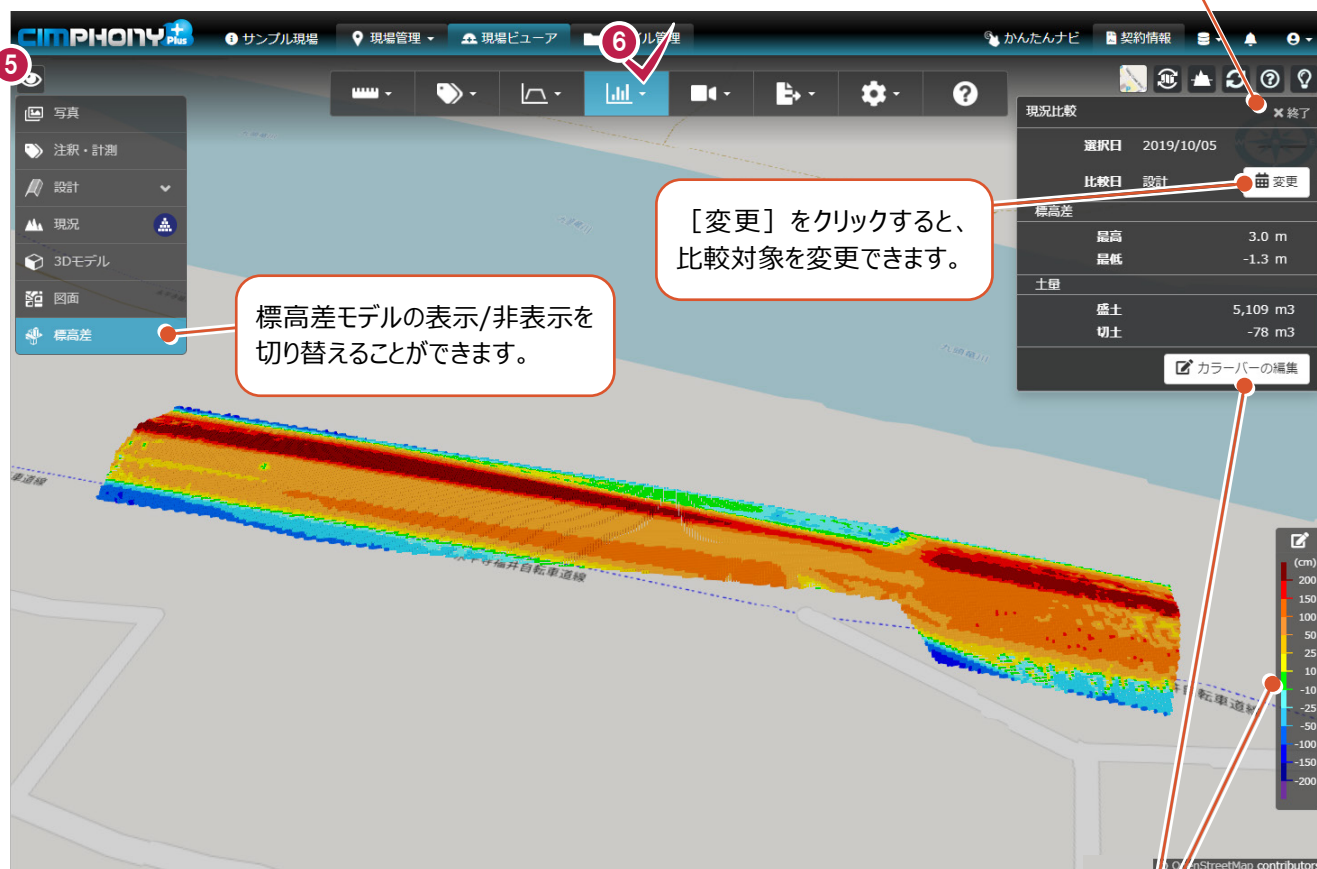
[カレンダー] : カレンダーで選択した日の現況データと比較します。

※「選択日」の現況データを「比較する対象」に指定することはできません。

⑤ 標高差、土量を確認します。

⑥ 「施工状況」をクリックして、コマンドを終了します。

「×終了」をクリックすると、
コマンドが終了します。



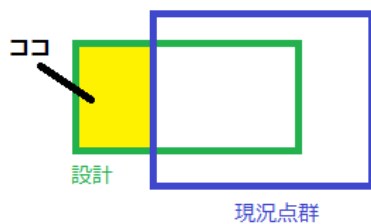
カラーバーの編集については、
「7-19.カラーバーを編集する」
(P.85)を確認してください。

比較範囲について

■ 設計データがある場合

設計データの範囲のみ比較します。（※設計範囲＝比較範囲という考え方）

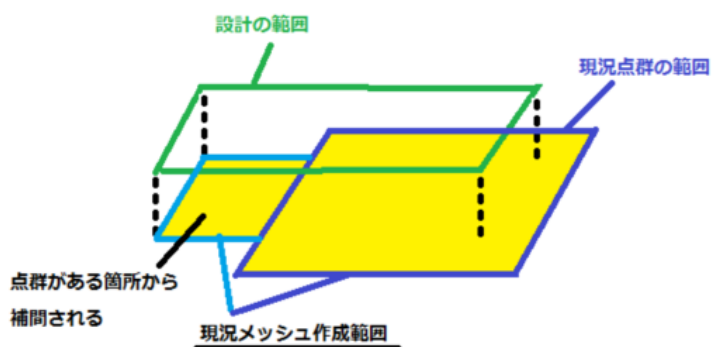
設計データの範囲 に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が比較範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群を用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

■ 設計データがない場合

現況データ全体の範囲（現況メッシュデータの範囲）を比較します。

土量値の計算について

- ・4点平均標高法で計算しています。
- ・格子サイズ50cmのメッシュから計算しています。

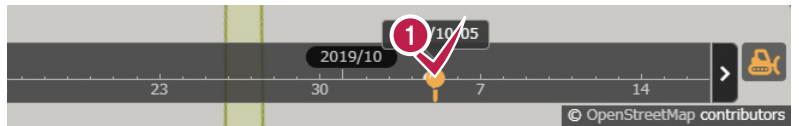
7-18 土量進捗を確認する

3D

土量進捗をヒートマップで確認します。

設計データと点群データを登録後に操作してください。

- 1 タイムラインで、初回測量日以降の日付を選択します。



- 2 [施工状況▼] - [土量進捗] をクリックします。



- 3 タイムラインの日付を変更して、土量進捗を確認します。

- 4 [施工状況] をクリックして、コマンドを終了します。

[×終了] をクリックすると、コマンドが終了します。

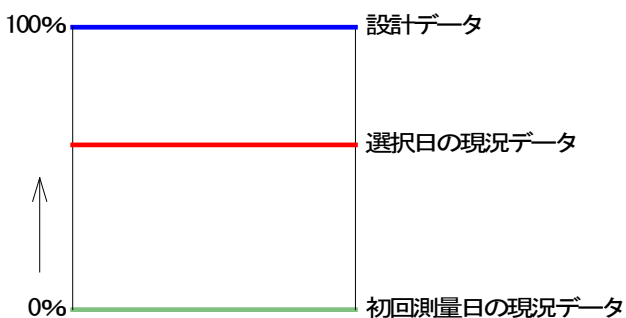
土量進捗の表示/非表示を切り替えることができます。

[▼] をクリックすると、計画、前回差分が確認できます。

[進捗チャート] をクリックすると、盛土、切土の進捗率が確認できます。



土量進捗率は、初回測量日を0%、設計データを100%として計算されます。



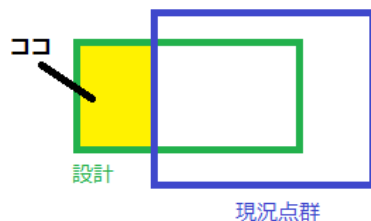
カラーバーの編集については、「7-19.カラーバーを編集する」(P.85)を確認してください。

補足

評価範囲について

設計データの範囲のみ評価します。（※設計範囲＝評価範囲という考え方）

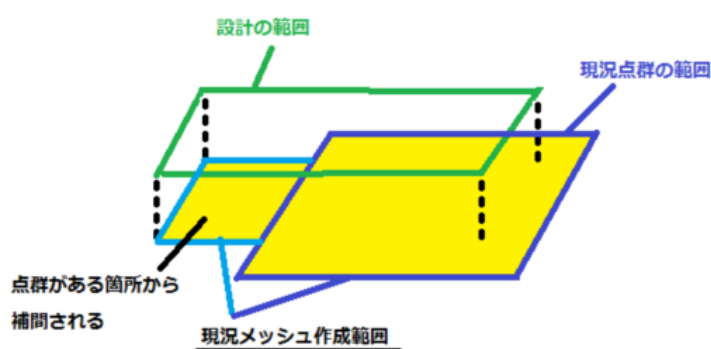
設計データの範囲 に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が評価範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群を用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

補足

土量値の計算について

- ・4点平均標高法で計算しています。
- ・格子サイズ50cmのメッシュから計算しています。

7-19 カラーバーを編集する 3D

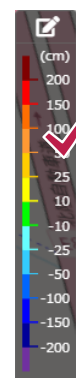
〔施工状況〕－〔現況比較〕〔土量進捗〕で表示されるカラーバーを編集します。

ここでは、〔現況比較〕のカラーバーを例に説明します。（土量進捗のカラーバーも同様の手順で編集してください。）

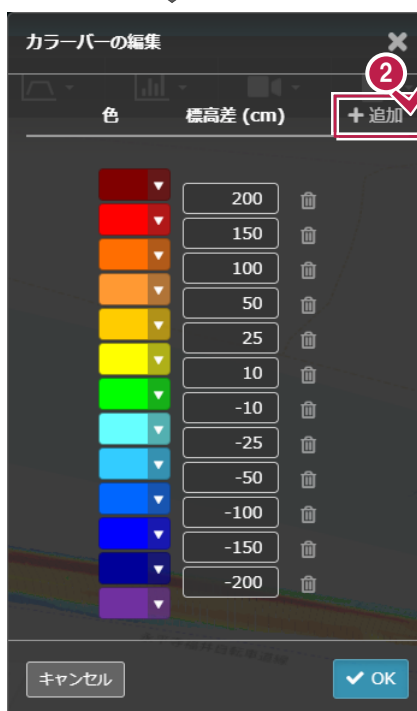
- ① ダイアログの〔カラーバーの編集〕をクリックします。



もしくは、カラーバーを直接クリックしてください。



- ② 〔追加〕をクリックします。

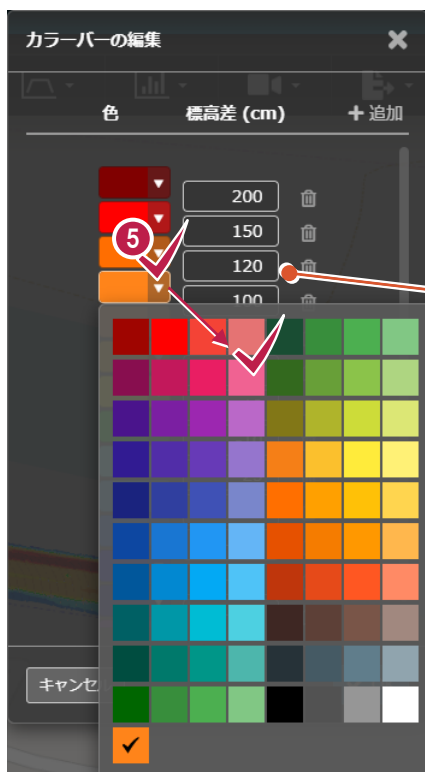


- ③ 〔標高差〕を入力します。

- ④ 〔OK〕をクリックします。

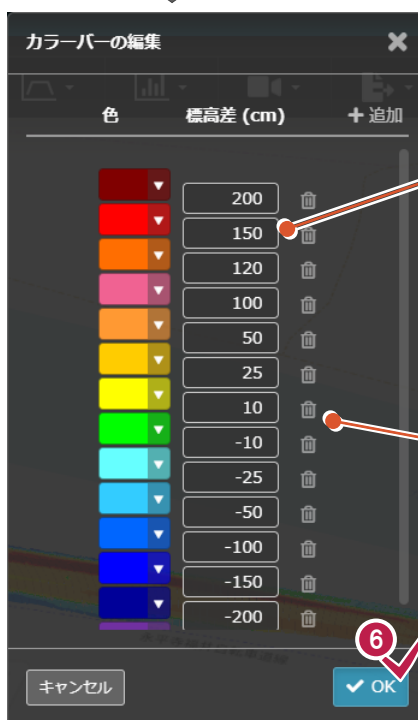


⑤ [色] を変更します。

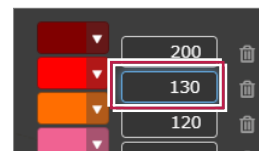


行が追加されます。

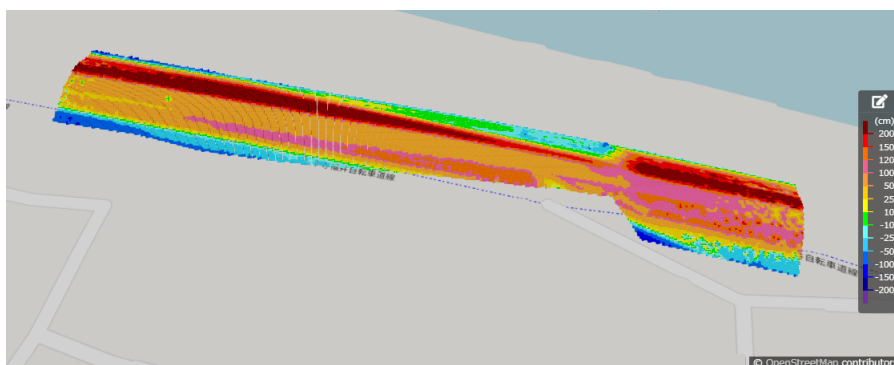
⑥ [OK] をクリックします。
現場ビューアに反映されます。



標高差 (cm) を変更
することもできます。



🗑️ をクリックすると、
行が削除されます。



7-20 視点を切り替える

ビューアの視点を切り替えます。

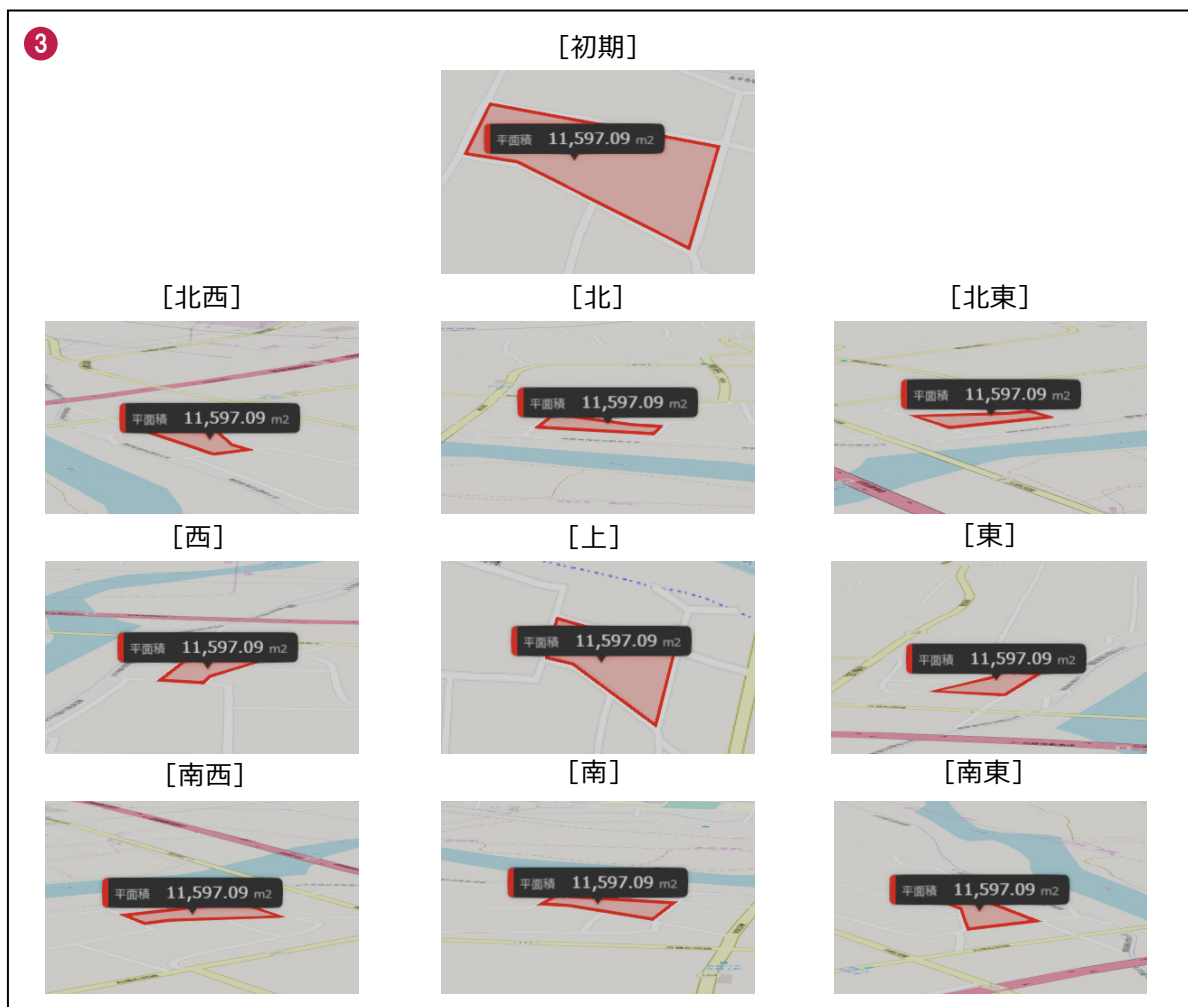
- ① [視点切替] をクリックします。



- ② 方向を選択します。



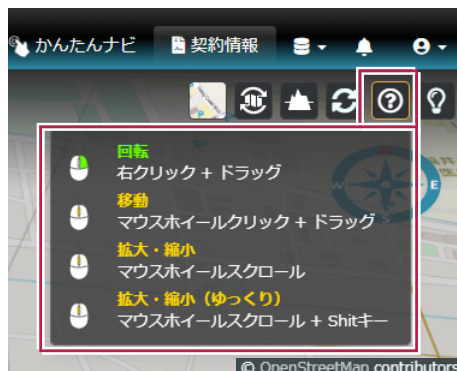
- ③ クリックしたそれぞれの方向から現場をながめるような視点に切り替わります。



画面の拡大・移動・回転について

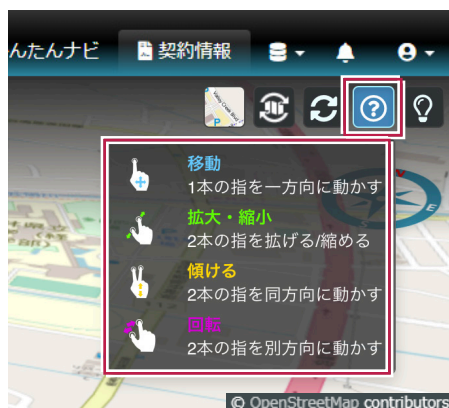
パソコンの場合は、右ボタンドラッグで「回転」、マウスホイールドラッグで「移動」、マウスホイールを奥に転がして「拡大」ができます。

画面の操作方法については、画面右上のヘルプをクリックして確認できます。



タブレット端末の場合は、1本指を動かして「移動」、2本指を広げて「拡大」、2本指を同じ方向に動かして「傾ける」、2本指を別方向に動かして「回転」ができます。

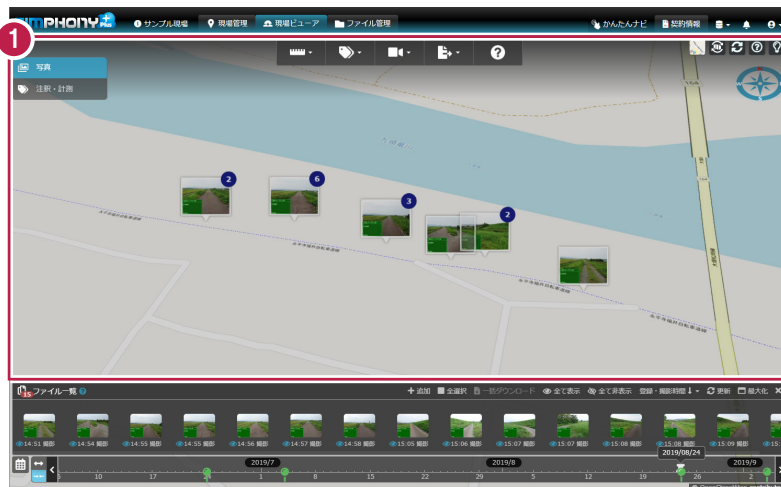
画面の操作方法については、画面右上のヘルプをタップして確認できます。



7-21 現場ビューアの画像を出力する

現場ビューアで表示中の状態を、画像として出力します。

① ビューアで視点を調整します。



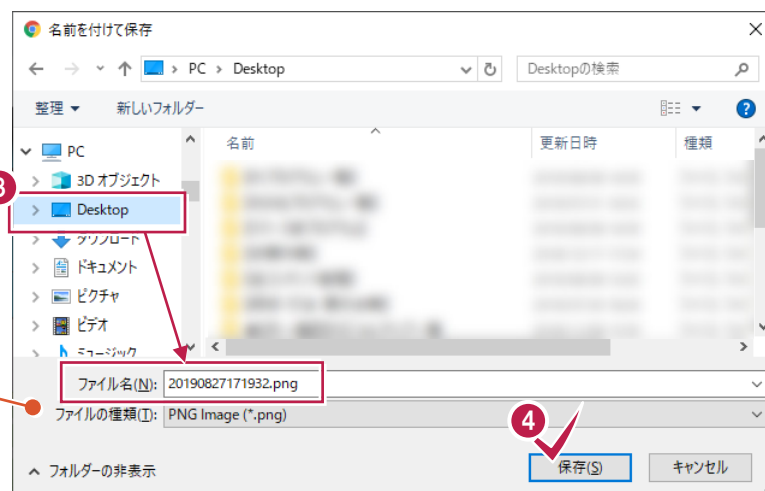
② [出力▼] – [画像出力] をクリックします。



③ 保存先とファイル名を設定します。

④ [保存] をクリックします。

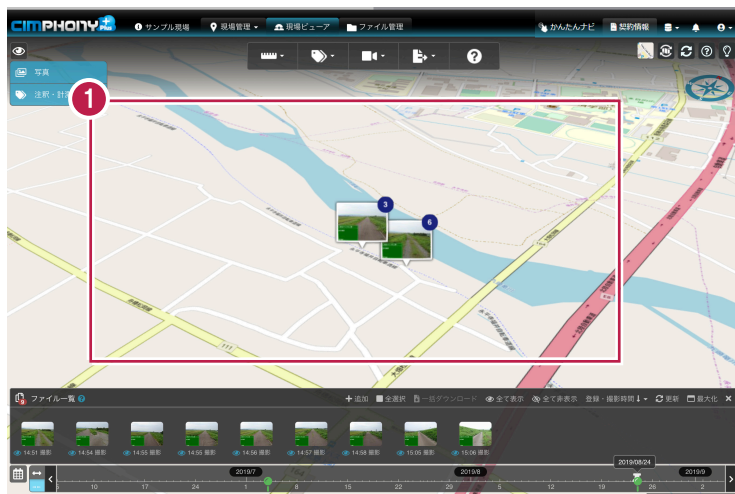
PNG形式で出力されます。



タブレット端末で現場ビューアの画像を出力する場合

タブレット端末によっては、画像出力は以下の操作になります。（例：iPad [Safari] ）

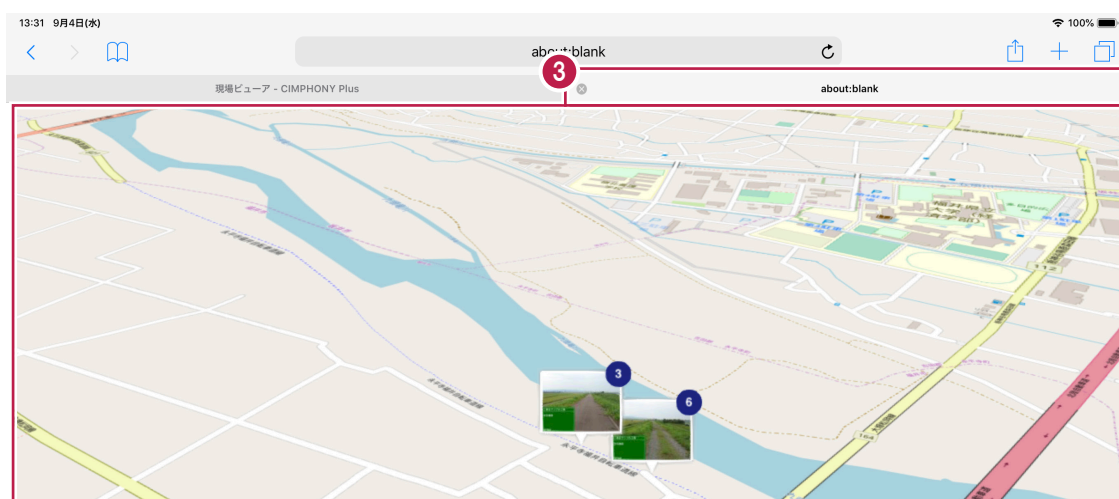
- 1 ビューアで視点を調整します。



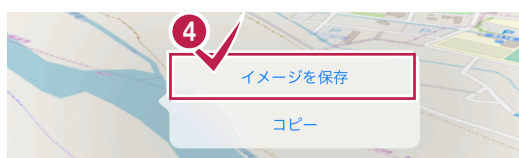
- 2 [出力▼] – [画像出力] をタップします。



- 3 ブラウザの別ページに出カイメージが表示されます。



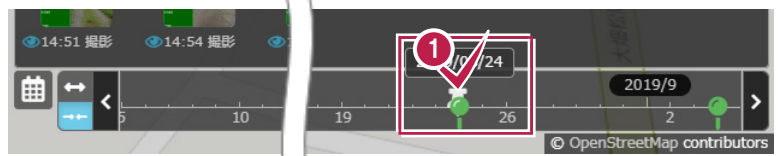
- 4 画面を長押しし、[イメージを保存] をタップします。



7-22 現場共有URLを発行する

CIMPHONY Plusのアカウントを持っていない方や現場参加者以外の方に、現場を公開することができます。
(公開する現場を開いて操作してください。)

- ① 公開する日付を、タイムラインで選択します。

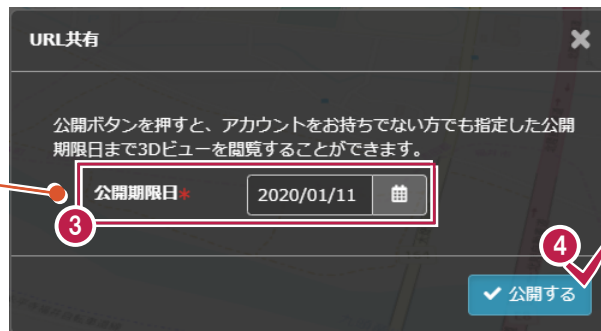


- ② [出力▼] - [URL 共有] をクリックします。



- ③ [公開期限日] を設定します。

選択できる日には、
本日 + 1 週間以内です。

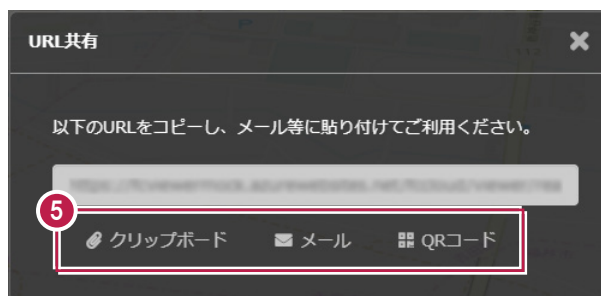


- ④ [公開する] をクリックします。

- ⑤ 公開方法を選択します。

公開方法は以下の3つから選択できます。

- クリップボード：クリップボードにURLがコピーされます。任意の場所にURLを貼り付ける場合に使用します。
- メール：パソコンに入っているメールが起動します。メールでURLを送信する場合に使用します。
- QRコード：QRコードの画像ファイルが出力されます。スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ることで閲覧できます。



URL で公開した現場の制限

URL先の現場では以下のような制限があります。

- ・URL共有したタイムラインの日付のみ閲覧できます。
- ・データのアップロード、ダウンロードはできません。
- ・現場ビューアで使用可能な機能は以下です。
「写真・注釈・計測の表示設定」、「地図・地形切替」、「視点切替」、「背景表示切替」、「写真・注釈・計測のプロパティ確認」

- 3D** ・3D現場ビューアで使用可能な機能は以下です。
上記+「設計・現況・3Dモデルの表示設定」、「地中のデータ表示/非表示」、「管理断面・任意断面の確認」、「土量進捗の確認」、「点群表示の設定」

7-23 点群の表示設定を行う 3D

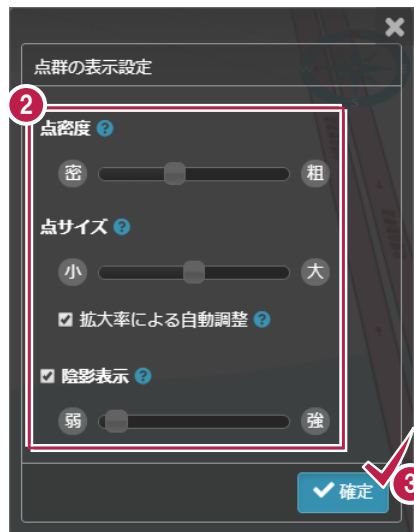
点群の点密度、点サイズ、陰影表示の設定を行います。

- 1 [表示設定▼] - [点群表示] をクリックします。



- 2 [点密度] [点サイズ] [陰影表示] を設定します。

- 3 [確定] をクリックします。
現場ビューアの点群に設定が反映されます。



〔点密度〕：点群の表示密度を設定します。

〔密〕であるほど点群はきれいに表示されますが、パフォーマンスは低下します。

〔粗〕であるほど点群は粗く表示されますが、パフォーマンスは向上します。

〔点サイズ〕：点のサイズを設定します。

点群が粗い場合は、大きくすることで隙間を埋めて表示されます。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

〔拡大率による自動調整〕：オンにすると、ビューの拡大率によって点のサイズを自動調整します。

縮小したときは点サイズが小さく、拡大したときは点サイズが大きくなります。

〔陰影表示〕：陰影表示のオン・オフと強弱を設定します。

オンにするとパフォーマンスが低下します。

※これらの設定は全現場に適用されます。

ただし、ユーザーアカウントごとの設定であるため、ほかのユーザーとは共有されません。

7-24 3Dデータの標高を補正する

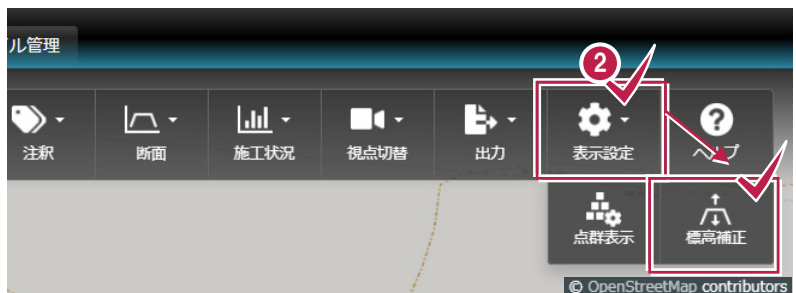
3D

設計データ、現況データ、3Dモデルデータ、図面データの標高を補正します。

- 1 地形の種類を「標高タイル」に設定します。



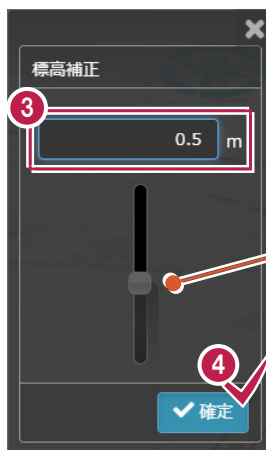
- 2 「表示設定▼」 - 「標高補正」をクリックします。



- 3 「標高補正值」を入力します。

- 4 「確定」をクリックします。

3Dデータの標高が変更されます。



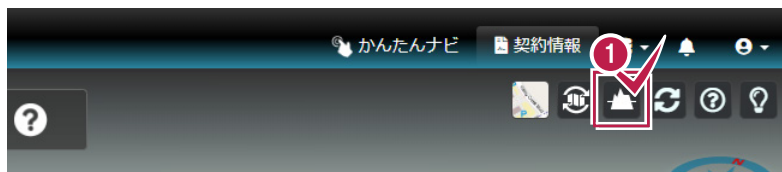
スライダーをドラッグして移動すると、ビューを確認しながら標高補正することができます。
スライダーの補正範囲は「-10.0」から「10.0」ですが、「標高補正值」には「-99.9」から「99.9」を入力することができます。

7-25 地中のデータの表示/非表示を切り替える

3D

地中のデータの表示/非表示を切り替えます。

- 1 [地中のデータ表示/非表示] をクリックして、表示/非表示を切り替えます。



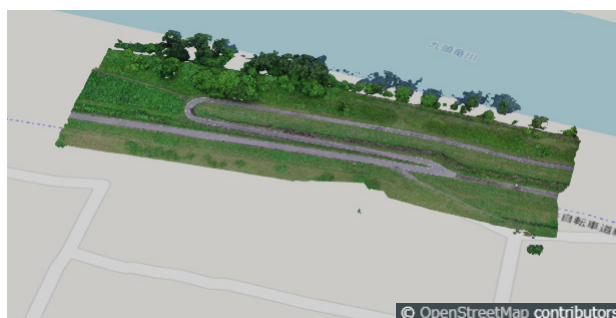
■ 表示オンの場合

地図より下のデータも表示されます。



■ 表示オフの場合

地図より下のデータは表示されません。



7-26 ヘルプを表示する

ヘルプでは、現場ビューア各コマンドの概要が確認できます。

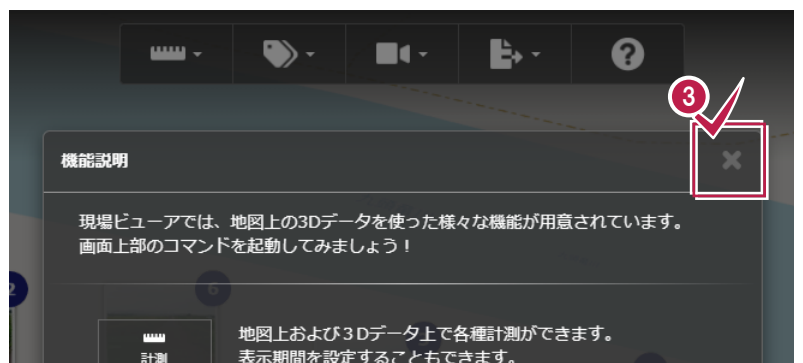
- 1 [ヘルプ] をクリックします。



- 2 機能説明が表示されます。



- 3 [閉じる] ボタンをクリックして、ヘルプを終了します。



8

作成者－ファイル管理

「作成者」権限を持つ方が、「ファイル管理」タブで使用可能な機能について説明します。



8-1 フォルダの追加/削除/名称変更/移動

登録ファイル数が多い場合など、任意のフォルダを作成して分類ごとに管理することができます。

■ ファイル管理画面を開く

① 該当の現場をクリックします。



② 「現場に入る」をクリックします。



③ 「ファイル管理」タブをクリックします。



■ フォルダを追加する

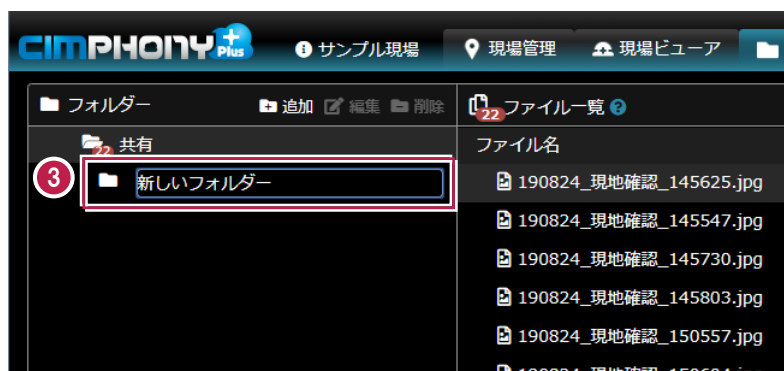
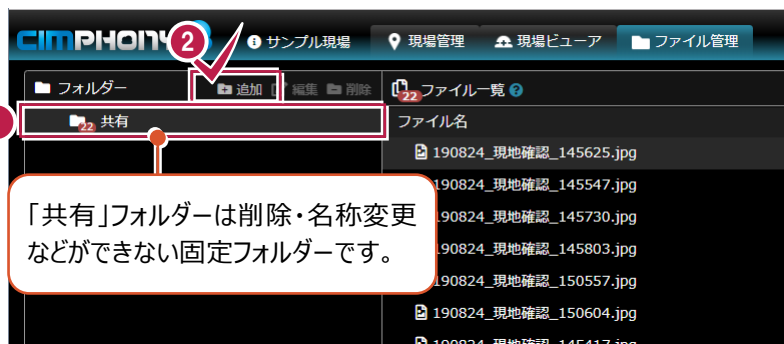
① 左側のフォルダー一覧で、階層を追加するフォルダーを選択します。

② 「追加」をクリックします。

3D 3D 専用フォルダについて

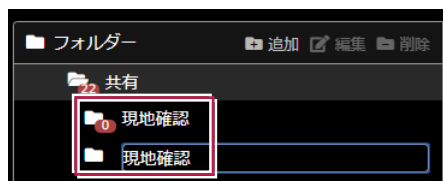
「設計」「点群」「3Dモデル」「図面」フォルダーは、フォルダーの追加・削除・名称変更などができない固定フォルダーです。

③ 新しいフォルダーが追加されます。



④ フォルダ名を入力します。
※禁止文字（¥/:*?"<>|）は使用できません。

同じ階層に同一名称のフォルダーを作成することはできませんのでご注意ください。

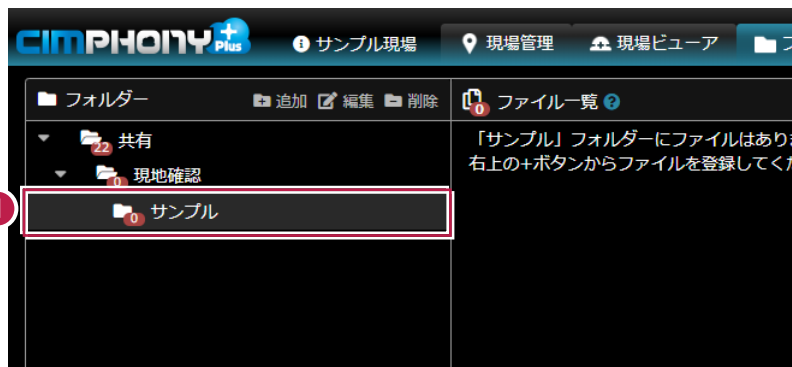


入力されたフォルダ名は既に使用されています。
フォルダ名を変更して、再度やり直してください。



■ フォルダを削除する

- 1 左側のフォルダ一覧で、削除するフォルダを選択します。



- 2 [削除] をクリックします。

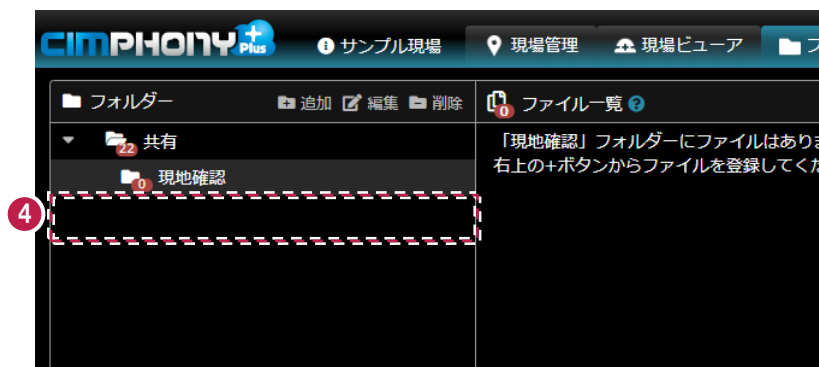


- 3 [はい] をクリックします。

フォルダ内のファイルも同時に削除されます。

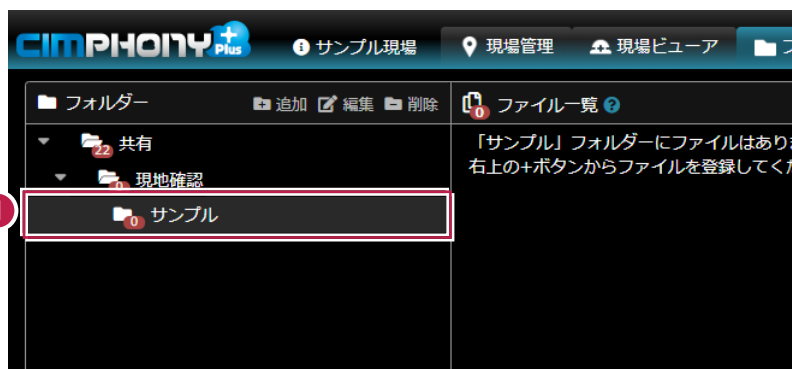


- 4 フォルダが削除されます。



■ フォルダーの名称を変更する

- 1 左側のフォルダー一覧で、名称を変更するフォルダーを選択します。

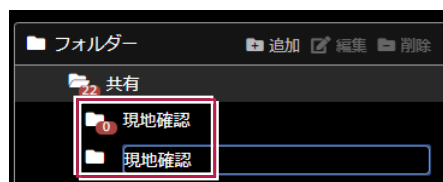


- 2 [編集] をクリックします。

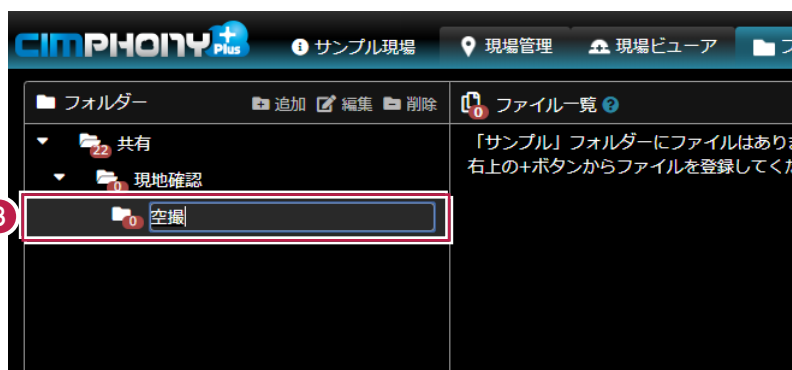


- 3 フォルダー名を入力します。

同じ階層に同一名称のフォルダーを作成することはできませんのでご注意ください。

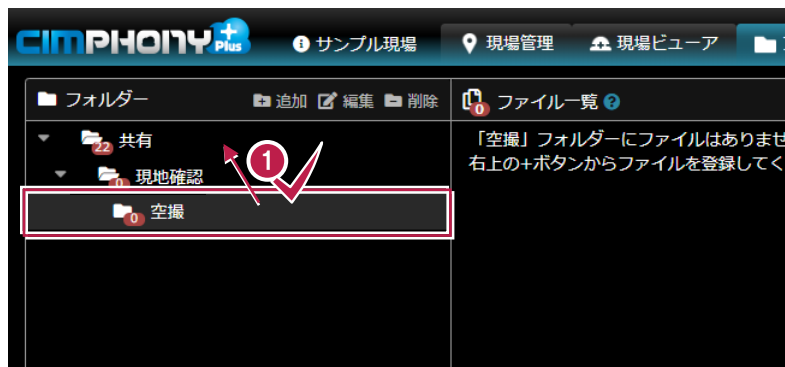


入力されたフォルダー名は既に使用されています。
フォルダー名を変更して、再度やり直してください。



■ フォルダを移動する

- ① 移動するフォルダをドラッグします。

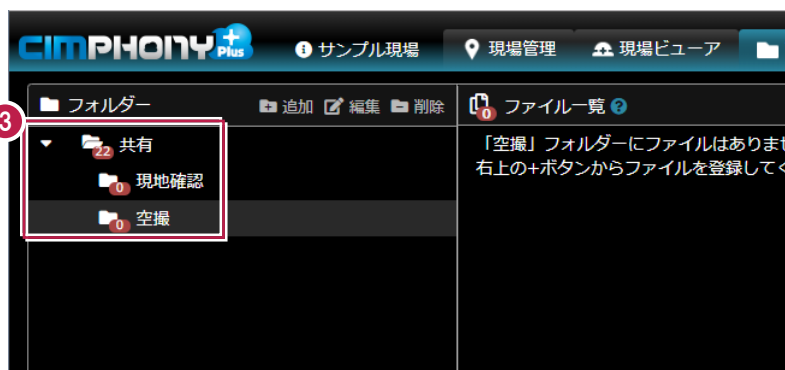


- ② 移動後のフォルダでドロップします。



- ③ フォルダが移動し、階層構成が変わります。

同じ階層に同一名称のフォルダが存在するなど、移動先として指定できない場所には進入禁止マークが表示されます。



※タブレット端末では移動できません。

8-2 ファイルの追加/削除/情報編集/移動

写真や書類などのファイルの追加や、名称変更、削除、移動などをおこないます。

■ ファイル管理画面を開く

① 該当の現場をクリックします。



② [現場に入る] をクリックします。

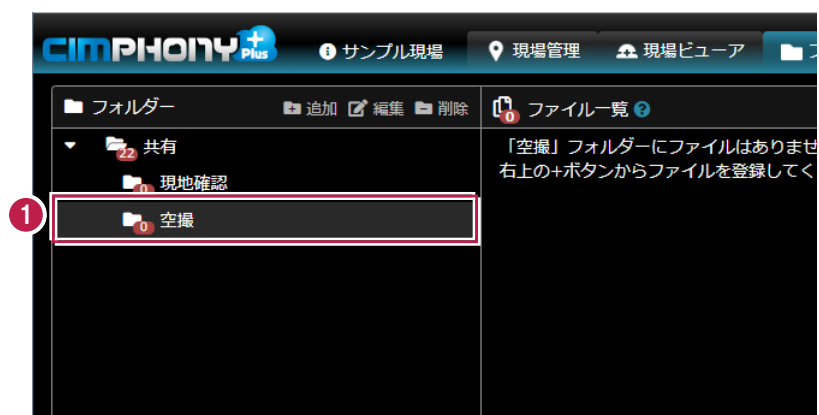


③ [ファイル管理] タブをクリックします。

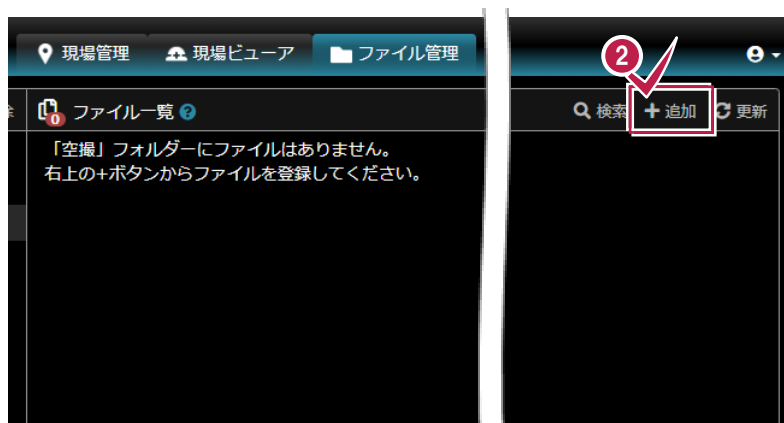


■ ファイルを追加する

- 1 画面左側のフォルダー一覧で、ファイルの取込み先を選択します。

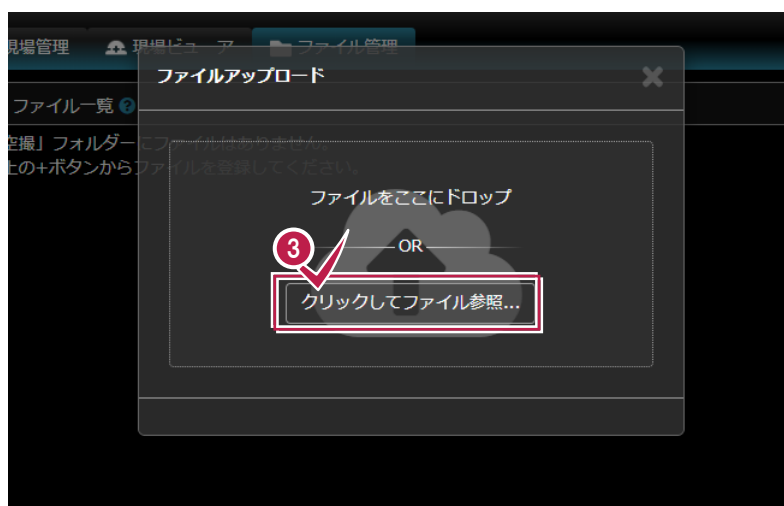


- 2 ファイル一覧で、[追加] をクリックします。



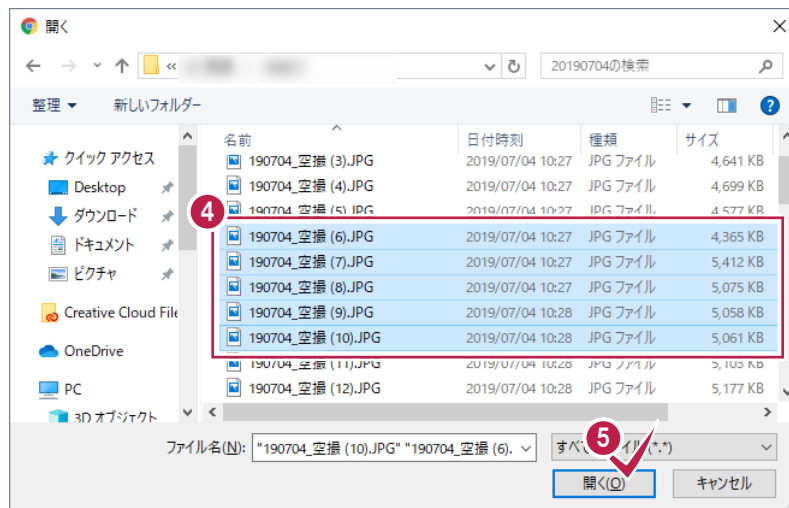
- 3 [クリックしてファイル参照] をクリックします。
※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。

フォルダーをドラッグ&ドロップした場合
フォルダー内のファイルのみ登録されます。
フォルダーは自動作成されませんので
ご注意ください。

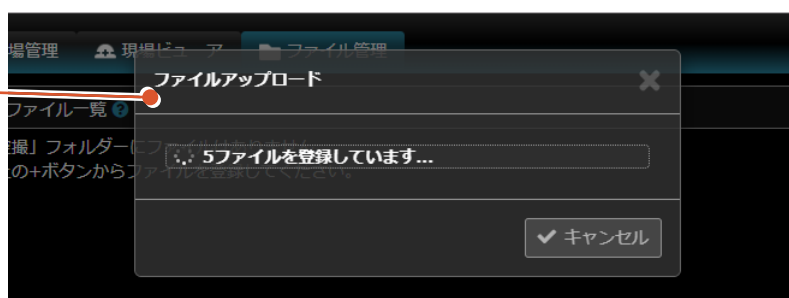


- 4 アップロードするファイルを選択します。
※複数のファイルを選択できます。

- 5 [開く] をクリックします。

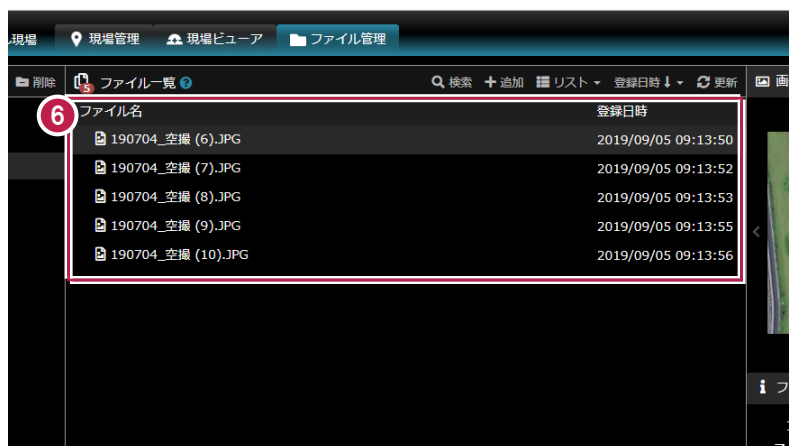


ファイルのアップロードが完了すると、
右記のダイアログは自動で閉じます。



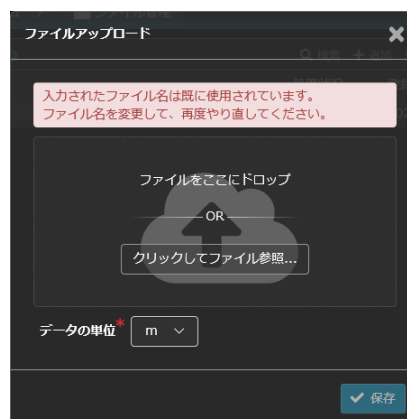
- 6 ファイルが取り込まれます。

別のアカウントでファイルを追加した場合
などに追加したファイルが表示されない
場合は、ファイル一覧の [更新] を
クリックしてクラウド上を最新の状態にして
ください。



3D エラーが表示された場合

「3Dモデル」フォルダー、「図面」フォルダーにファイルを登録する際、
フォルダー内に同一名称のファイルがあると、取り込みができません。
ファイル名を変更して再度追加をおこなってください。



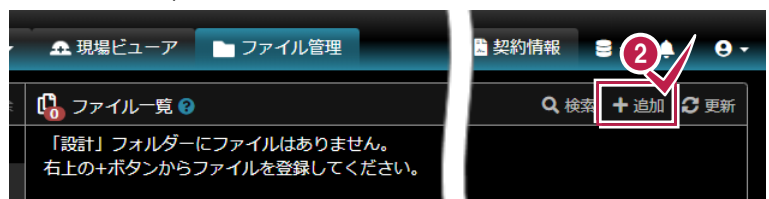
3D 設計ファイルを追加する

「設計」フォルダーに設計データを登録すると、土量進捗などの確認や、設計ビューアを表示することができます。
対応するファイルの拡張子は、「xml」です。

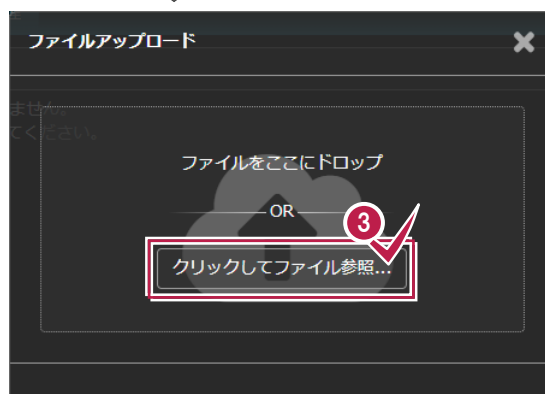
- 1 画面左側のフォルダー一覧で、「設計」を選択します。



- 2 ファイル一覧で、「追加」をクリックします。

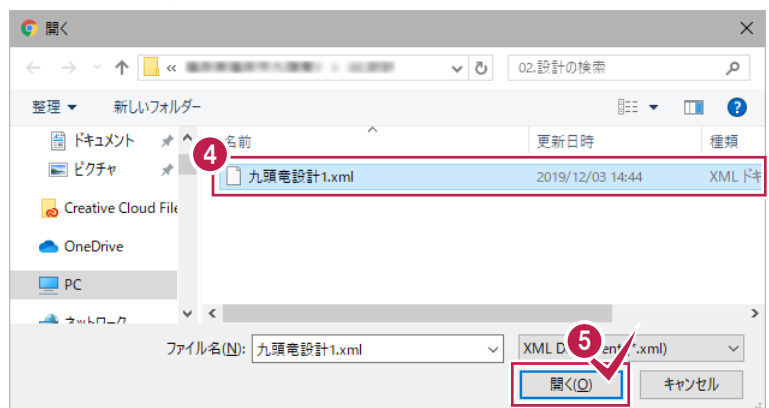


- 3 「クリックしてファイル参照」をクリックします。
※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。



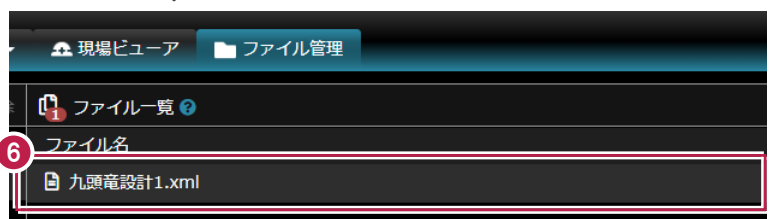
- 4 アップロードするファイルを選択します。
※登録できるのは1ファイルのみです。

- 5 「開く」をクリックします。



- 6 ファイルが取り込まれます。

設計ファイルは1ファイルのみ登録できます。
再度「追加」することで、データを差し替えることができます。



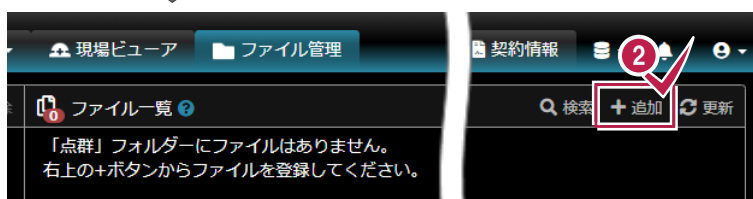
3D 点群ファイルを追加する

「点群」フォルダーに点群データを登録すると、土量進捗などの確認や、点群ビューアを表示することができます。
対応するファイルの拡張子は、「txt」「csv」「asc」「xyz」「las」「laz」「e57」です。

- 1 画面左側のフォルダー一覧で、「点群」を選択します。



- 2 ファイル一覧で、「追加」をクリックします。

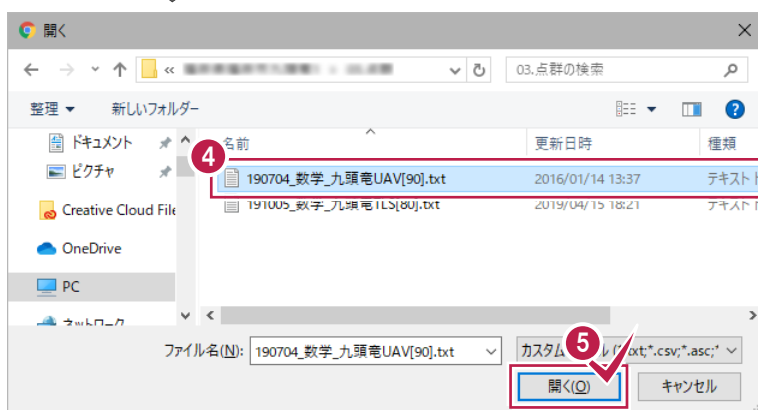


- 3 「クリックしてファイル参照」をクリックします。
※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。



- 4 アップロードするファイルを選択します。
※複数ファイルを選択することはできません。

- 5 「開く」をクリックします。



(次ページへ続きます)

⑥ [座標系] [測量日時] を設定します。

[座標系] : 登録するファイルの座標系を選択してください。

[測量日時] : 測量日時を設定してください。
現場の工期内が選択可能です。

⑦ [保存] をクリックします。

ファイルアップロード

ファイルをここにドロップ
OR
クリックしてファイル参照...

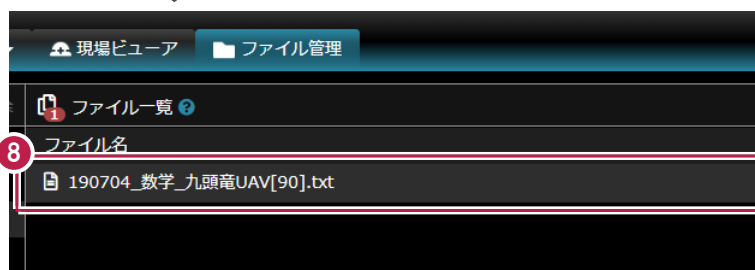
ファイル名 190704_数学_九頭竜UAV[90].txt

座標系 * ☐ 数学座標系 ☒ 測量座標系

測量日時 * 2019/07/04 11:43

✓ 保存

⑧ ファイルが取り込まれます。



点群ファイルは複数登録することができます。
ただし、進捗計算の基準となるデータ（一番古い測量日のデータ）を
複数登録することはできません。

3D 3D モデルファイル、図面ファイルを追加する

「3Dモデル」フォルダーに3Dモデルデータを登録すると、現場ビューアで形状を表示したり、3Dモデルビューアを表示することができます。

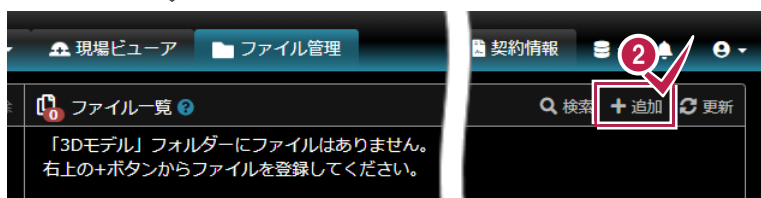
また、「図面」フォルダーに図面データを登録すると、図面ビューアを表示することができます。

対応するファイルの拡張子は、3Dモデルファイル：「ifc」「dwg」「dxf」、図面ファイル：「sfc」「p21」「dwg」「dxf」です。

- 1 画面左側のフォルダー一覧で、「3D モデル」、または「図面」を選択します。



- 2 ファイル一覧で、「追加」をクリックします。

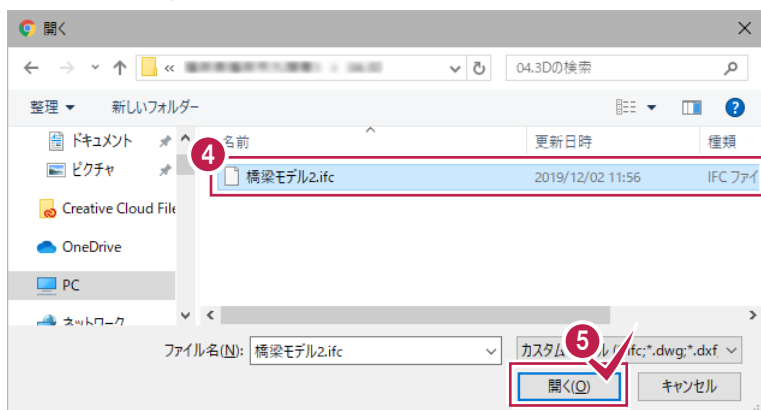


- 3 「クリックしてファイル参照」をクリックします。
※ファイルアップロードダイアログに、ファイルをドラッグ&ドロップしても追加できます。



- 4 アップロードするファイルを選択します。
※複数ファイルを選択することはできません。

- 5 「開く」をクリックします。

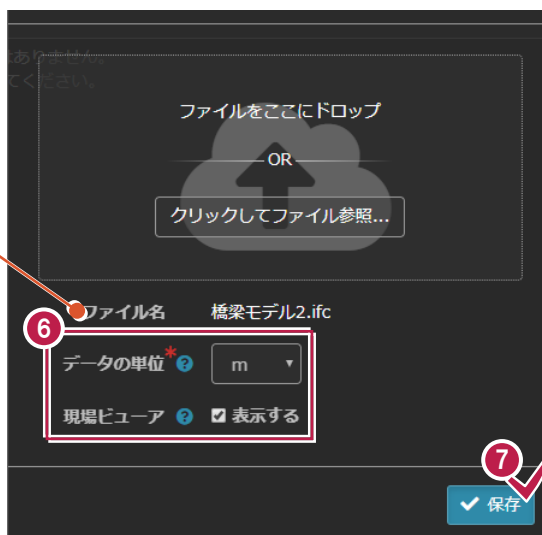


(次ページへ続きます)

- ⑥ データの単位、現場ビューアに表示する/しないを設定します。

〔データの単位〕は、ファイルの拡張子が「dwg」「dxf」の場合に設定できます。

- ⑦ 〔保存〕をクリックします。



- ⑧ ファイルが取り込まれます。

3Dモデルファイル、図面ファイルは複数登録することができます。



3D データの処理状況について

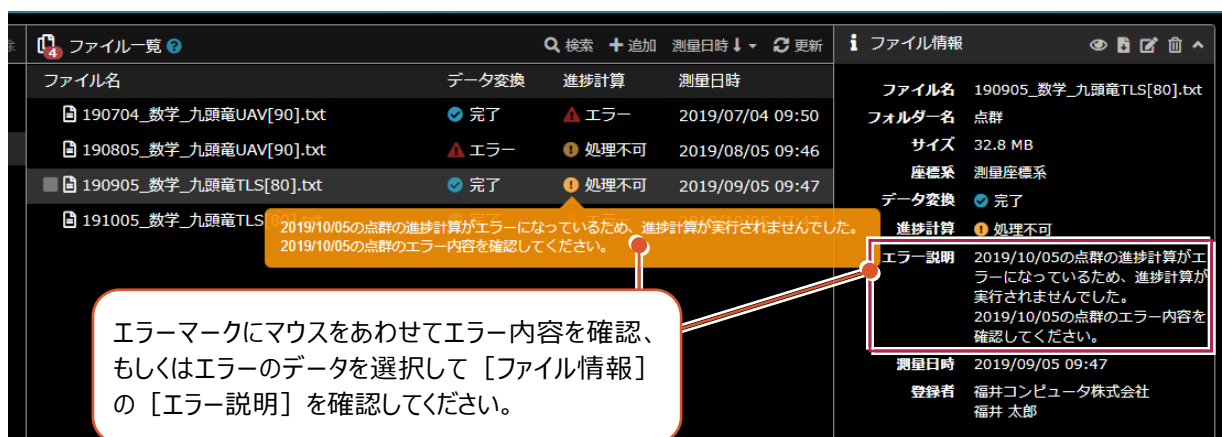
ファイルを追加後、データ変換処理が完了すると、現場ビューアや専用ビューアでの確認が可能になります。ファイル一覧で〔更新〕をクリックして、現在の処理状況を確認してください。



なお、「エラー」や「処理不可」となったデータは現場ビューアに表示されません。

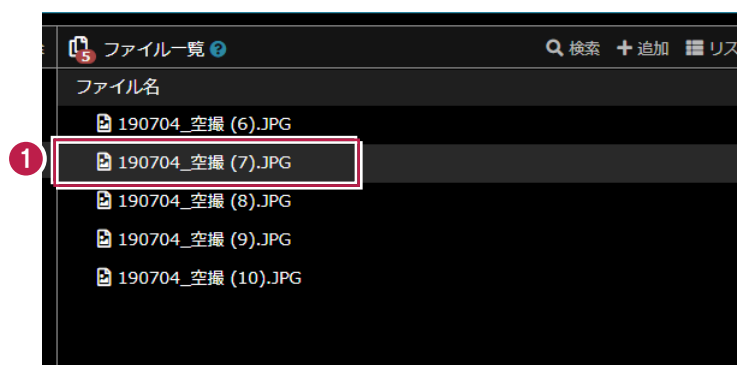
エラー内容を確認して、データを登録し直してください。

※点群データの場合は、〔進捗計算〕が「エラー」や「処理不可」になっていても、〔データ変換〕が「完了」になれば現場ビューアで確認することができます。



■ ファイルを削除する

- ① ファイル一覧で、削除するファイルを選択します。



- ② 画面右側の「ファイル情報」で、「削除」をクリックします。



- ③ 「はい」をクリックします。



■ 設計データの削除について

- ・変換処理が完了した設計データは、進捗計算の基準となるため削除することはできません。

■ 点群データの削除について

一番古い測量日の点群データは進捗計算の基準となります。基準となる点群データは1つのみです。
よって、以下に注意してください。

- ・1度でも点群データを登録すると、「点群」フォルダーを空にすることはできません。
(エラーになった点群データは削除できます。)

・以下のように、測量日が「7/4」のデータを削除すると、進捗計算の基準となるデータ（測量日が「10/5」のデータ）が複数になってしまいます。

このような場合は、測量日が「7/4」のデータは削除できません。

現場管理				削除できません。		契約情報	
現場ビューア							
ファイル管理							
ファイル一覧				検索 + 追加		測量日時 ↓ 更新	
ファイル名				データ変換		進捗計算	
				測量日時			
190704_数学_九頭竜UAV[90].txt				完了		完了	
191005_数学_九頭竜TLS[80].txt				完了		完了	
191005_数学_九頭竜TLS[80]_2.txt				完了		完了	

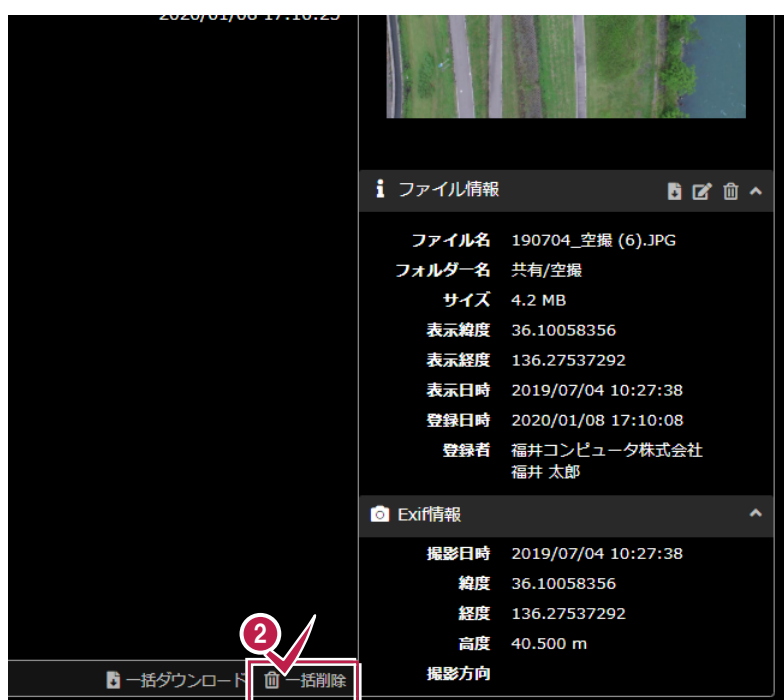
■ ファイルを一括削除する

- ① ファイル一覧で、削除するファイルを複数選択します。

ファイル名の左側にマウスを合わせるとチェックボックスが表示されるので、削除するファイルのチェックをオンにします。



- ② 画面右下、ファイル一覧の「一括削除」をクリックします。



- ③ 「はい」をクリックします。

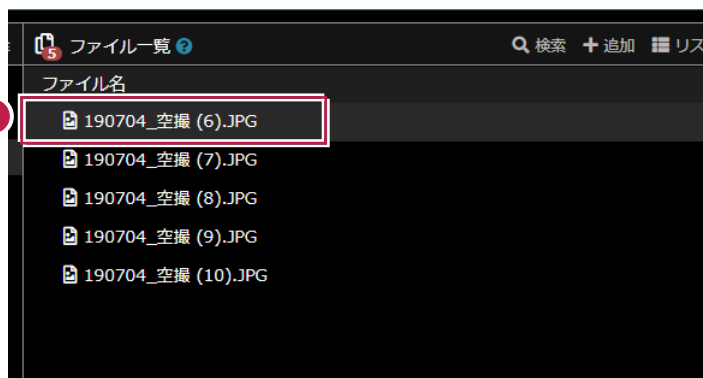
3D 3D データの一括削除について

設計データと点群データは、「一括削除」はできません。
3Dモデルデータと図面データは、「一括削除」が可能です。



■ ファイル情報を編集する

- ① ファイル一覧で、ファイル情報を編集するファイルを選択します。



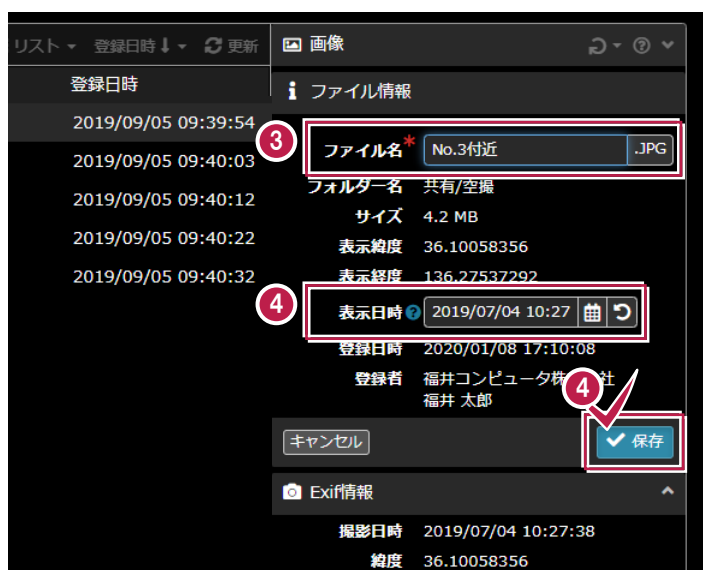
- ② 画面右側の「ファイル情報」で、「編集」をクリックします。



- ③ 「ファイル名」を変更します。

- ④ 「表示日時」を変更します。

- ⑤ 「保存」をクリックします。



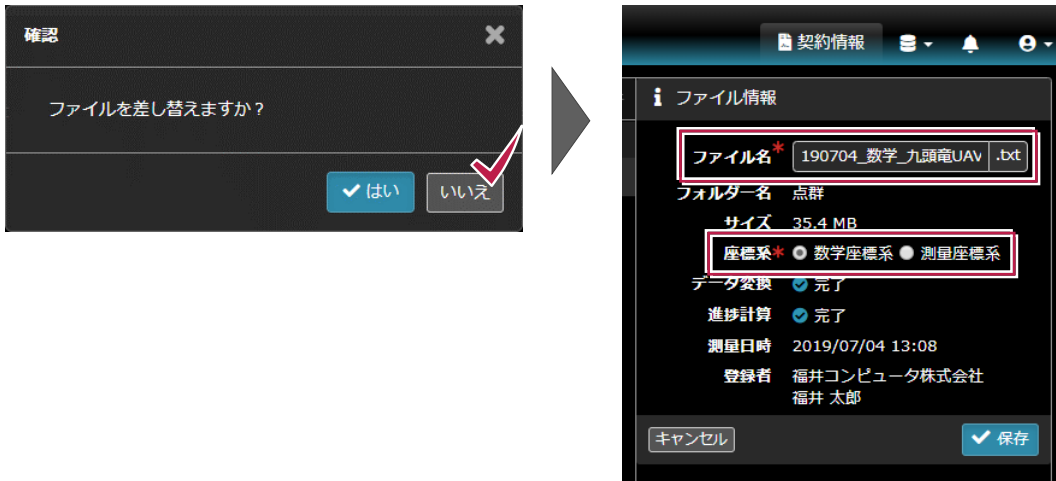
3D 3D データのファイル情報の編集について

【ファイル情報】の【編集】で、3Dデータの【ファイル名】などを変更することができます。

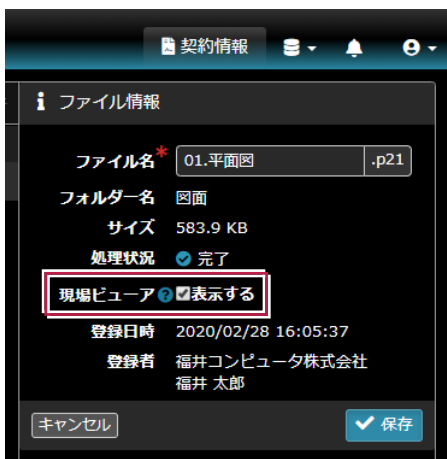
点群データの場合、データを選択して【ファイル情報】の【編集】をクリックすると、ファイルの差し替え確認ダイアログが表示されます。

【はい】をクリックすると、ファイルアップロードダイアログが表示され、ファイルの差し替えが可能です。

【いいえ】をクリックすると、【ファイル名】【座標系】を変更することができます。



3Dモデルデータ、図面データの場合、ファイルごとに現場ビューアに表示する/表示しないを設定することができます。

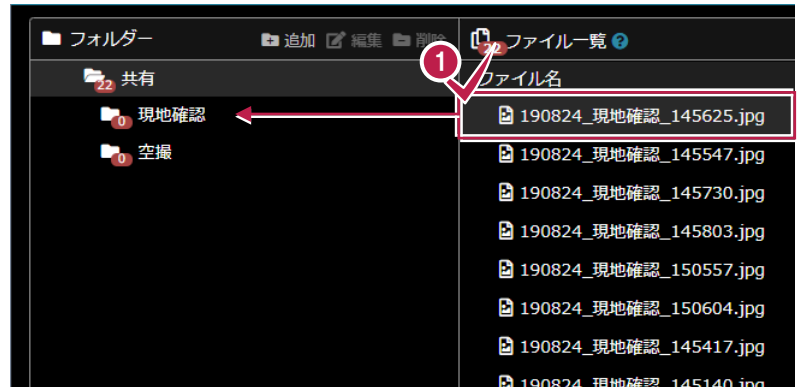


■ ファイルを移動する

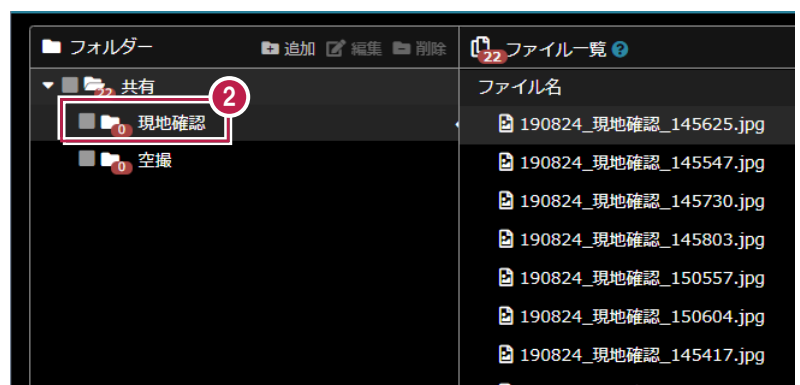
- ① 移動するファイルをドラッグします。

3D 3D 専用ファイルの移動について

「設計」「点群」「3Dモデル」「図面」フォルダーに登録されているファイルは、他のフォルダーに移動できません。



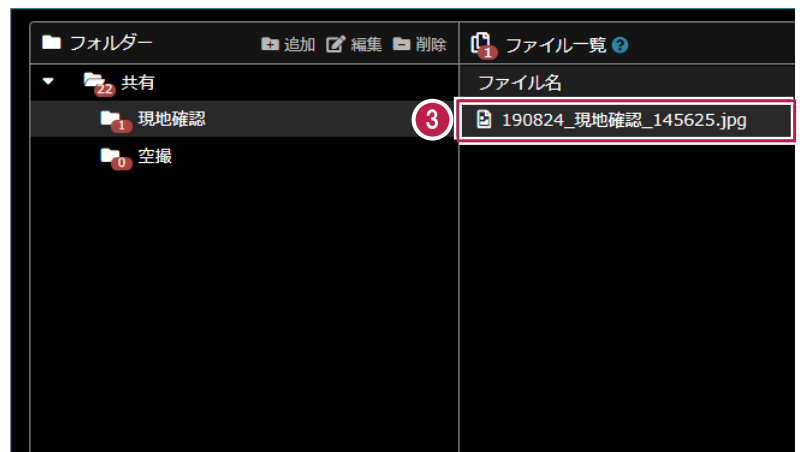
- ② 移動後のフォルダーでドロップします。



- ③ ファイルが移動します。

同じフォルダー内に同一名称のファイルは存在することができませんので、ファイル名を変更して移動してください。

⚠ 移動先フォルダーに同名のファイルが存在します。
ファイル名を変更して、再度やり直してください。

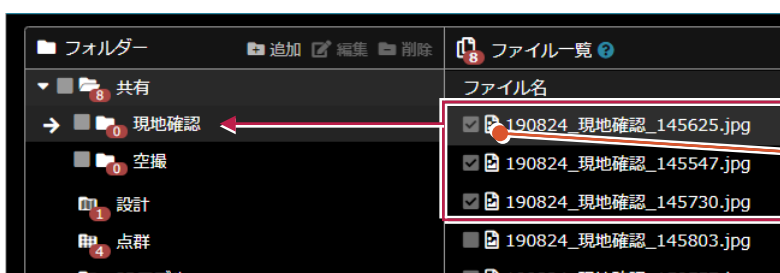


※タブレット端末では移動できません。

補足

ファイルの一括移動

複数ファイルを選択して移動することもできます。

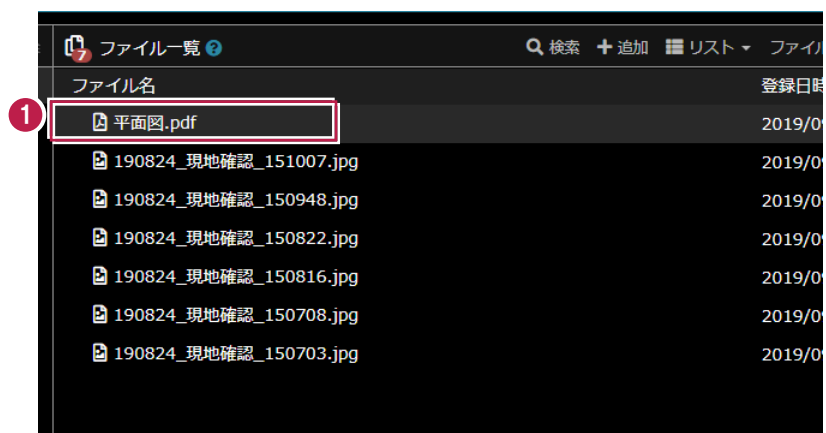


ファイル名の左側にマウスを合わせるとチェックボックスが表示されるので、移動するファイルのチェックをオンにします。

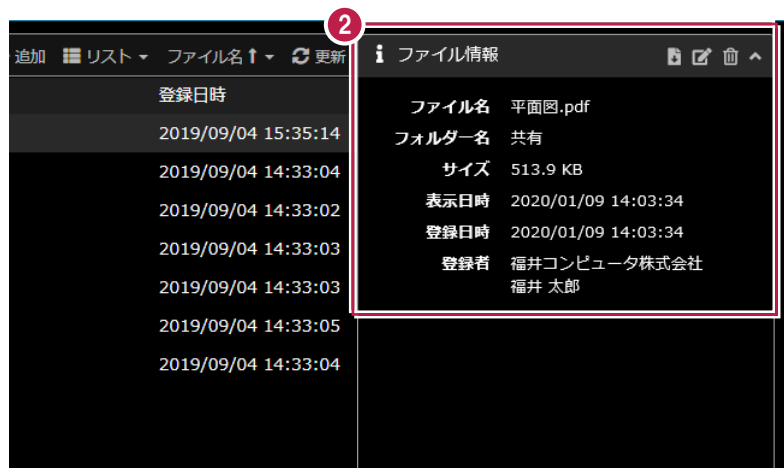
8-3 ファイル情報を確認する

ファイルサイズや登録者などの情報を確認します。

- 1 ファイル一覧で、確認するファイルを選択します。



- 2 画面右側にファイル情報が表示されます。



写真ファイルを選択した場合は、
右のように「画像」 「ファイル情報」
などが表示されます。

画像プレビュー

ファイル情報

Exif情報



8-4 ファイルを検索する

ファイル名を指定して検索します。

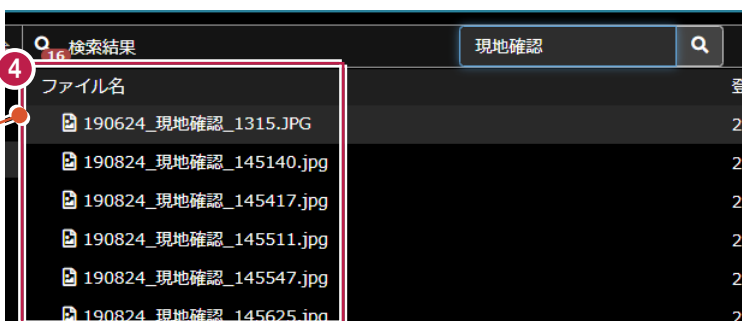
- ① ファイル一覧で、[検索] をクリックします。



- ② 検索ボックスに、探したいファイルの名称を入力します。
※ファイル名の一部でも構いません。

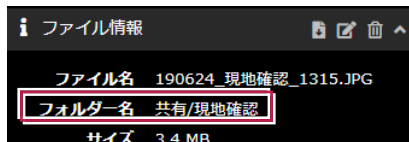


- ③ [検索] ボタンをクリックします。

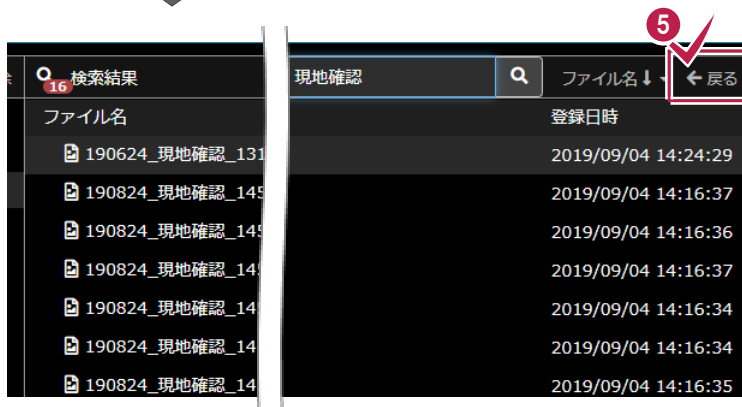


- ④ すべてのフォルダー内を検索し、該当したファイルが一覧表示されます。

画面右側の【ファイル情報】で、ファイルが格納されているフォルダーが確認できます。



- ⑤ 検索を終了する場合は、[戻る] をクリックします。



8-5 ファイルをダウンロードする

CIMPHONY Plusに登録されているファイルを、パソコンに保存します。

■ ファイルを個別にダウンロードする

- 1 ファイル一覧で、ダウンロードするファイルを選択します。

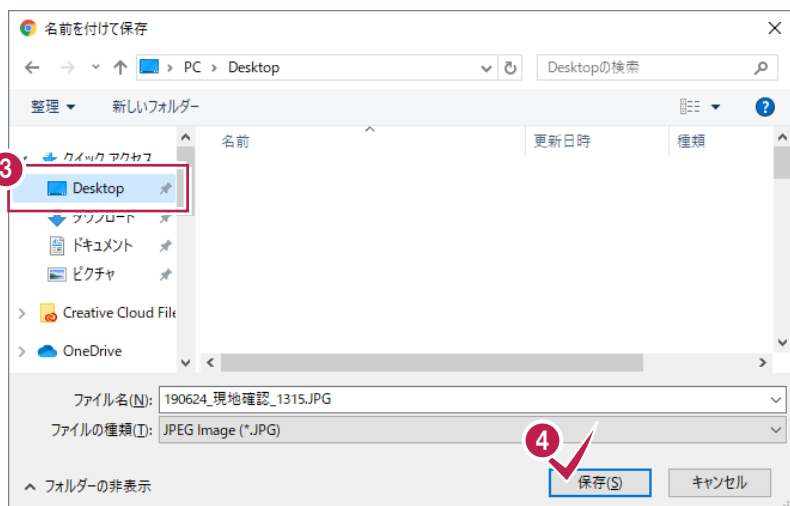


- 2 画面右側の【ファイル情報】で、【ダウンロード】をクリックします。



- 3 保存先を指定します。

- 4 【保存】をクリックします。

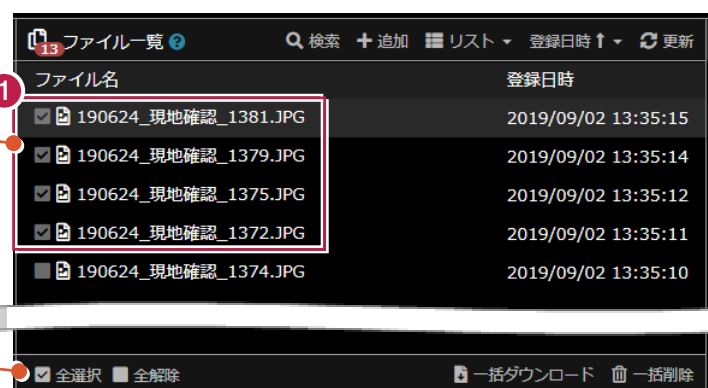


■ 複数ファイルを一括ダウンロードする

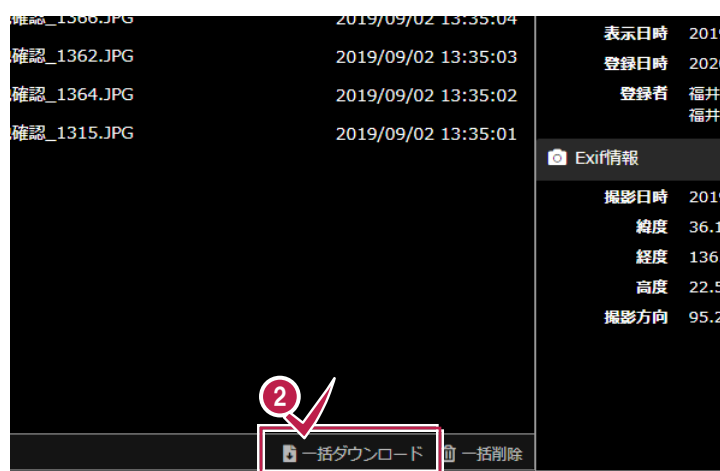
- ① ファイル一覧で、ダウンロードするファイルのチェックをオンにします。

ファイル名にマウスを合わせると
チェックボックスが表示されます。

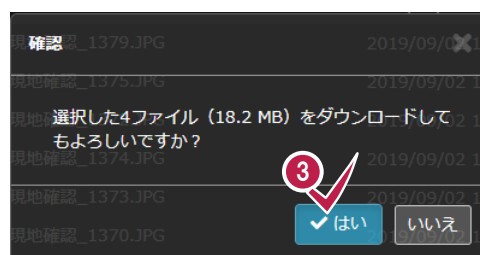
フォルダー内のすべてのファイルを選
択する場合は、[全選択] を
クリックします。



- ② ファイル一覧の右下、[一括ダウンロード] を
クリックします。



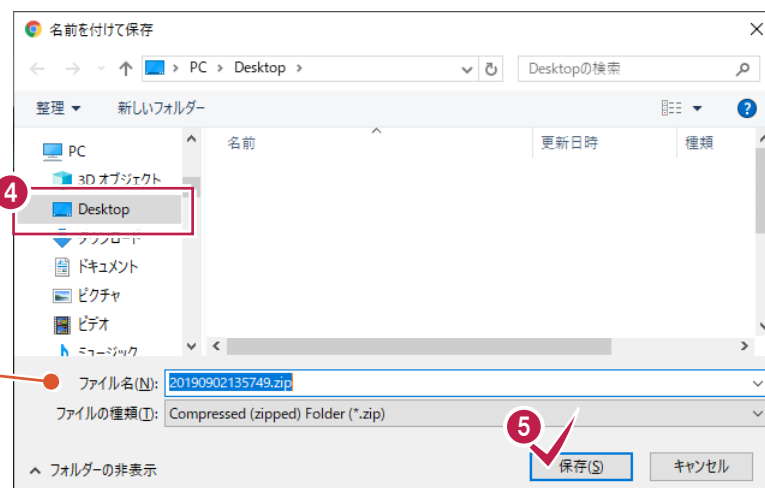
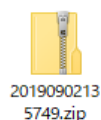
- ③ [はい] をクリックします。



- ④ 保存先を指定します。

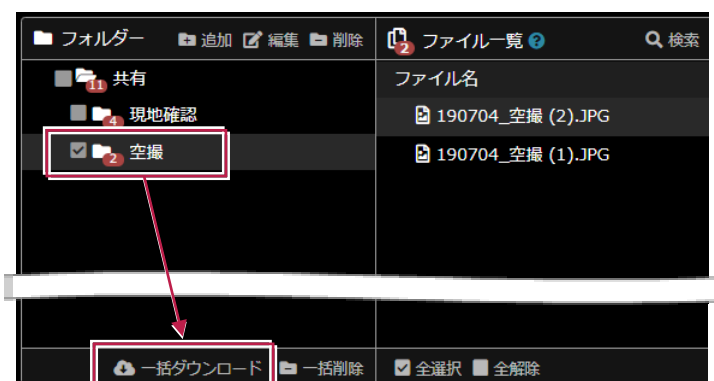
- ⑤ [保存] をクリックします。

圧縮ファイル形式で保存されます。
展開してご利用ください。



フォルダー指定で一括ダウンロードする場合

フォルダー内のすべてのファイルを一括ダウンロードする場合は、フォルダー一覧で該当のフォルダーをオンにし、フォルダー一覧の右下「一括ダウンロード」をクリックして、ダウンロードしてください。



3D 専用フォルダーの場合

「設計」「点群」「3Dモデル」「図面」フォルダーを指定して「一括ダウンロード」はできません。
(ファイルを個別に選択して「一括ダウンロード」は可能です。)

「参照者」権限を持つ方が、「現場管理」タブで使用可能な機能について説明します。



9-1 地図を切り替える

現場管理の背景に表示されている地図の種類を変更します。

- 1 画面右上の地図のアイコンをクリックします。



- 2 「地図・空中写真」の各地図をクリックすると、ビューアに表示する地図を変更できます。

- 3 「地形」の各設定をクリックすると、ビューアに表示する地図を、平面または 3D に変更できます。



補足

地図を 3D 表示にした場合の注意点

「地形」で「国土地理院標高タイル（10m）」や「国土地理院標高タイル（5m）」を選択すると地図を3D表示することができますが、標高タイルの情報がない箇所については、地図の一部がくぼんだり、地図が白や黒で抜けたりしますので、ご了承ください。（例：国土地理院空中写真）



9-2 現場を検索する

検索キーワードを入力して、該当する現場を表示します。

- 1 検索キーワードを入力します。
※検索キーワードとして使用できるのは、「現場名」、「住所」、「参加者氏名」、「参加者会社名」です。
その一部でも構いません。



- 2 [検索] をクリックします。



- 3 検索キーワードを含む現場のみ表示されます。
※参加している現場のみ表示されます。



- 4 該当する現場が0件だった場合や、検索を終了する（全現場表示に戻す）場合は、「検索キーワード」を空欄にし、[検索] をクリックしてください。



9-3 現場の表示切替（工期前/工期中/終了）

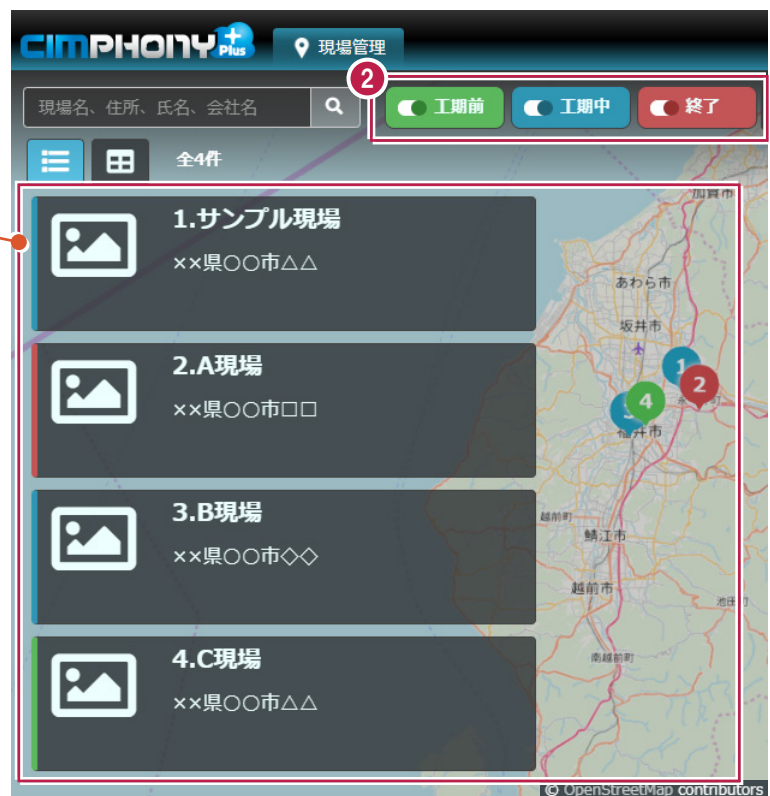
現場管理の表示を、「工期前」、「工期中」、「終了」で切り替えます。

- ① 【工期中】のみオンの場合は、一覧、地図とも工期中の現場のみ表示されます。



- ② すべての現場を表示する場合は、【工期前】、【工期中】、【終了】をオンにします。

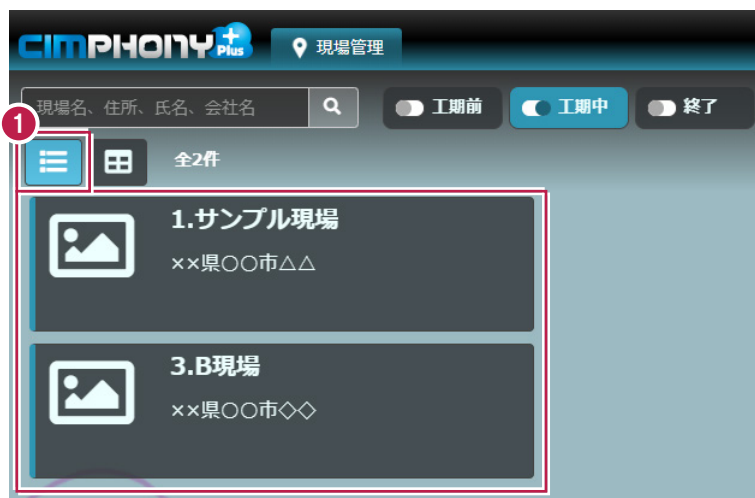
工期前の現場は「緑色」、
工期中の現場は「青色」、
終了した現場は「赤色」で
表示されます。



9-4 現場の表示切替（リスト表示とタイル表示）

現場パネルの表示方法を切り替えます。

- ① [リスト表示] をオンにすると、画面左側に現場が一覧表示されます。



- ② [タイル表示] をオンにすると、画面内に現場が一覧表示されます。

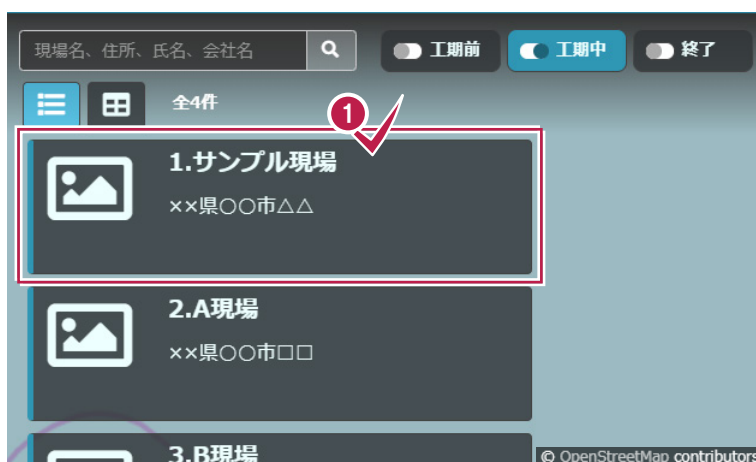
タイル表示の場合は、写真が大きく表示され、工期も確認できます。



9-5 現場情報を確認する

工期や参加者、権限などの情報を確認します。

① 確認する現場をクリックします。



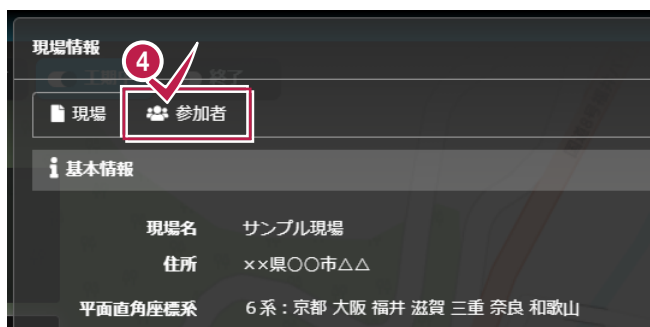
② [詳細] をクリックします。



③ 現場の基本情報が確認できます。

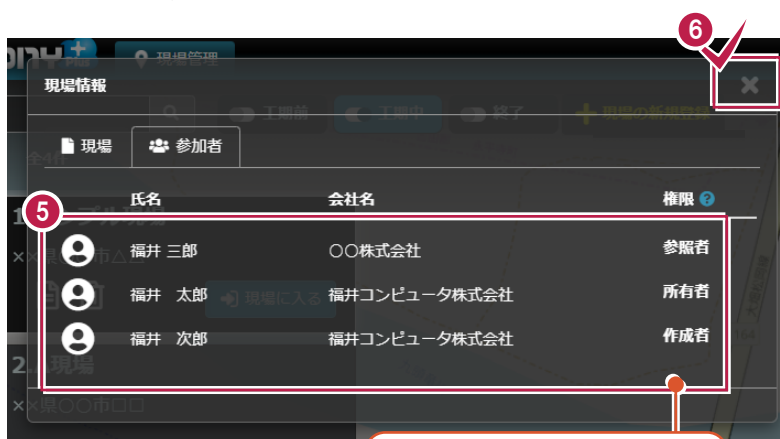


④ [参加者] タブをクリックします。



⑤ 参加者の一覧が表示されます。

⑥ 右上の [閉じる] ボタンで終了します。



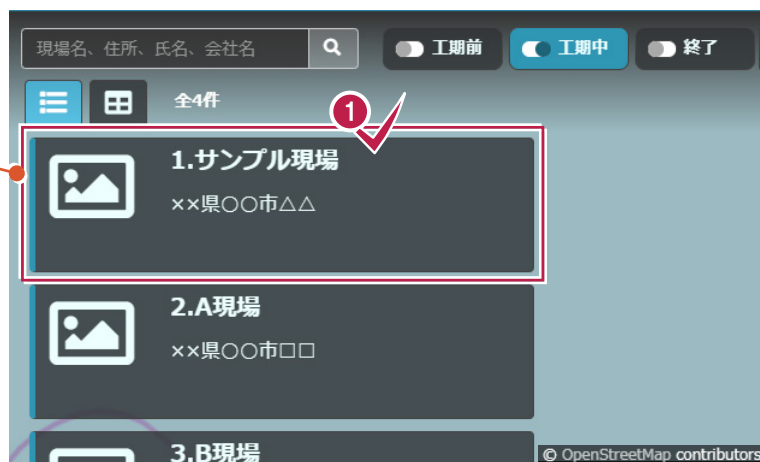
この現場における権限が確認
できます。

9-6 現場に入る

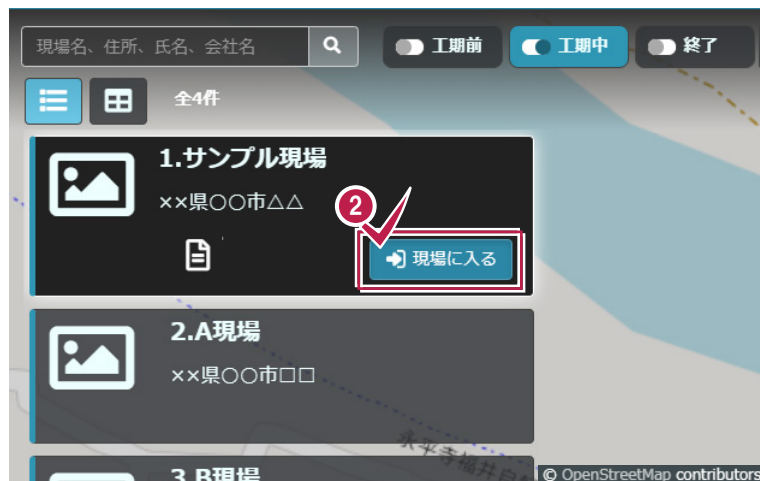
作業をおこなう現場に入ります。

① 現場をクリックします。

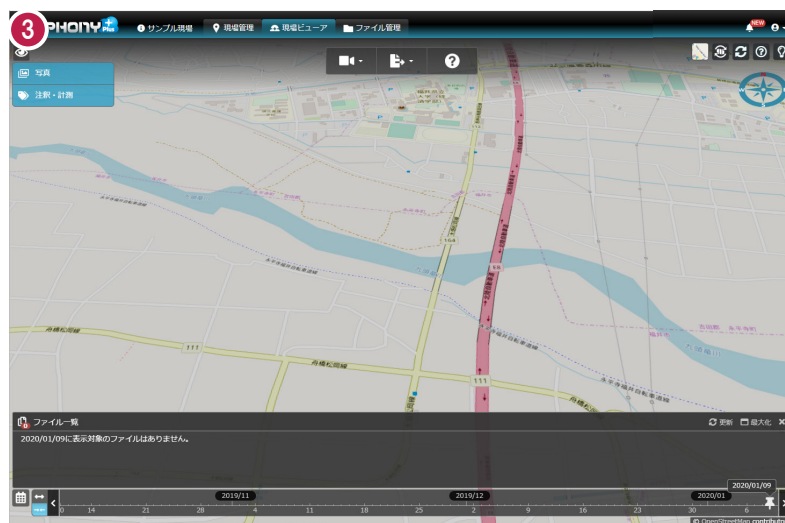
参加中の現場のみ表示されます。



② [現場に入る] をクリックします。



③ 現場ビューが開きます。



9-7 現場を切り替える

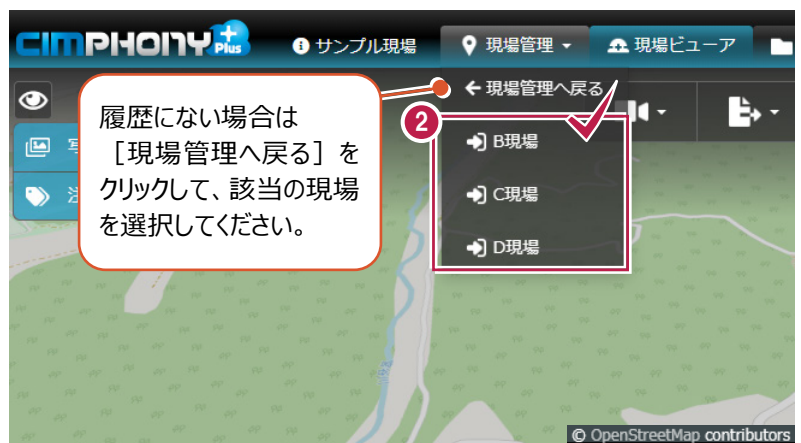
現場ビューアから、別の現場を開きます。

一旦現場管理に戻って開くこともできますが、最近閲覧した現場であれば履歴から開くこともできます。

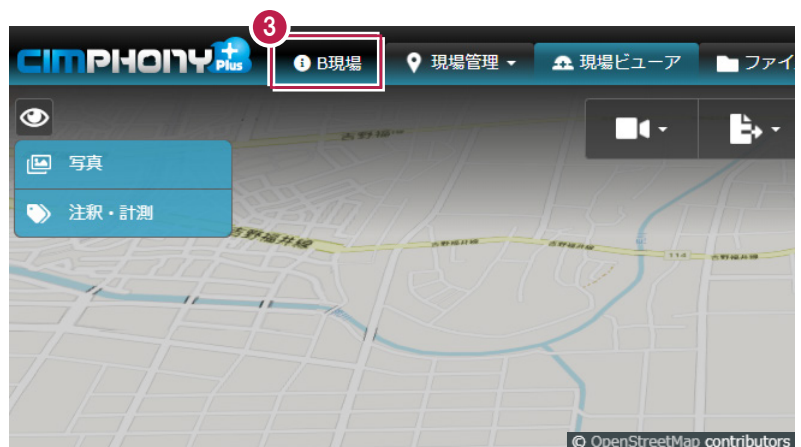
- ① [現場管理▼] をクリックします。



- ② 最近開いた現場の履歴が表示されます。
該当の現場をクリックします。



- ③ 現場が切り替わります。



10

参照者－現場ビューア

「参照者」権限を持つ方が、「現場ビューア」タブで使用可能な機能について説明します。



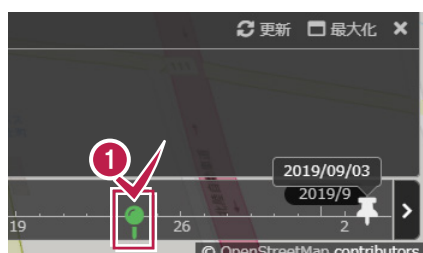
10-1 タイムライン：日付選択

タイムラインでは、写真や書類などの登録ファイルを時系列に表示します。

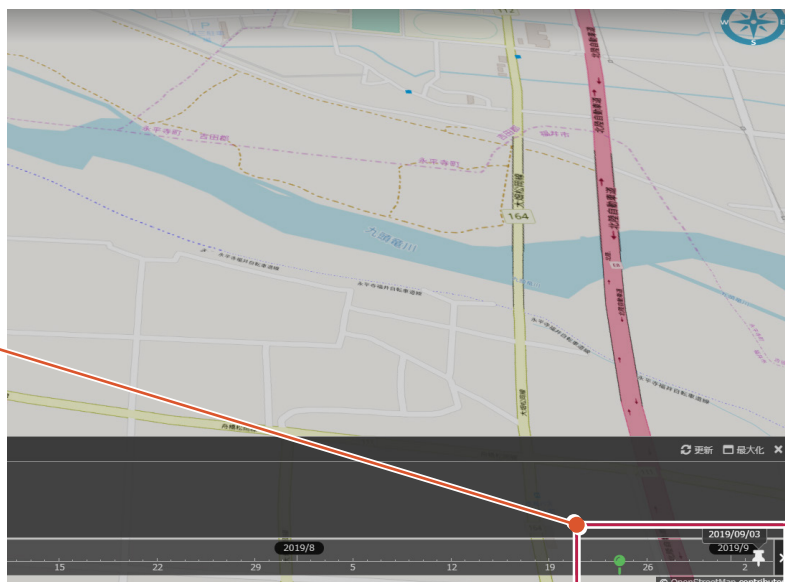
日付の選択は、タイムラインから選択する方法とカレンダーから選択する方法の2通りがあります。

■ タイムラインから日付を選択する

- 1 タイムライン上で、表示する日付の目盛りをクリックします。

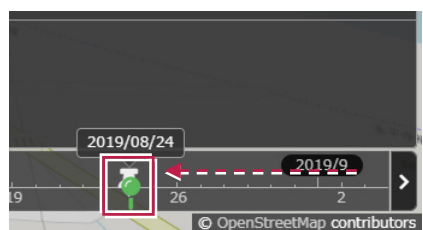


登録データがある日付には緑色のピンが表示されます。

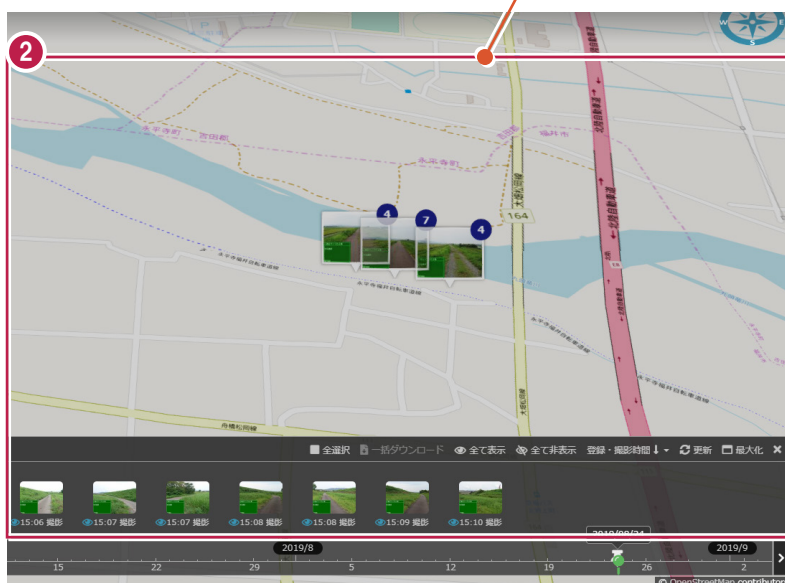


ファイル一覧やビューアが切り替わります。

- 2 選択した日付の現場ビューアが表示されます。



白いピンが移動します。



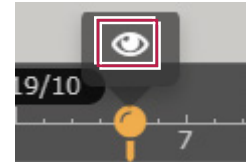
3D**点群データの測量日時を確認する**

タイムライン右側のファイル種別切り替えボタンで「点群データ」を選択すると、点群データ登録時に設定した「測量日時」に「オレンジのピン」が表示されます。

タイムラインで日付を選択すると、選択した日付の直前に登録されている点群データがビューアに表示されます。

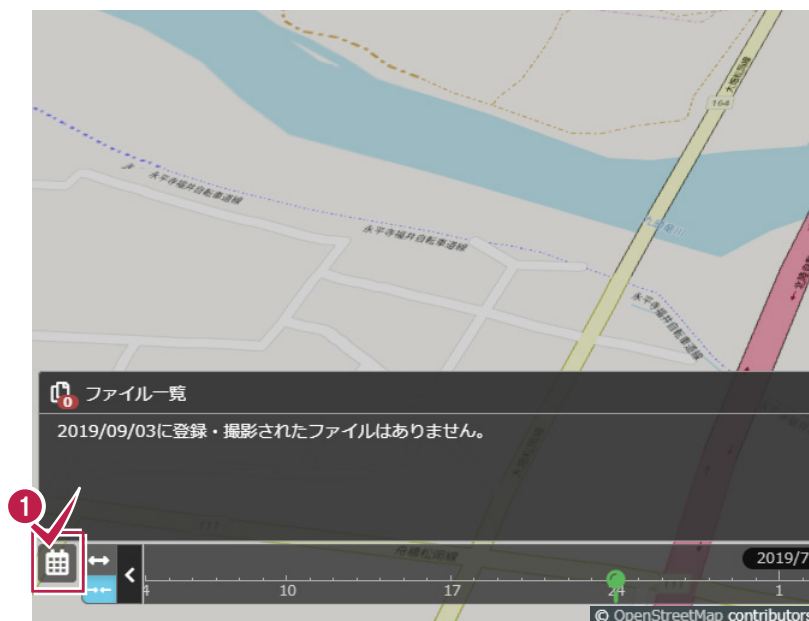


ピンにマウスオーバーし、「点群ビューア」をクリックすると、点群ビューアが起動します。点群ビューアの詳細は、「13.点群ビューア」(P.166)を確認してください。



■ カレンダーから日付を選択する

- 1 画面左下の「カレンダーアイコン」をクリックします。



- 2 表示する日付を選択します。
※写真や書類などの登録データがある場合は、カレンダーの日付が緑色で表示されます。

※カレンダーを閉じる場合は、
「カレンダーアイコン」を再度クリックします。

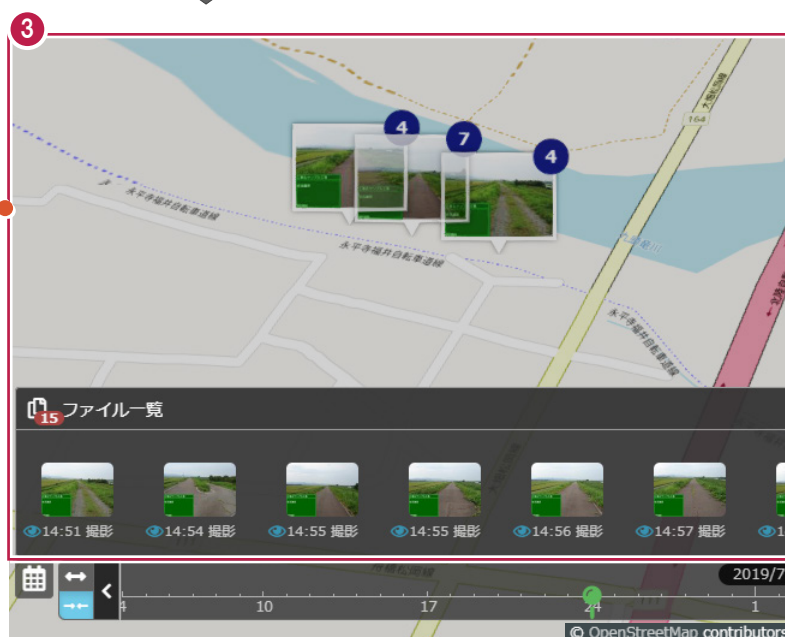
3D 点群データの場合

ファイル種別切り替えボタンで「点群データ」が選択されている場合、点群データ登録時に設定した「測量日時」はオレンジ色で表示されます。



- 3 選択した日付の現場ビューアが表示されます。

ファイル一覧やビューアが切り替わります。

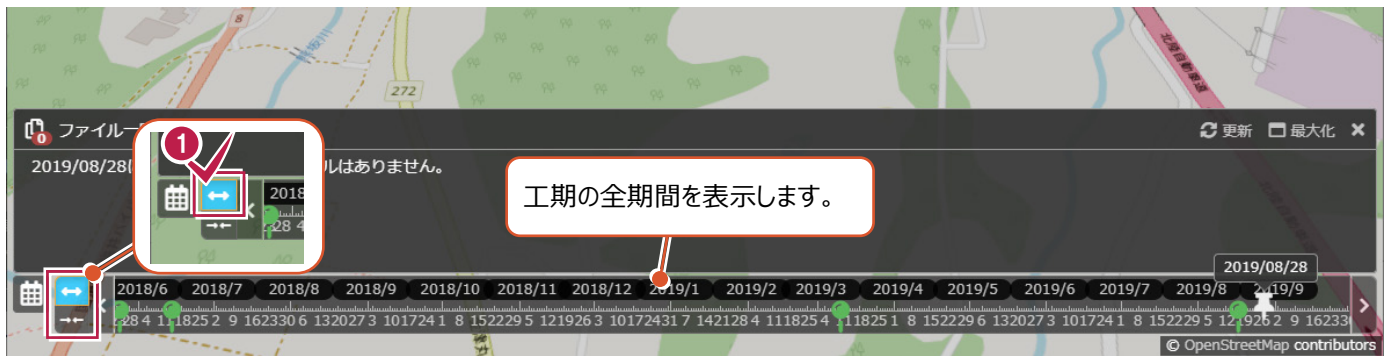


10-2 タイムライン：表示期間の切り替え

タイムラインの表示方法は、工期の「全期間」と「3か月間」の2通りから選択できます。

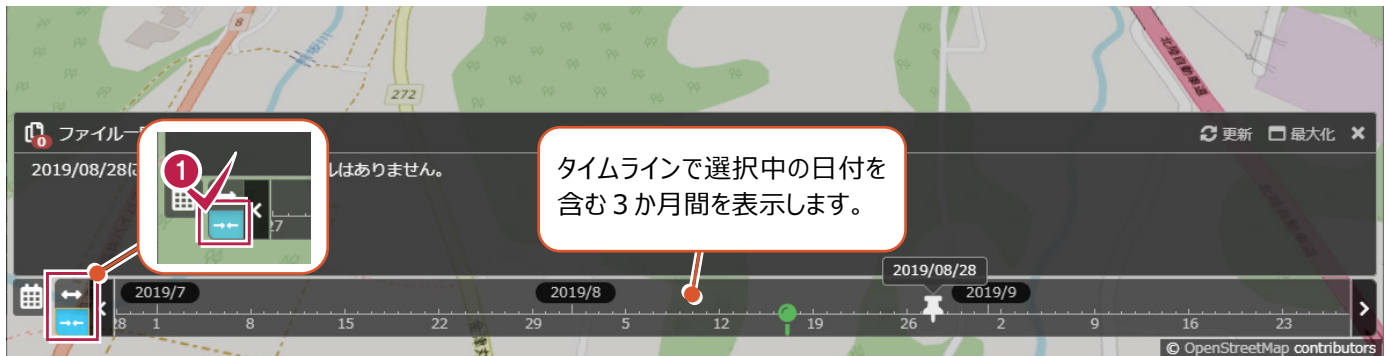
■ 全期間を表示する

- 1 画面左下の「全期間」をオンにします。



■ 3か月間を表示する

- 1 画面左下の「3か月間」をオンにします。

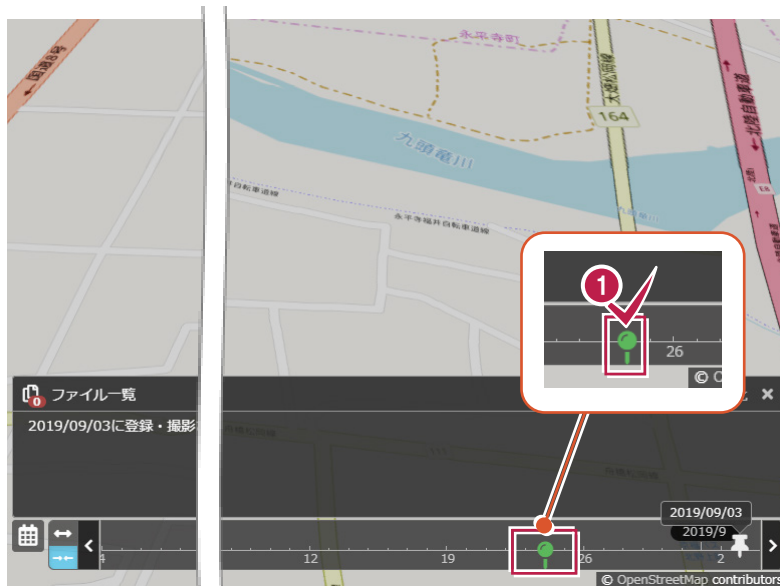


10-3 ファイルを確認する

写真や書類などのファイルを確認します。

ファイルが存在する日付には、タイムラインに緑のピンが表示されます。

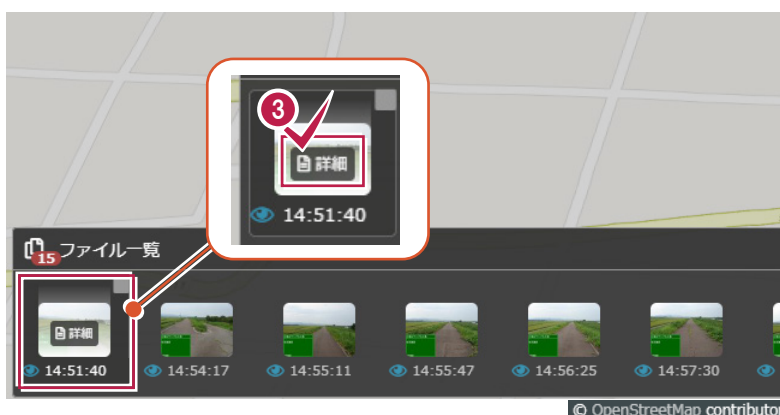
- ① タイムライン上で、緑のピンをクリックします。



- ② ファイル一覧に表示されます。



- ③ ファイル情報を確認します。
ファイル一覧で、該当のファイルにマウスオーバーし、[詳細] をクリックします。



- ④ 画面右側に、ファイルの詳細情報が表示されます。

「詳細」で表示される情報について

電子小黑板付きデジタル工事写真であれば、右のように画像のサムネイルおよびファイル情報、Exif情報、写真情報が表示されます。

JPEGなどの画像ファイルは、画像のサムネイルおよびファイル情報、Exif情報が表示され、PDFやExcelなどのファイルは、ファイル情報のみ表示されます。

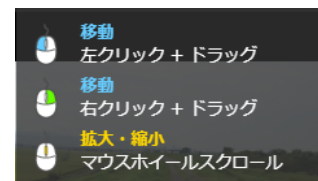
地図上の写真をクリックしても、同様にファイル情報を表示できます。



- ⑤ 写真の上でマウスホイールを奥に転がすと、拡大できます。
拡大表示中は左ボタンドラッグや右ボタンドラッグで移動ができます。



操作方法は、[ヘルプ] ? でも確認できます。

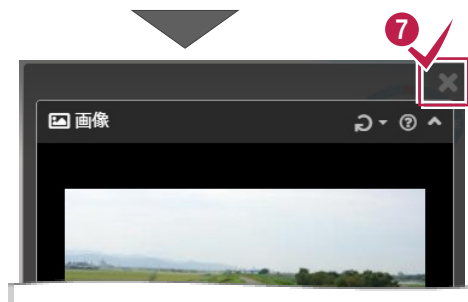


写真の拡大や移動をした後、
[元に戻す] [Reset] で元の拡大率に戻ります。

- ⑥ 写真の左右の矢印で、次の写真、前の写真に移ることができます。

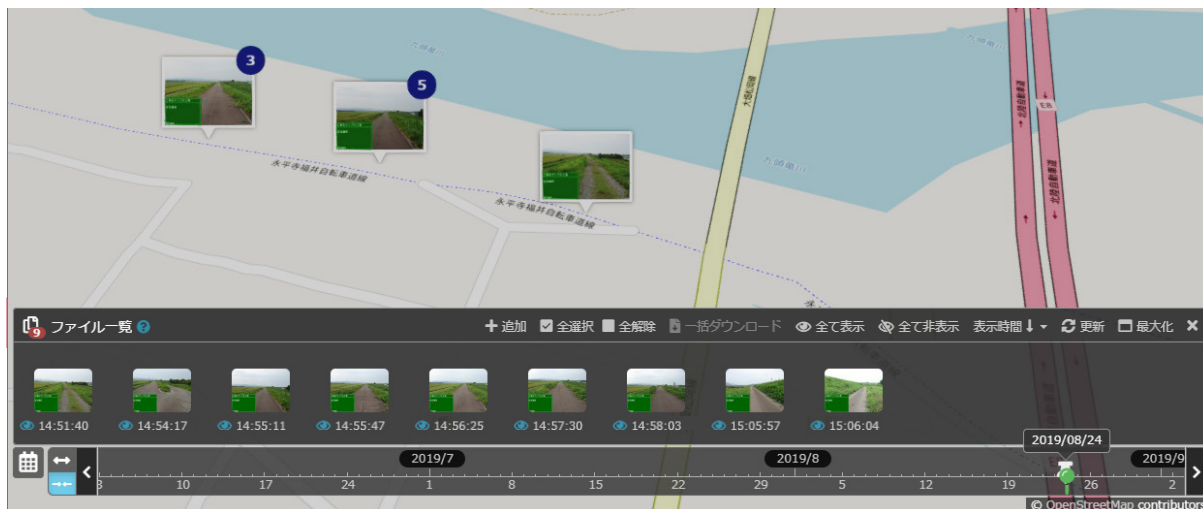


- ⑦ [閉じる] ボタンをクリックして、ファイル情報を閉じます。



10-4 ファイル一覧について

ファイル一覧の各機能について説明します。



【全選択】：すべてのファイルを選択します。

【全解除】：すべてのファイルの選択を解除します。

【一括ダウンロード】：ファイルをダウンロードします。

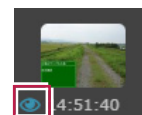
ファイルを1つ以上選択するとクリックできます。

ファイルの選択は各ファイルの右上にあるチェックボックスをオンにするか、【全選択】をクリックします。

【全て表示】 / 【全て非表示】：すべてのファイルをビューア上に表示/非表示にします。

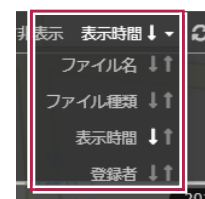
各ファイルの目のアイコンをクリックしても切り替えられます。

(※目のアイコンは位置情報のある写真のみ表示されます。)



【表示時間】：ファイルの並び順（【ファイル名】、【ファイル種類】、【表示時間】、【登録者】）を切り替えます。

各並び順の右側にある↓↑をクリックして、「昇順」「降順」を切り替えることができます。



【更新】：最新の状態に更新します。

【最大化】：ファイル一覧を全画面で表示します。元の表示に戻す場合は、【縮小】をクリックします。

【閉じる】ボタン：ファイル一覧を非表示にします。

ファイルアイコンをクリックで再表示できます。



3D

【現場情報】の【3Dを利用する】がオンの場合

タイムライン右側にファイル種別切り替えボタンが表示されます。

ファイル一覧を確認する場合は、【共有ファイル】を選択してください。



10-5 地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える

地図上に表示されている写真や注釈、計測結果などの、表示/非表示を切り替えます。

- 1 画面左上にある「写真」、「注釈・計測」のオン・オフを切り替えます。

「写真」や「注釈・計測」が表示されていない場合は、「表示設定（目のアイコン）」をクリックしてください。



「写真」をオフにした場合



「写真」、「注釈・計測」をオフにした場合



補足

ファイルごとに表示/非表示を切り替えるには

ファイル一覧で、各ファイルの「目のアイコン」をクリックすることで、表示/非表示を切り替えることができます。
（※位置情報がある写真のみ、目のアイコンが表示されます。）



3D

【現場情報】の【3Dを利用する】がオンの場合

【写真】、【注釈・計測】のほか、【設計】（三角網、中心線形、測点名、横断線）、【現況】、【3Dモデル】、【図面】の表示/非表示を切り替えることができます。



図面

※最前面に表示されます。
※図面の位置がずれる場合は、
「図面が正しい位置に配置されない場合」
(P.139)を確認してください。

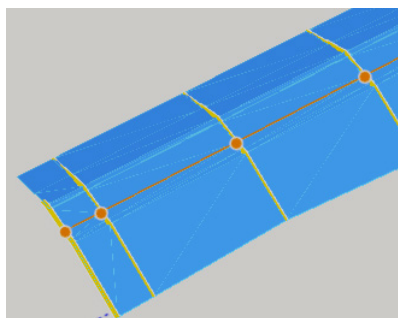
※3Dモデル、図面の表示について

ファイル管理のファイル情報で、【現場ビューア】が
【表示する】になっているデータが表示されます。

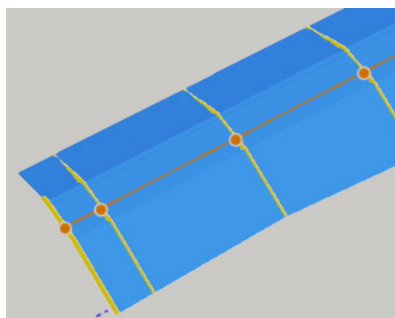
(次ページへ続きます)

「三角網」の右側のボタンをクリックすると、「面+線（ワイヤー）」「面のみ」「線（ワイヤー）のみ」を切り替えることができます。

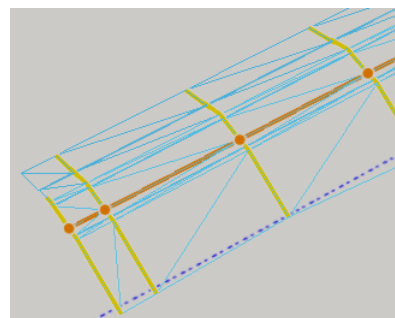
「面+線（ワイヤー）」



「面のみ」

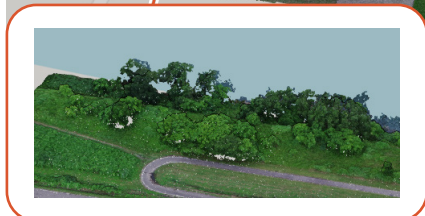


「線（ワイヤー）のみ」

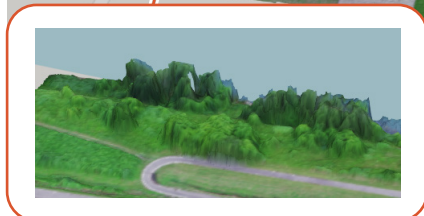
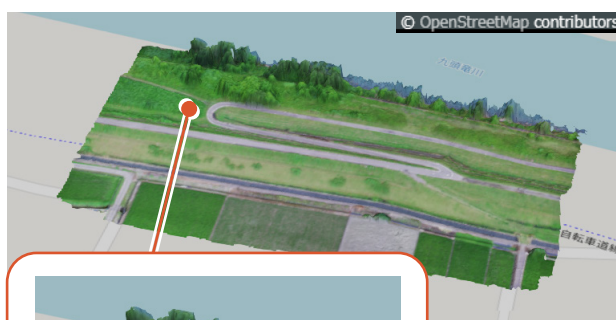


「現況」の右側のボタンをクリックすると、「点群」「メッシュ」を切り替えることができます。
メッシュデータの範囲については次ページを確認してください。

「点群」

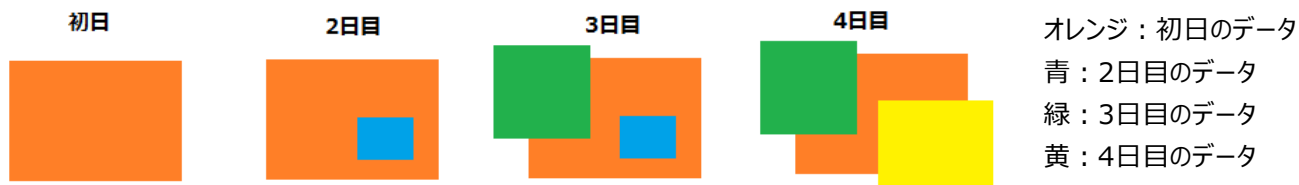


「メッシュ」



メッシュデータの範囲について

日々アップロードされる現況点群データを時系列順に継承したデータが作成されます。

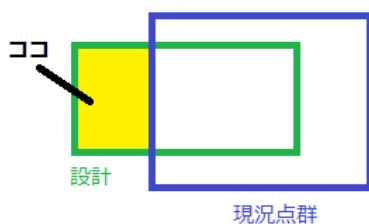


色付きの四角形は現況点群データの範囲です。

前日までの現況範囲の外であれば追加され、範囲内であれば上書き（差し替え）されます。

したがって、「メッシュデータの範囲」は「その日の現況点群データの範囲」より広くなることがあります。

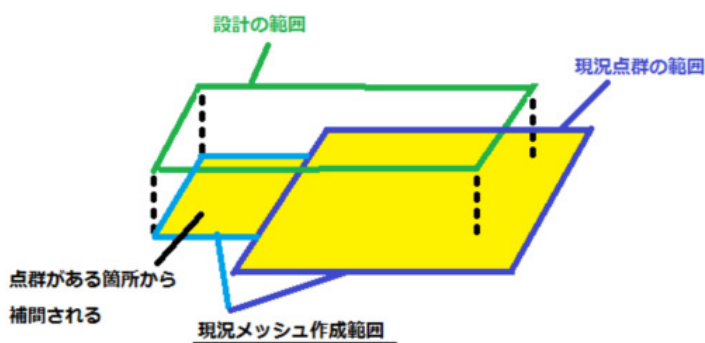
設計データの範囲に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が比較範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群データを用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

3D 図面が正しい位置に配置されない場合

図面の座標情報が誤っている場合、正しい位置に配置されません。

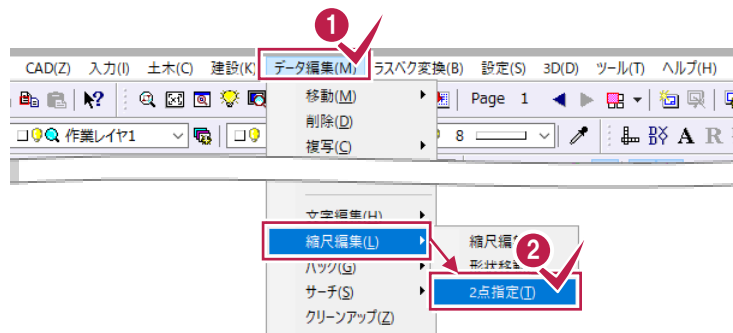
「EX-TREND武蔵 建設CAD」などの図面作成アプリケーションを使用して、座標値を正しく設定してください。

■ 建設 CAD で座標値を設定する方法

ここでは、建設CADの「縮尺編集」－「2点指定」を利用して、座標値を訂正する方法を説明します。

「縮尺編集」－「2点指定」では、図面上の2点を指定して、現場座標値を設定することができます。

① メニューバーの「データ編集」をクリックします。



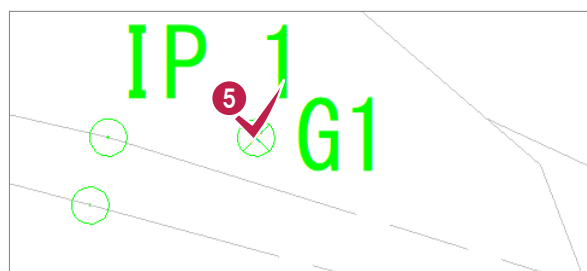
② 「縮尺編集」－「2点指定」をクリックします。

③ 訂正する縮尺をオンにします。

④ [OK] をクリックします。



⑤ 1点目の基準点をクリックします。



⑥ 2点目の基準点をクリックします。



(次ページへ続きます)

7 座標値を入力します。

8 [OK] をクリックします。

現場座標値/距離

7 座標値入力

1点目
X座標 11158.926 m
Y座標 24837.639 m << 座標入力一覧

2点目
X座標 11188.949 m
Y座標 24709.278 m << 座標入力一覧

☐ 距離入力 距離 0.000 m

8 OK キャンセル

9 縮尺を確認します。

縮尺の編集と共にCADデータも変更
する場合は、[CADデータも変更]
をオンにします。

10 [OK] をクリックします。

縮尺編集確認

? コマンドを実行すると、UNDOができなくなります。実行しますか？

9 現在の縮尺

名称	データ	縦縮尺	横縮尺	原点X	原点Y	回転角
プロット	○	300	300	11280.481	24954.203	0.0000

↓

編集後の縮尺

名称	データ	縦縮尺	横縮尺	原点X	原点Y	回転角
プロット	○	300	300	11084.559	24656.459	0.0000

計測縮尺値変更 300

☐ CADデータも変更

10 OK 戻る 中止

10-6 管理断面を確認する

3D

管理断面を確認します。

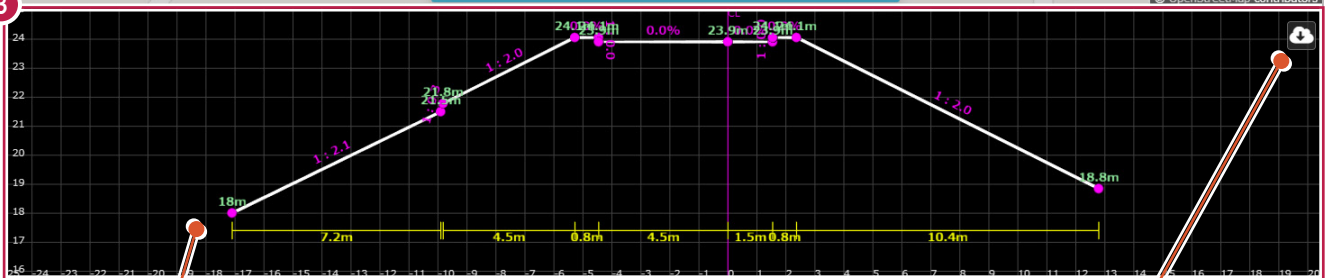
設計データが登録されている現場で確認してください。

① [断面▼] - [管理断面] をクリックします。

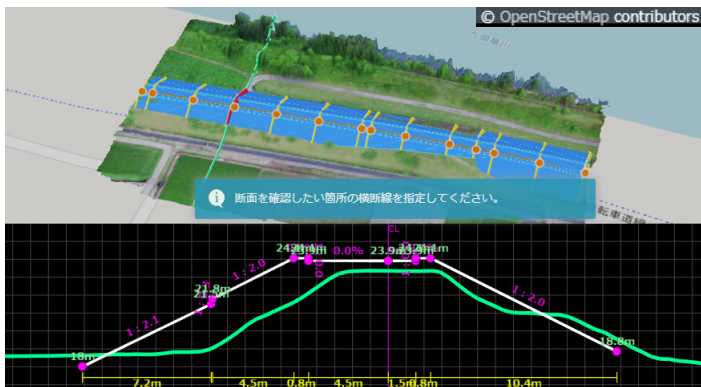
② 確認したい横断線をクリックします。

③ 管理断面を確認します。

④ [断面] をクリックして、コマンドを終了します。



地図ビューに現況データが表示されている場合、断面ビューにも現況データの断面（緑の線）が表示されます。



[DXF出力]  をクリックすると、断面形状図面をDXF形式で保存することができます。（断面線とCL線が出力されます。寸法線などは出力されません。）

10-7 任意断面を確認する

3D

任意断面を確認します。

設計データもしくは点群データが登録されている現場で確認してください。

- ① [断面▼] - [任意断面] をクリックします。



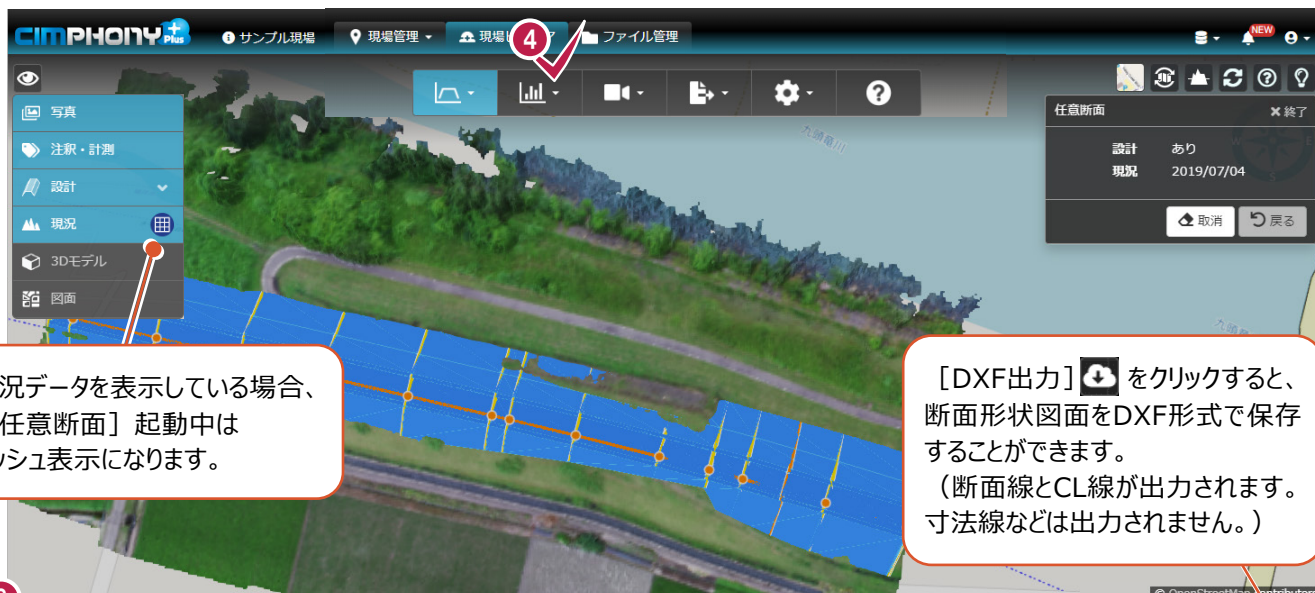
- ② 任意断面の開始点、終了点を順にクリックします。

現場ビューの場合、設計と現況の情報が表示されます。
[×終了] をクリックすると、コマンドが終了します。



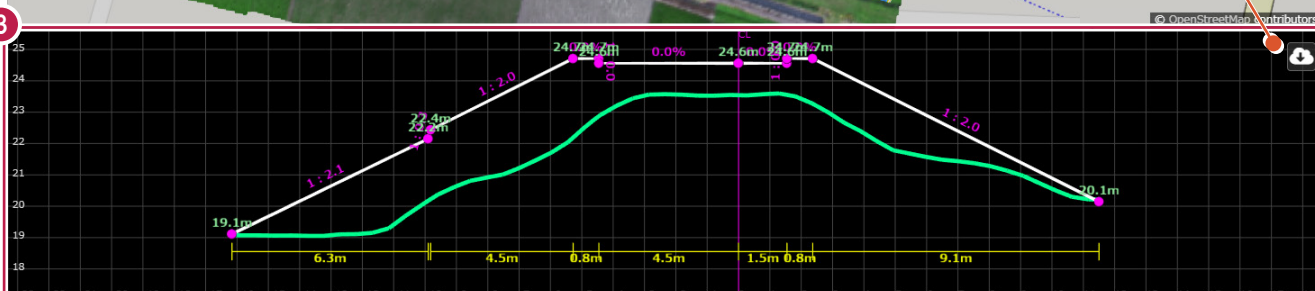
- ③ 任意断面を確認します。

- ④ [断面] をクリックして、コマンドを終了します。



現況データを表示している場合、
[任意断面] 起動中は
メッシュ表示になります。

[DXF出力] をクリックすると、
断面形状図面をDXF形式で保存
することができます。
(断面線とCL線が出力されます。
寸法線などは出力されません。)



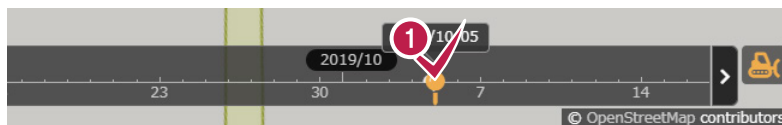
10-8 現況データを比較する 3D

現況データと設計データを比較し、違いを標高差モデルとして表示します。

2つの現況データを比較することもできます。

ここでは、点群データと設計データを比較する操作を説明します。

- ① タイムラインで、日付を選択します。

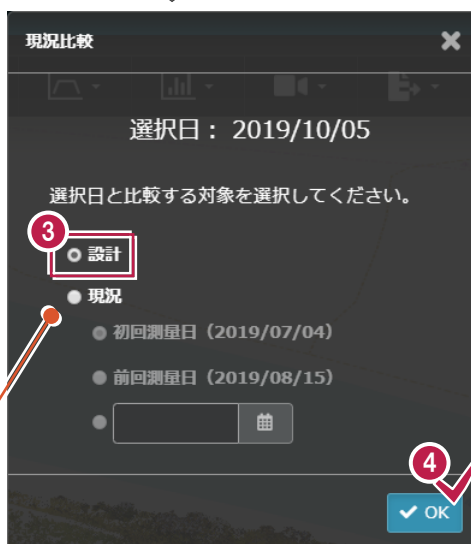


- ② [施工状況▼] - [現況比較] をクリックします。



- ③ 比較する対象を選択します。
ここでは、[設計] を選択します。

- ④ [OK] をクリックします。



※ [現況] 選択時、以下のいずれかを選択します。

[初回測量日] : 測量日時が1番古い現況データと比較します。

[前回測量日] : ① の直前の現況データと比較します。

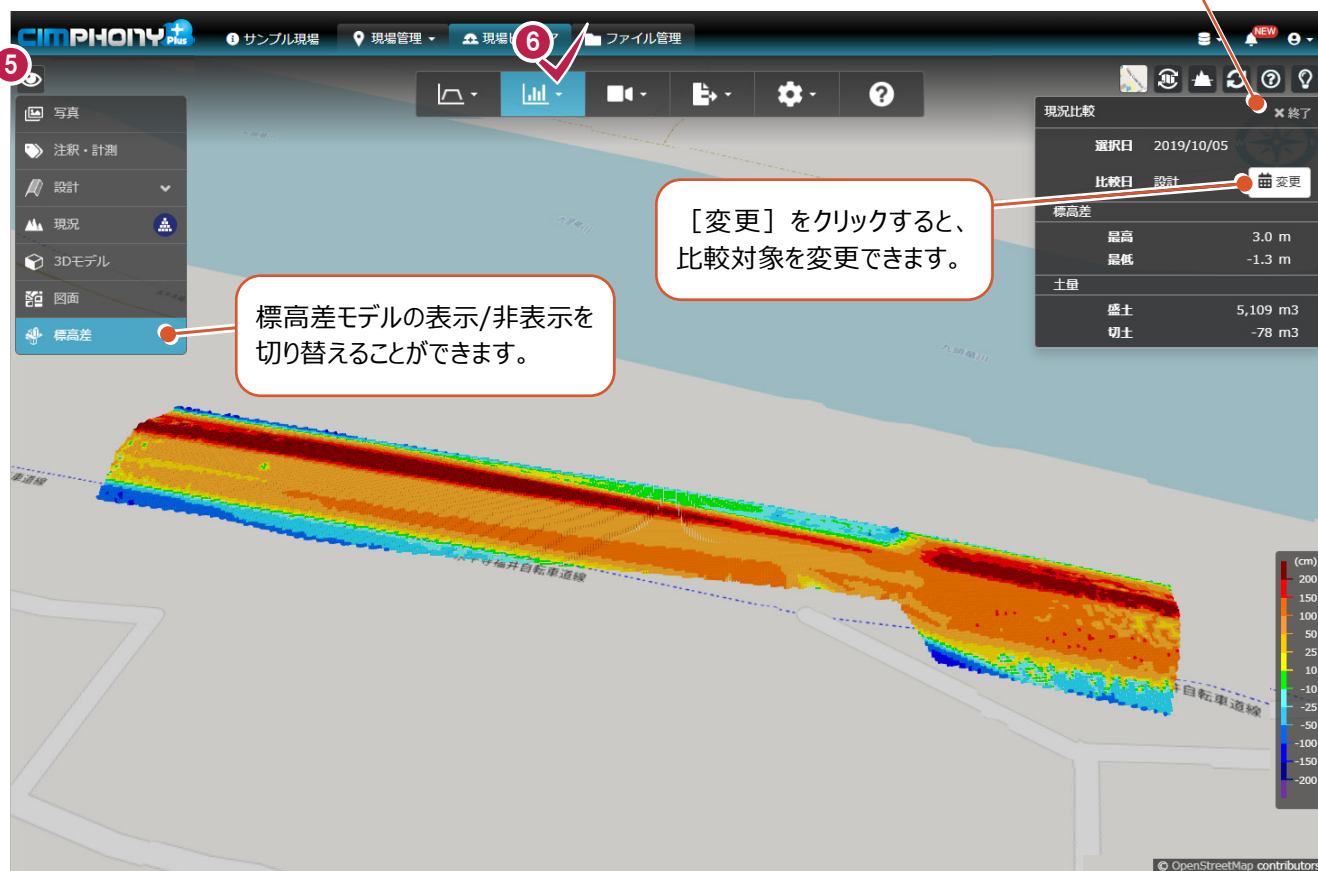
[カレンダー] : カレンダーで選択した日の現況データと比較します。

※「選択日」の現況データを「比較する対象」に指定することはできません。

⑤ 標高差、土量を確認します。

⑥ [施工状況] をクリックして、コマンドを終了します。

[×終了] をクリックすると、
コマンドが終了します。

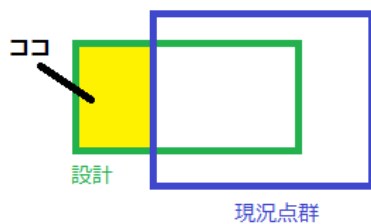


比較範囲について

■ 設計データがある場合

設計データの範囲のみ比較します。（※設計範囲＝比較範囲という考え方）

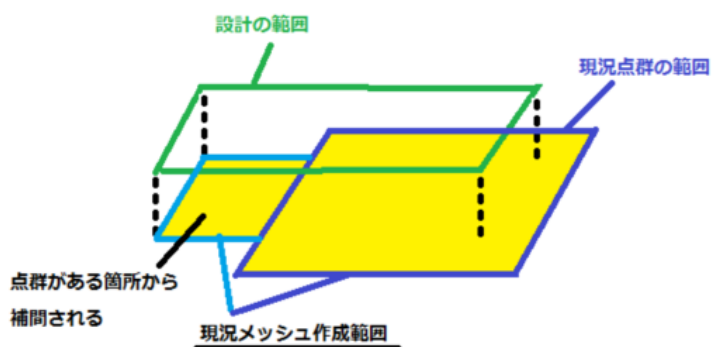
設計データの範囲 に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が比較範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群を用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

■ 設計データがない場合

現況データ全体の範囲（現況メッシュデータの範囲）を比較します。

土量値の計算について

- ・4点平均標高法で計算しています。
- ・格子サイズ50cmのメッシュから計算しています。

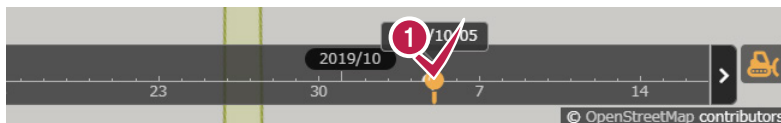
10-9 土量進捗を確認する

3D

土量進捗をヒートマップで確認します。

設計データと点群データが登録されている現場で確認してください。

- ① タイムラインで、初回測量日以降の日付を選択します。



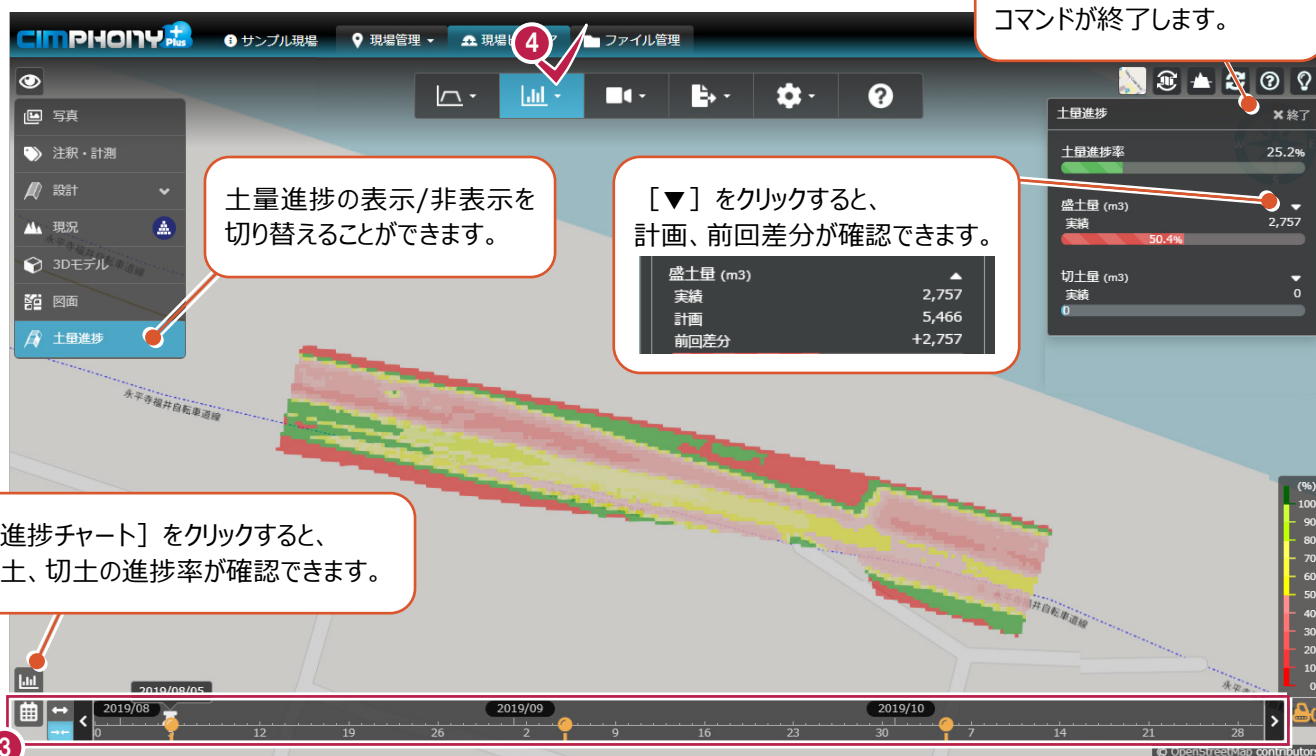
- ② [施工状況▼] - [土量進捗] をクリックします。



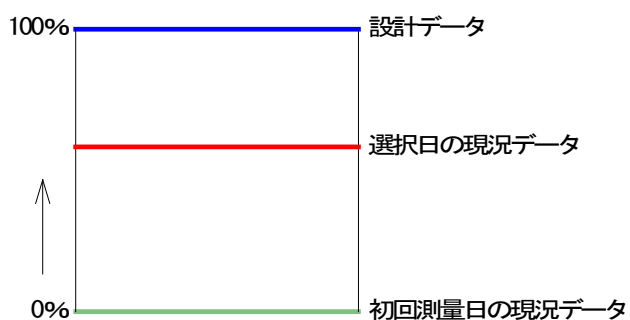
- ③ タイムラインの日付を変更して、土量進捗を確認します。

- ④ [施工状況] をクリックして、コマンドを終了します。

[×終了] をクリックすると、コマンドが終了します。



土量進捗率は、初回測量日を0%、設計データを100%として計算されます。

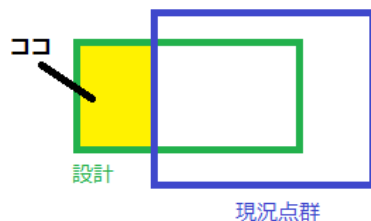


補足

評価範囲について

設計データの範囲のみ評価します。（※設計範囲＝評価範囲という考え方）

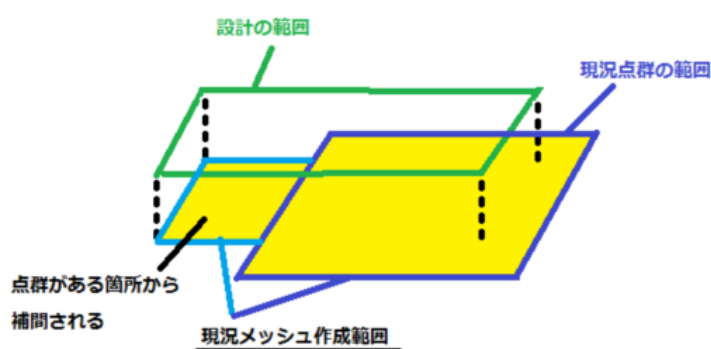
設計データの範囲 に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が評価範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群を用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

補足

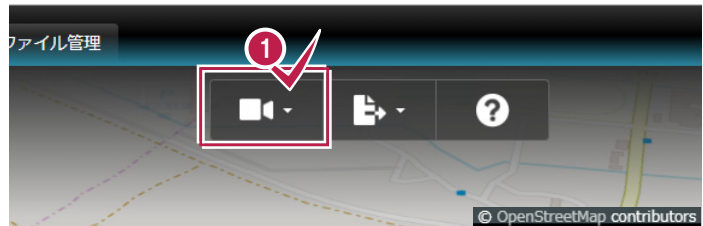
土量値の計算について

- ・4点平均標高法で計算しています。
- ・格子サイズ50cmのメッシュから計算しています。

10-10 視点を切り替える

ビューアの視点を切り替えます。

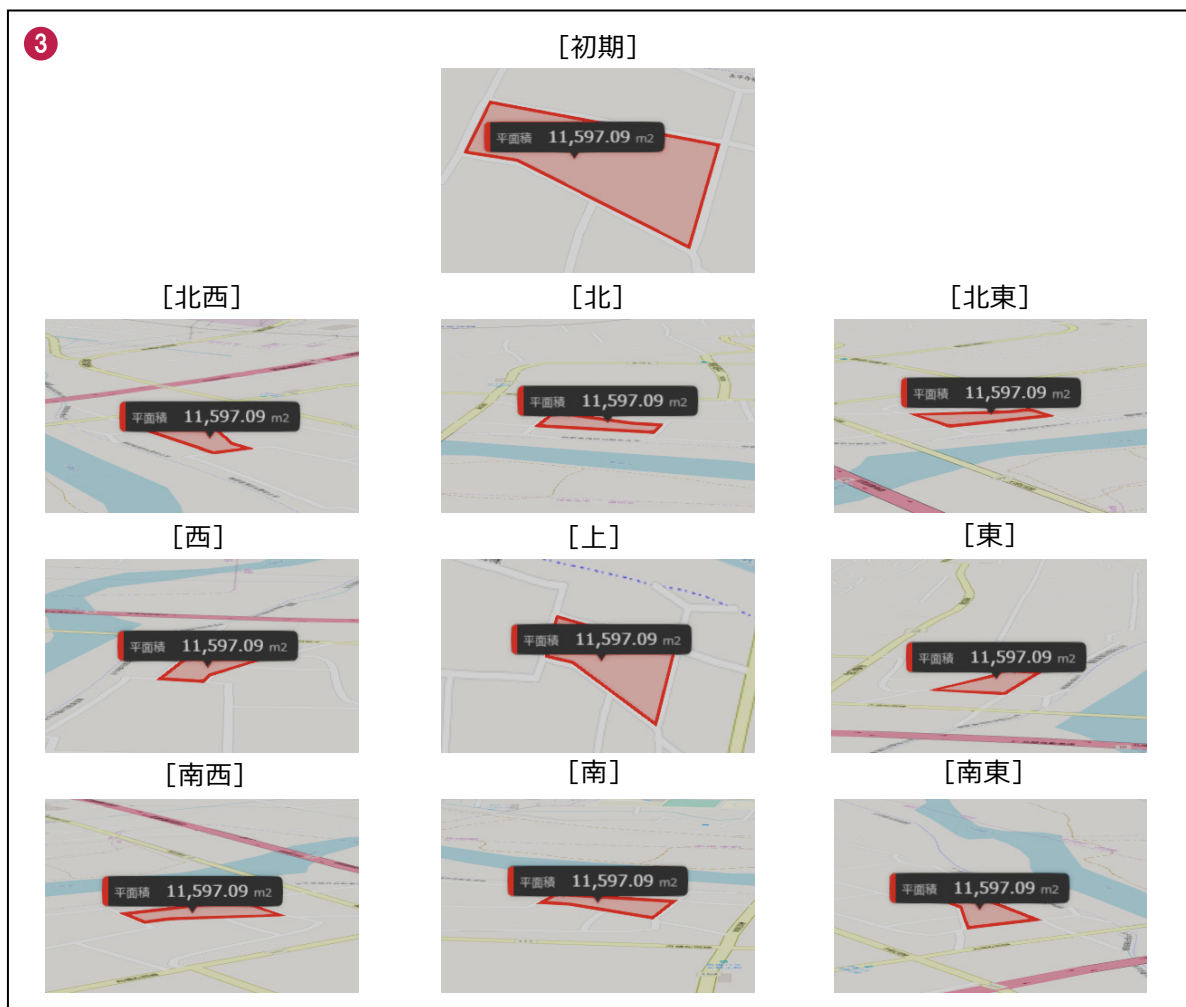
- ① [視点切替] をクリックします。



- ② 方向を選択します。



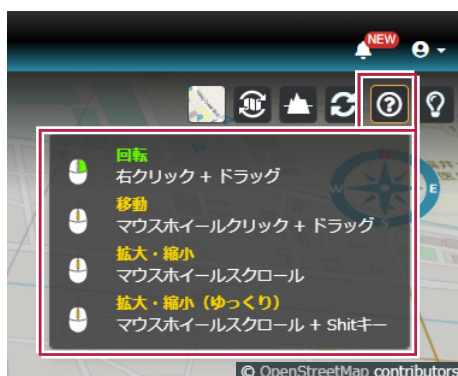
- ③ クリックしたそれぞれの方向から現場をながめるような視点に切り替わります。



画面の拡大・移動・回転について

パソコンの場合は、右ボタンドラッグで「回転」、マウスホイールドラッグで「移動」、マウスホイールを奥に転がして「拡大」ができます。

画面操作については、画面右上のヘルプでも確認できます。



タブレット端末の場合は、1本指を動かして「移動」、2本指を広げて「拡大」、2本指を同じ方向に動かして「傾ける」、2本指を別方向に動かして「回転」ができます。

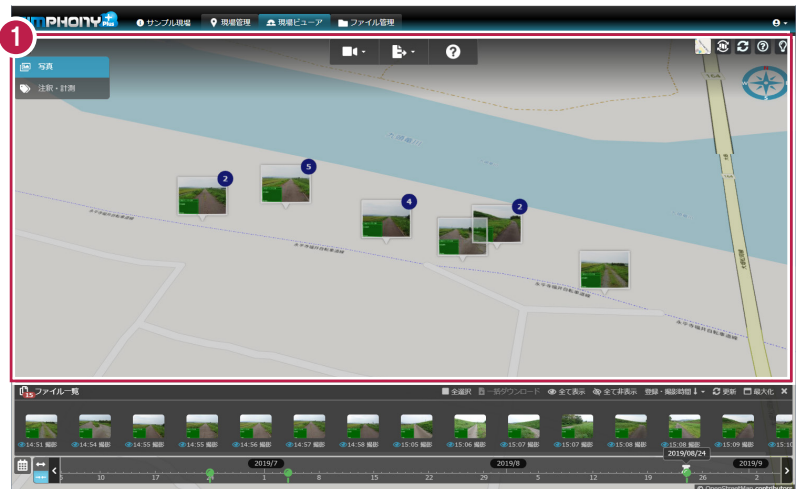
画面の操作方法については、画面右上のヘルプをタップして確認できます。



10-11 現場ビューアの画像を出力する

現場ビューアで表示中の状態を、画像として出力します。

① ビューアで視点を調整します。



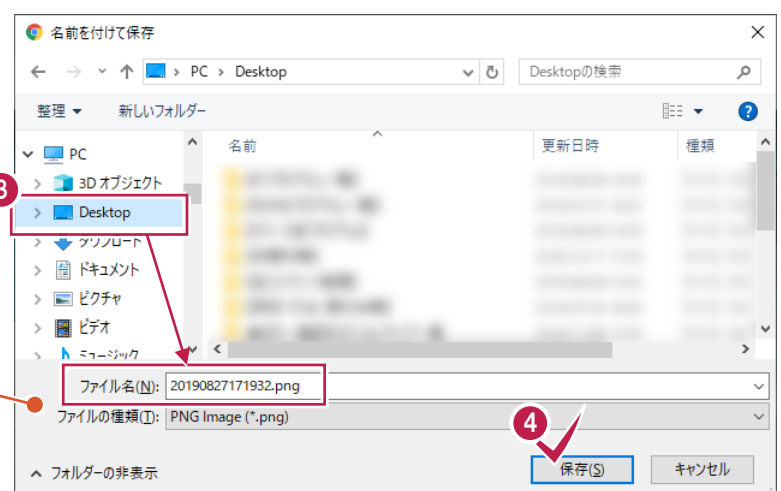
② [出力▼] – [画像出力] をクリックします。



③ 保存先とファイル名を設定します。

④ [保存] をクリックします。

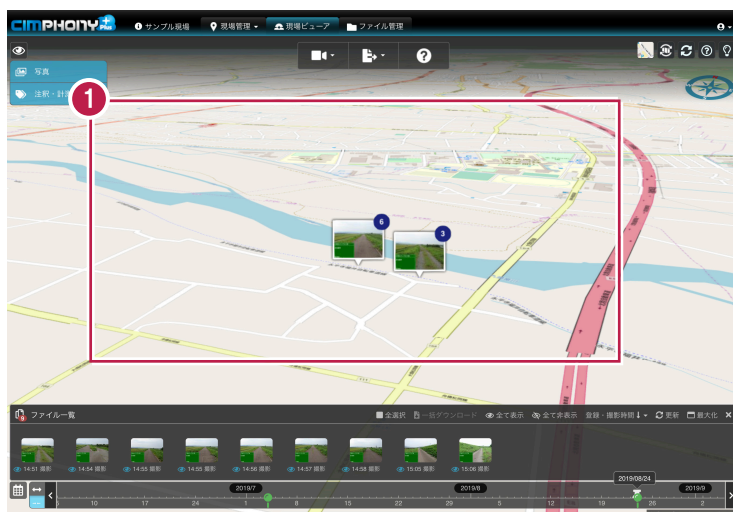
PNG形式で出力されます。



タブレット端末で現場ビューアの画像を出力する場合

タブレット端末によっては、画像出力は以下の操作になります。（例：iPad [Safari]）

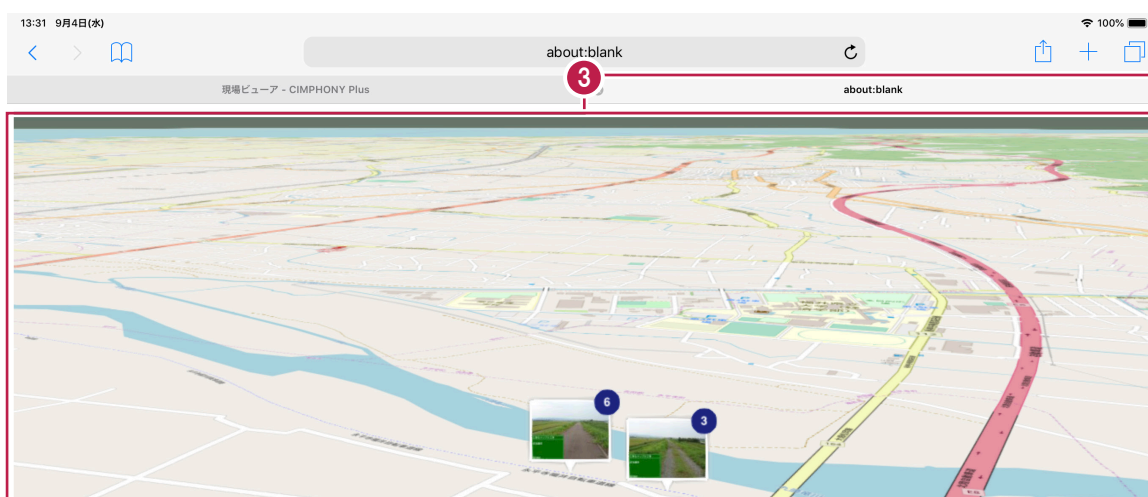
- 1 ビューアで視点を調整します。



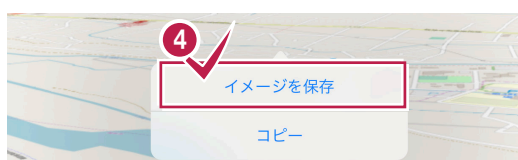
- 2 [出力▼] - [画像出力] をタップします。



- 3 ブラウザの別ページに出力イメージが表示されます。



- 4 画面を長押しし、[イメージを保存] をタップします。



10-12 点群の表示設定を行う

3D

点群の点密度、点サイズ、陰影表示の設定を行います。

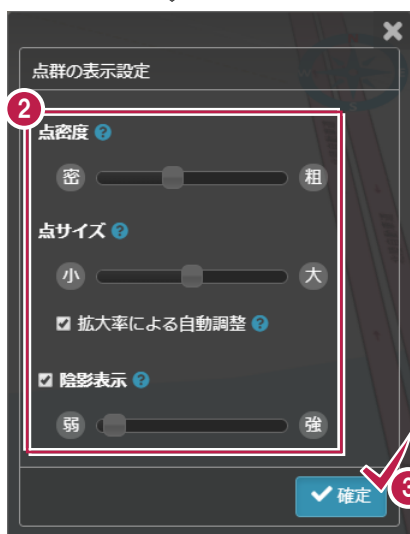
- 1 [表示設定▼] - [点群表示] をクリックします。



- 2 [点密度] [点サイズ] [陰影表示] を設定します。

- 3 [確定] をクリックします。

現場ビューアの点群に設定が反映されます。



〔点密度〕：点群の表示密度を設定します。

〔密〕であるほど点群はきれいに表示されますが、パフォーマンスは低下します。

〔粗〕であるほど点群は粗く表示されますが、パフォーマンスは向上します。

〔点サイズ〕：点のサイズを設定します。

点群が粗い場合は、大きくすることで隙間を埋めて表示されます。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

〔拡大率による自動調整〕：オンにすると、ビューの拡大率によって点のサイズを自動調整します。

縮小したときは点サイズが小さく、拡大したときは点サイズが大きくなります。

〔陰影表示〕：陰影表示のオン・オフと強弱を設定します。

オンにするとパフォーマンスが低下します。

※これらの設定は全現場に適用されます。

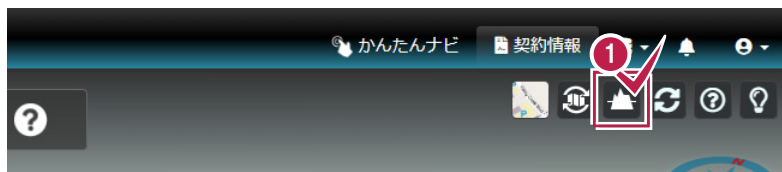
ただし、ユーザーアカウントごとの設定であるため、ほかのユーザーとは共有されません。

10-13 地中のデータの表示/非表示を切り替える

3D

地中のデータの表示/非表示を切り替えます。

- 1 [地中のデータ表示/非表示] をクリックして、表示/非表示を切り替えます。



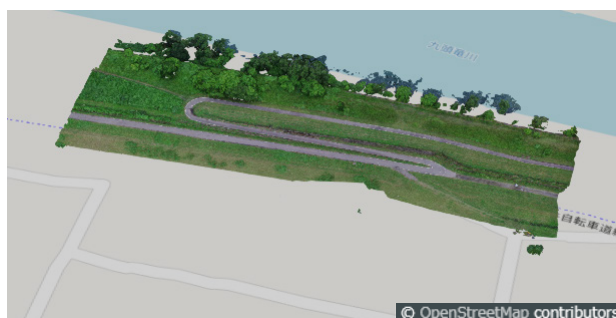
■ 表示オンの場合

地図より下のデータも表示されます。



■ 表示オフの場合

地図より下のデータは表示されません。



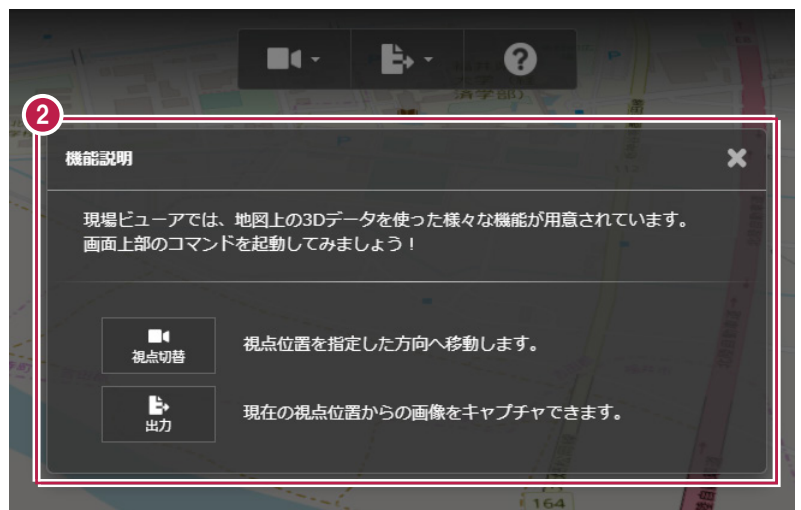
10-14 ヘルプを表示する

ヘルプでは、現場ビューアの各コマンドの概要が確認できます。

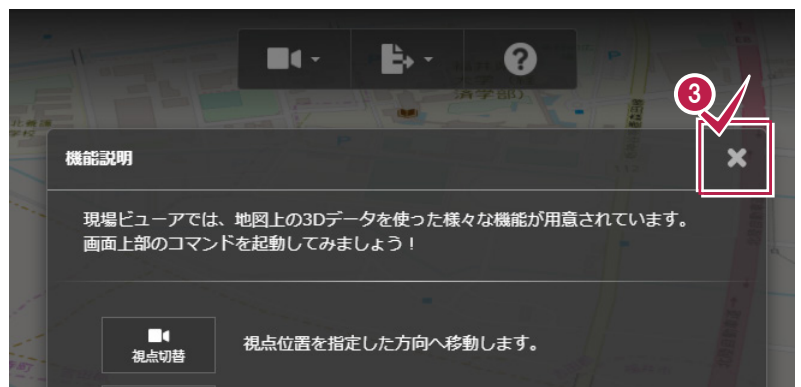
- 1 [ヘルプ] をクリックします。



- 2 機能説明が表示されます。



- 3 [閉じる] ボタンをクリックして、ヘルプを終了します。



11

参照者－ファイル管理

「参照者」権限を持つ方が、「ファイル管理」タブで使用可能な機能について説明します。



11-1 ファイル管理を開く

CIMPAPHONY Plusにアップロードされたファイルを管理している画面を開きます。

① 該当の現場をクリックします。



② 「現場に入る」をクリックします。



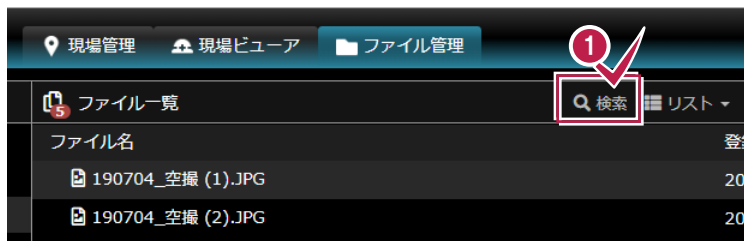
③ 「ファイル管理」タブをクリックします。



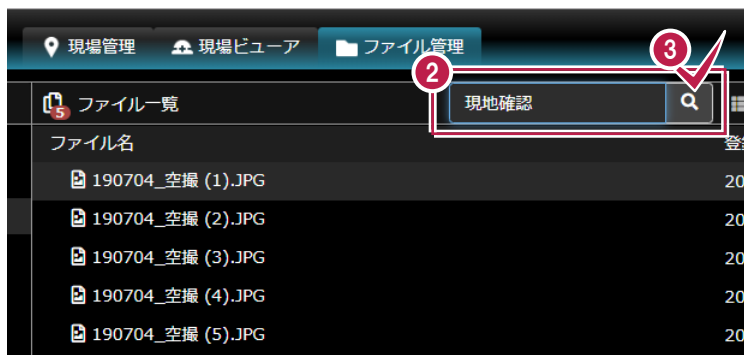
11-2 ファイルを検索する

ファイル名を入力して検索します。

- ① ファイル一覧で、[検索] をクリックします。



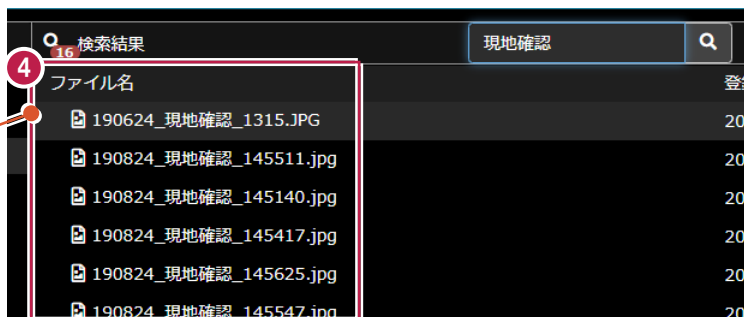
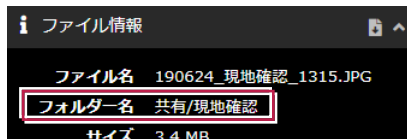
- ② 検索ボックスに、探したいファイルの名称を入力します。
※ファイル名の一部でも構いません。



- ③ [検索] ボタンをクリックします。

- ④ すべてのフォルダー内を検索し、該当したファイルが一覧表示されます。

画面右側のファイル情報で、ファイルが格納されているフォルダーが確認できます。



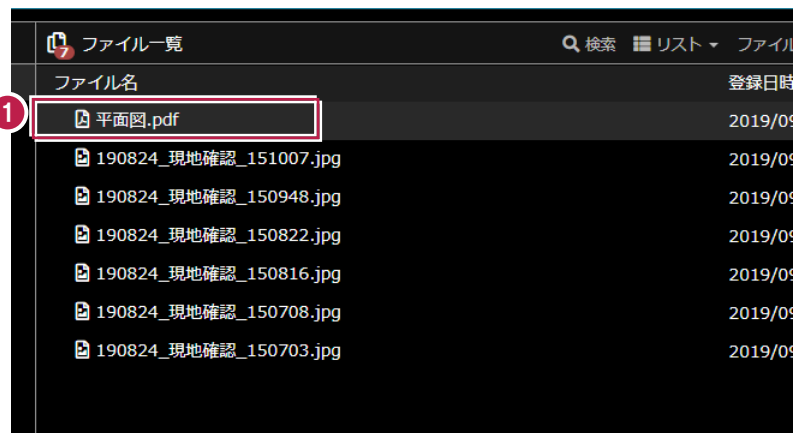
- ⑤ 検索を終了する場合は、[戻る] をクリックします。



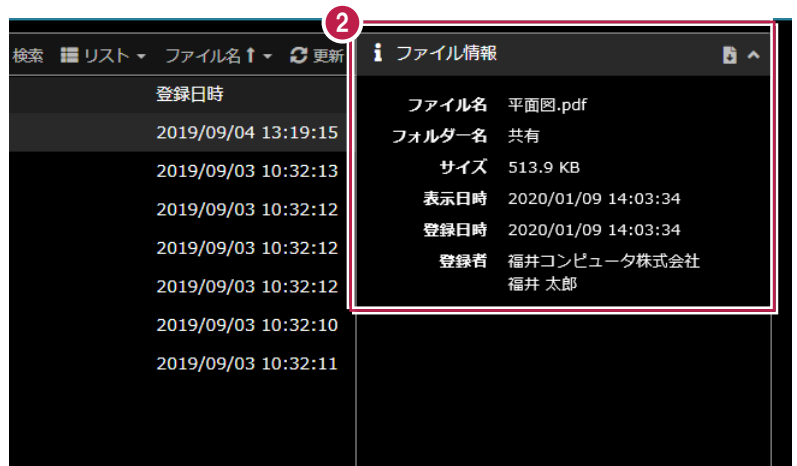
11-3 ファイル情報を確認する

ファイルサイズや登録者などの情報を確認します。

- 1 ファイル一覧で、確認するファイルを選択します。



- 2 画面右側にファイル情報が表示されます。



写真ファイルを選択した場合は、
右のように「画像」と「ファイル情報」
などが表示されます。

画像プレビュー

ファイル情報

Exif情報



11-4 ファイルをダウンロードする

CIMPHONY Plusに登録されているファイルを、パソコンに保存します。

■ 個別にダウンロードする

- 1 ファイル一覧で、ダウンロードするファイルを選択します。

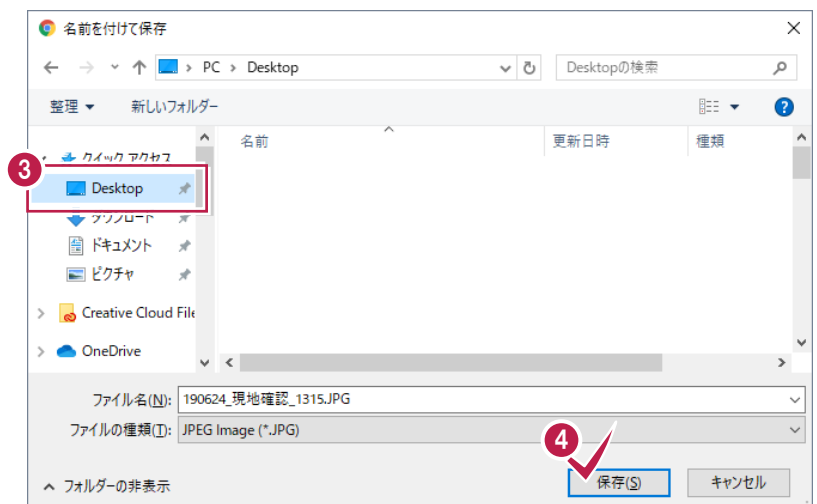


- 2 画面右側のファイル情報で、[ダウンロード]をクリックします。



- 3 保存先を指定します。

- 4 [保存] をクリックします。

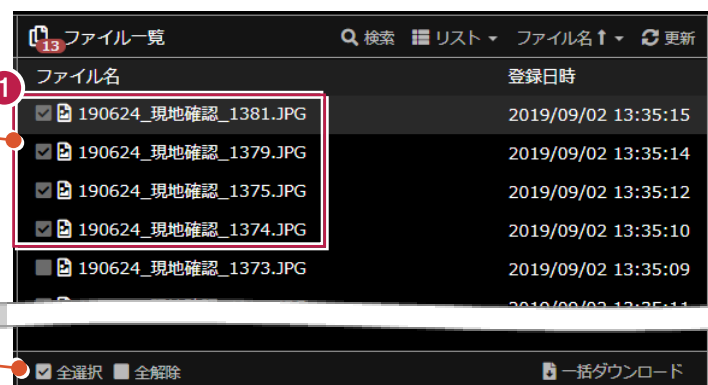


■ 複数ファイルを一括ダウンロードする

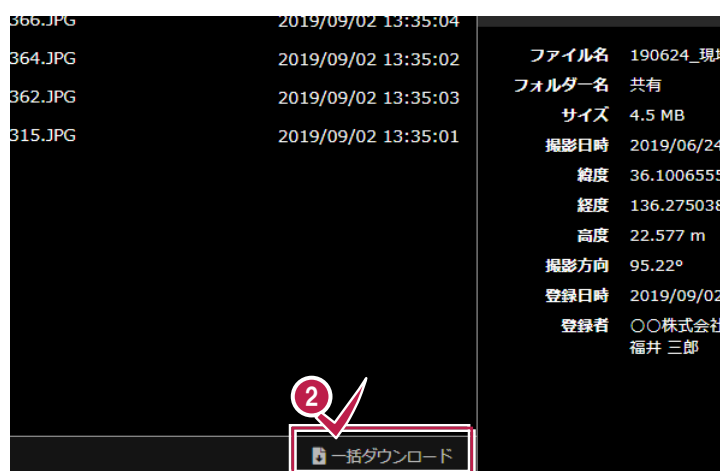
- ① ファイル一覧で、ダウンロードするファイルのチェックをオンにします。

ファイル名にマウスを合わせると
チェックボックスが表示されます。

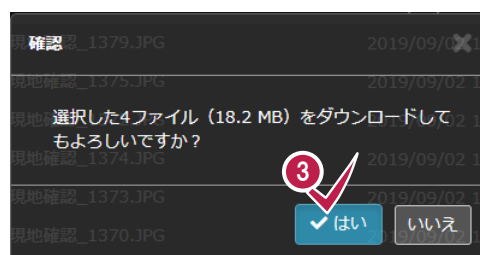
フォルダー内のすべてのファイルを選
択する場合は、[全選択] を
クリックします。



- ② ファイル一覧の右下、[一括ダウンロード] を
クリックします。



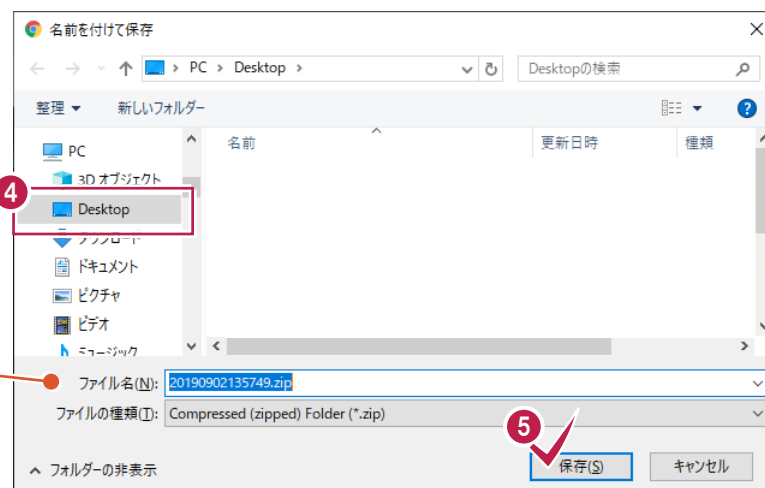
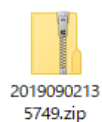
- ③ [はい] をクリックします。



- ④ 保存先を指定します。

- ⑤ [保存] をクリックします。

圧縮ファイル形式で保存されます。
展開してご利用ください。



フォルダー指定で一括ダウンロードする場合

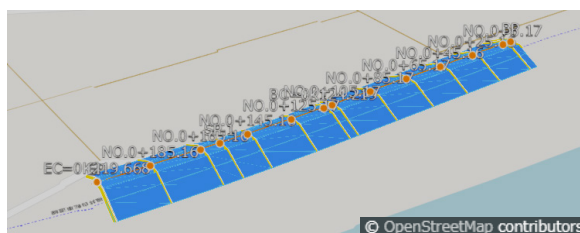
フォルダー内のすべてのファイルを一括ダウンロードする場合は、フォルダー一覧で該当のフォルダーをオンにし、フォルダー一覧の右下「一括ダウンロード」をクリックして、ダウンロードしてください。



3D 3D 専用フォルダーの場合

「設計」「点群」「3Dモデル」「図面」フォルダーを指定して「一括ダウンロード」はできません。
(ファイルを個別に選択して「一括ダウンロード」は可能です。)

ファイル管理の「設計」フォルダーに登録した設計データは「設計ビューア」で確認できます。
対象ファイル形式は、xmlです。



12-1 設計ビューアを開く

3D

設計ビューアを開く方法を説明します。

- ① 該当の現場をクリックします。



- ② 「現場に入る」をクリックします。



- ③ 「ファイル管理」タブをクリックします。

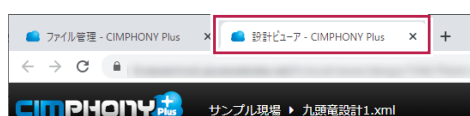


④ 左側のフォルダー一覧で、
「設計」をクリックします。

⑤ ファイラー一覧で、設計データをダブルクリックします。



「設計ビューア」タブが新たに作成されます。



「ファイル情報」の「ビューア」をクリックして開くこともできます。



補足+

「かんたんナビ」から設計ビューアを開く

「現場ビューア」の「かんたんナビ」をクリックして、「設計ビューア」をクリックします。

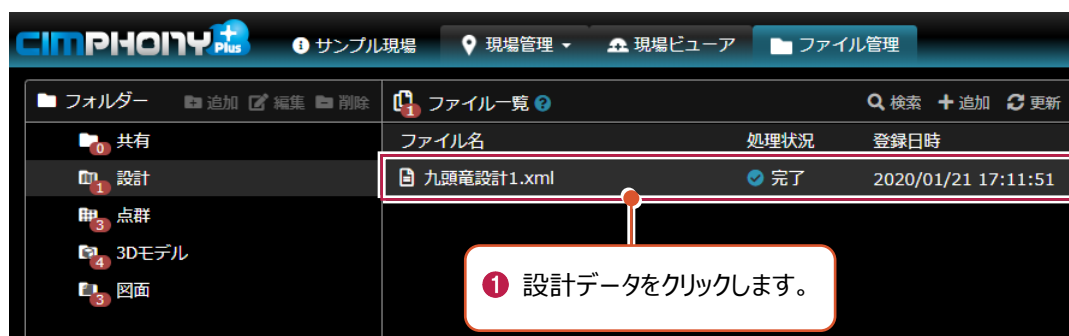


設計データの変更履歴をビューで確認するには

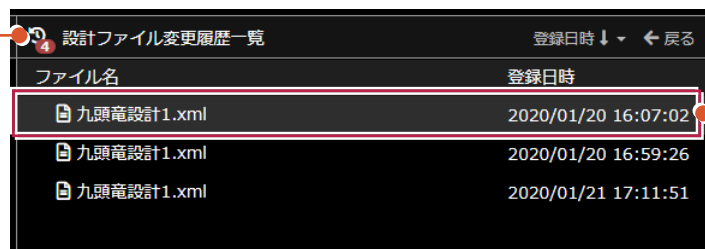
設計データは1データしか登録できませんが、変更前（過去）のデータは「履歴」として残ります。

変更前（過去）のデータも設計ビューで確認することができます。

以下、手順を説明します。

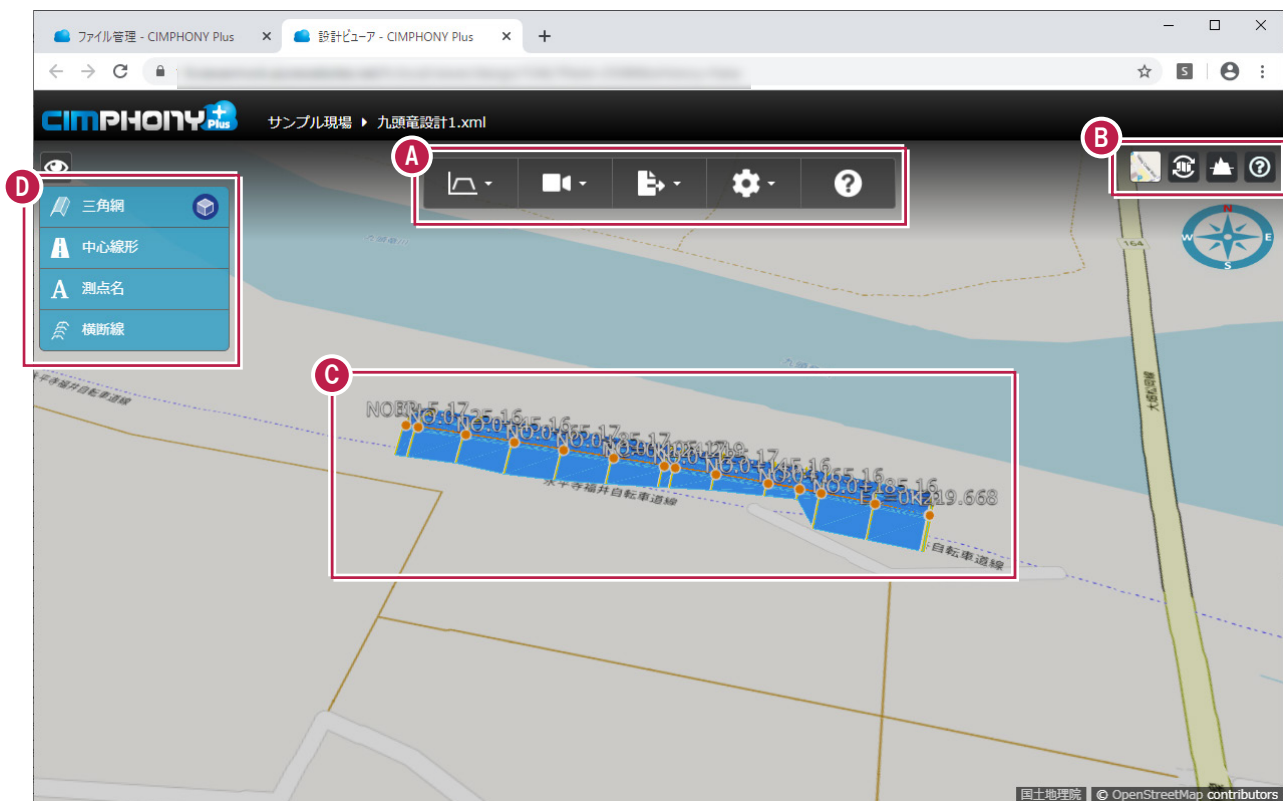


3 設計ファイル変更履歴一覧が表示されます。



12-2 画面構成 3D

画面構成（使用できるコマンドや表示設定など）について説明します。



A	[断面] 	〔管理断面〕または〔任意断面〕を確認します。 詳細は以下のページを参照してください。 所有者、作成者・・・P.78、79 参照者・・・P.141、142  管理断面  任意断面
	[視点切替] 	ビューアの視点を切り替えます。 詳細は以下を参照してください。 所有者、作成者・・・P.87 参照者・・・P.148 
	[出力] 	・〔画像出力〕ではビューアで表示中の状態を画像として出力します。 ・〔URL 共有〕では現場を共有するための URL を出力します。（※参照者権限では使用できません。） ・詳細は以下を参照してください。 所有者、作成者・・・P.89～91 参照者・・・P.150、151  画像出力  URL共有
	[表示設定] 	設計データの標高補正をおこないます。 3次元表示のすべてのビューア共通の設定になります。 （※参照者権限では使用できません。） 詳細は P.93 を参照してください。  標高補正
	[ヘルプ] 	設計ビューアの各コマンドの概要を確認します。

B	[地図の切り替え] 	設計ビューアの背景に表示される地図の種類を変更します。 詳細は P.35 を参照してください。
	[地図の表示/ 非表示] 	設計ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。
	[地中のデータ表示/ 非表示] 	地中のデータの表示/非表示を切り替えます。 詳細は以下のページを参照してください。 所有者、作成者・・・P.94 参照者・・・P.153
	[操作ヘルプ] 	画面操作の方法が表示されます。
C	ビューア	D でオンにした設計データの要素（三角網、中心線形、測点名、横断線）が表示されます。 以下の画面操作ができます。 ・「右クリック+ドラッグ」：回転 ・「マウスホイールクリック+ドラッグ」：移動 ・「マウスホイールスクロール」：拡大、縮小
D	[データ表示メニュー]	各要素（三角網、中心線形、測点名、横断線）の表示/非表示を切り替えます。 ※路線データがない場合（三角網データの場合のみ）は、[データ表示メニュー]が表示されません。 詳細は以下のページを参照してください。 所有者、作成者・・・P.57、58 参照者・・・P.136、137

13

点群ビューア

3D

ファイル管理の「点群」フォルダーに登録した点群データは「点群ビューア」で確認できます。
対象ファイル形式は、txt、csv、asc、xyz、las、laz、e57です。



13-1 点群ビューアを開く

3D

点群ビューアを開く方法を説明します。

① 該当の現場をクリックします。



② 「現場に入る」をクリックします。



③ 「ファイル管理」タブをクリックします。

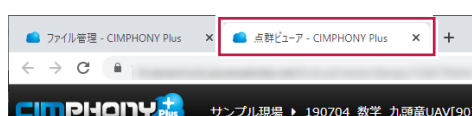


④ 左側のフォルダー一覧で、
「点群」をクリックします。

⑤ ファイル一覧で、点群データをダブルクリックします。



「点群ビューア」タブが新たに作成されます。



「ファイル情報」の「ビューア」をクリックして開くこともできます。



「現場ビュー」のタイムラインから点群ビューを開く

「現場ビュー」のタイムラインで、該当の点群の測量日にあるピンにマウスを合わせると、目のマーク （点群ビュー）が表示されます。クリックすることで点群ビューが開きます。



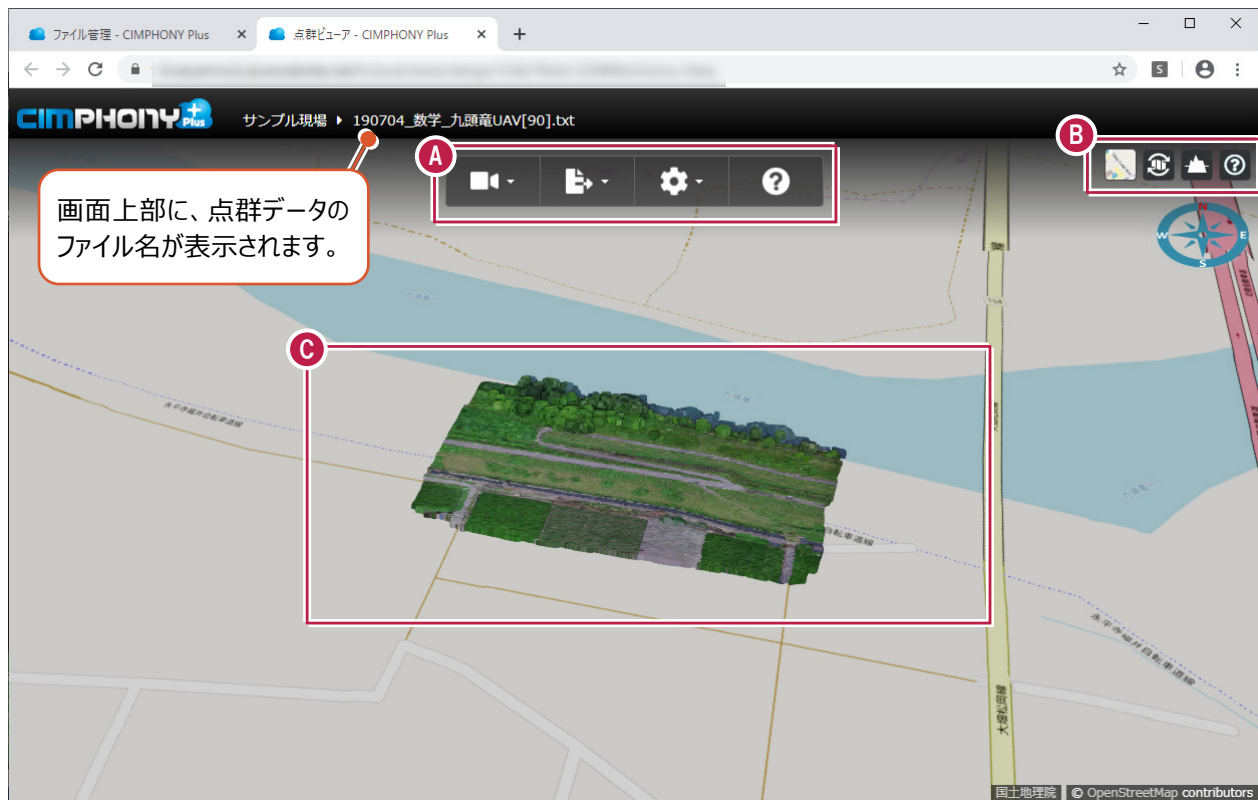
タイムラインから点群ビューを開いた場合は、「測量日」が表示されます。（※ファイル管理から開いた場合は、「点群データファイル名」が表示されます。）

画面左側に、点群データ名が表示されます。
各点群データ名をクリックすると、表示/非表示が切り替わります。

タイムラインから点群ビューを開くことで、同じ測量日の複数の点群ファイルを確認することができます。



画面構成（使用できるコマンドや表示設定など）について説明します。



A	〔視点切替〕 	ビューアの視点を切り替えます。 詳細は以下を参照してください。 所有者、作成者・・・P.87 参照者・・・P.148 
	〔出力〕 	・〔画像出力〕ではビューアで表示中の状態を画像として出力します。 ・〔URL 共有〕では現場を共有するための URL を出力します。（※参照者権限では使用できません。） ・詳細は以下を参照してください。 所有者、作成者・・・P.89～91 参照者・・・P.150、151 
	〔表示設定〕 	・〔点群表示〕では点密度や点サイズ、陰影表示などを設定します。 ・〔標高補正〕では点群の標高補正をおこないます。3次元表示のすべてのビューアで共通の設定になります。（※参照者権限では使用できません。） ・詳細は以下を参照してください。 所有者、作成者・・・P.92、93 参照者・・・P.152 
	〔ヘルプ〕 	点群ビューアの各コマンドの概要を確認します。

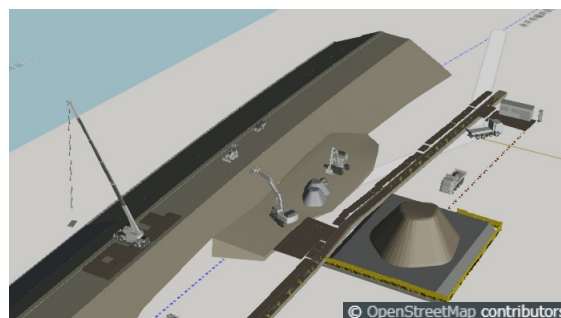
B	[地図の切り替え] 	設計ビューアの背景に表示される地図の種類を変更します。 詳細は P.35 を参照してください。
	[地図の表示/ 非表示] 	設計ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。
	[地中のデータ表示/ 非表示] 	地中のデータの表示/非表示を切り替えます。 詳細は以下のページを参照してください。 所有者、作成者・・・P.94 参照者・・・P.153
	[操作ヘルプ] 	画面操作の方法が表示されます。
C	ビューア	点群データが表示されます。 以下の画面操作ができます。 ・「右クリック+ドラッグ」：回転 ・「マウスホイールクリック+ドラッグ」：移動 ・「マウスホイールスクロール」：拡大、縮小

14

3D モデルビューア

3D

ファイル管理の「3Dモデル」フォルダーに登録した3Dモデルデータは「3Dモデルビューア」で確認できます。
対象ファイル形式は、ifc、dwg/dxf（3D）です。



14-1 3Dモデルビューアを開く

3D

3Dモデルビューアを開く方法を説明します。

① 該当の現場をクリックします。



② 「現場に入る」をクリックします。

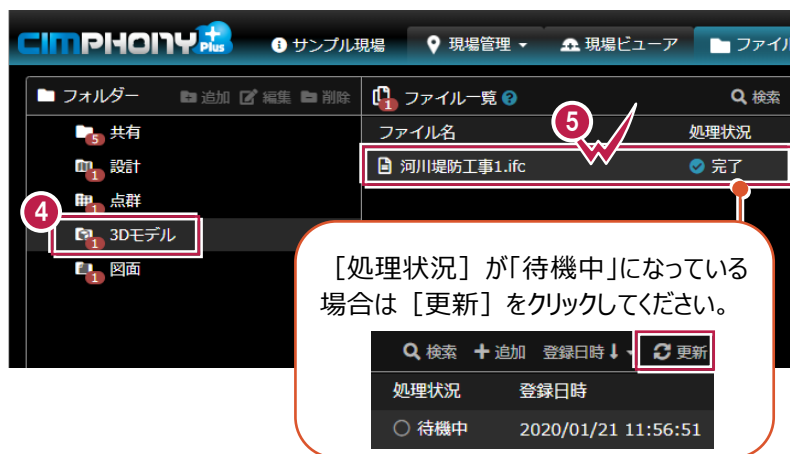


③ 「ファイル管理」タブをクリックします。



④ 左側のフォルダー一覧で、
「3Dモデル」をクリックします。

⑤ ファイル一覧で、3Dモデルデータをダブルクリック
します。



「3Dモデルビューア」タブが新たに作成されます。

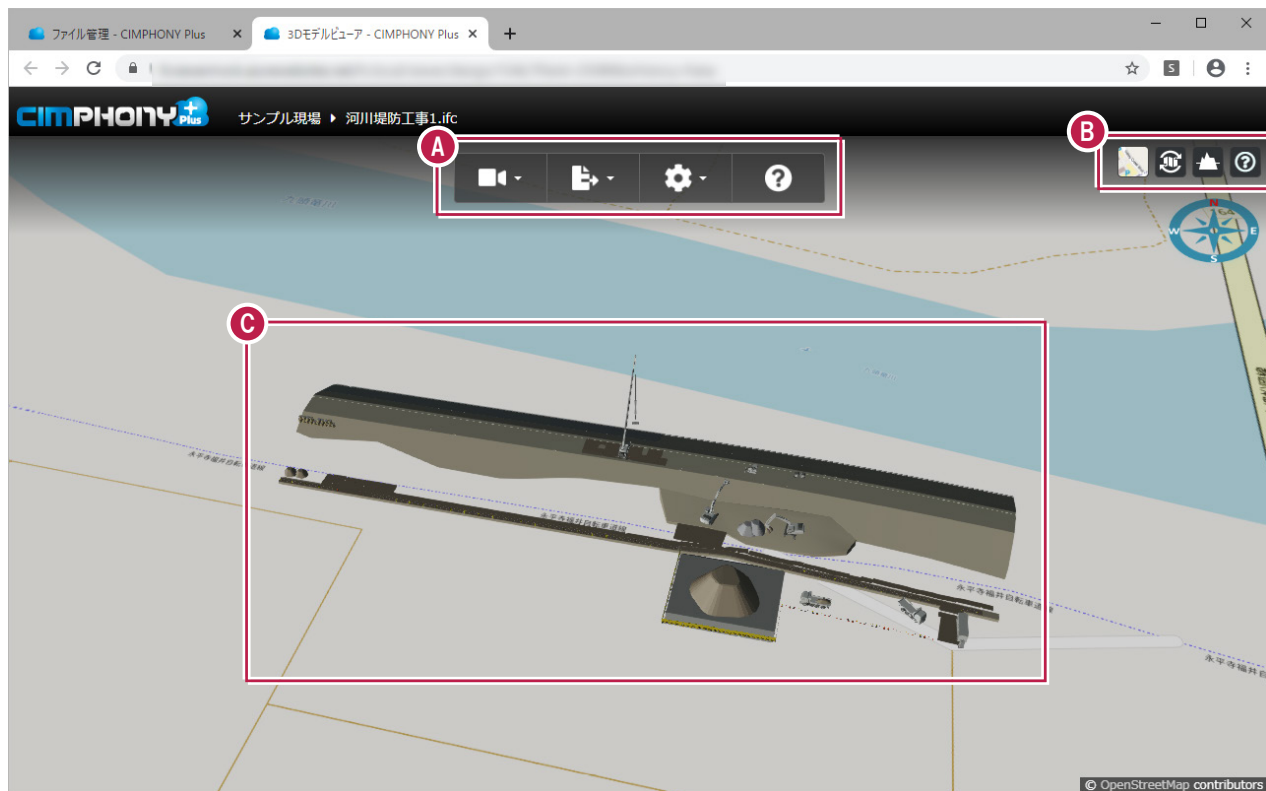


「ファイル情報」の「ビューア」をクリックして開くこともできます。



14-2 画面構成 3D

画面構成（使用できるコマンドや表示設定など）について説明します。



A	〔視点切替〕 	ビューアの視点を切り替えます。 詳細は以下を参照してください。 所有者、作成者・・・P.87 参照者・・・P.148 
	〔出力〕 	・〔画像出力〕ではビューアで表示中の状態を画像として出力します。 ・〔URL 共有〕では現場を共有するための URL を出力します。（※参照者権限では使用できません。） ・詳細は以下を参照してください。 所有者、作成者・・・P.89～91 参照者・・・P.150、151 
	〔表示設定〕 	3D モデルデータの標高補正をおこないます。 3 次元表示のすべてのビューアで共通の設定になります。 （※参照者権限では使用できません。） 詳細は P.93 を参照してください。 
	〔ヘルプ〕 	3D モデルビューアの各コマンドの概要を確認します。

B	[地図の切り替え] 	3D モデルビューアの背景に表示される地図の種類を変更します。 詳細は P.35 を参照してください。
	[地図の表示/ 非表示] 	3D モデルビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。
	[地中のデータ表示/ 非表示] 	地中のデータの表示/非表示を切り替えます。 詳細は以下のページを参照してください。 所有者、作成者・・・P.94 参照者・・・P.153
	[操作ヘルプ] 	画面操作の方法が表示されます。
C	ビューア	3D モデルデータが表示されます。 以下の画面操作ができます。 ・「右クリック+ドラッグ」：回転 ・「マウスホイールクリック+ドラッグ」：移動 ・「マウスホイールスクロール」：拡大、縮小

ファイル管理の「図面」フォルダーに登録した図面データは「図面ビューア」で確認できます。

対象ファイル形式は、sfc/p21、dwg/dxf（2D）です。



15-1 図面ビューアを開く

3D

図面ビューアを開く方法を説明します。

① 該当の現場をクリックします。



② 「現場に入る」をクリックします。



③ 「ファイル管理」タブをクリックします。

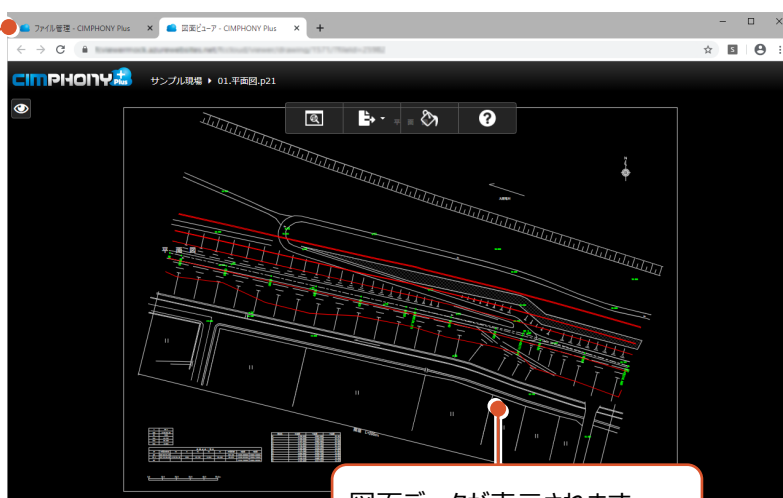


④ 左側のフォルダー一覧で、
「図面」をクリックします。

⑤ ファイル一覧で、図面データをダブルクリックします。



「図面ビューア」タブが新たに作成されます。

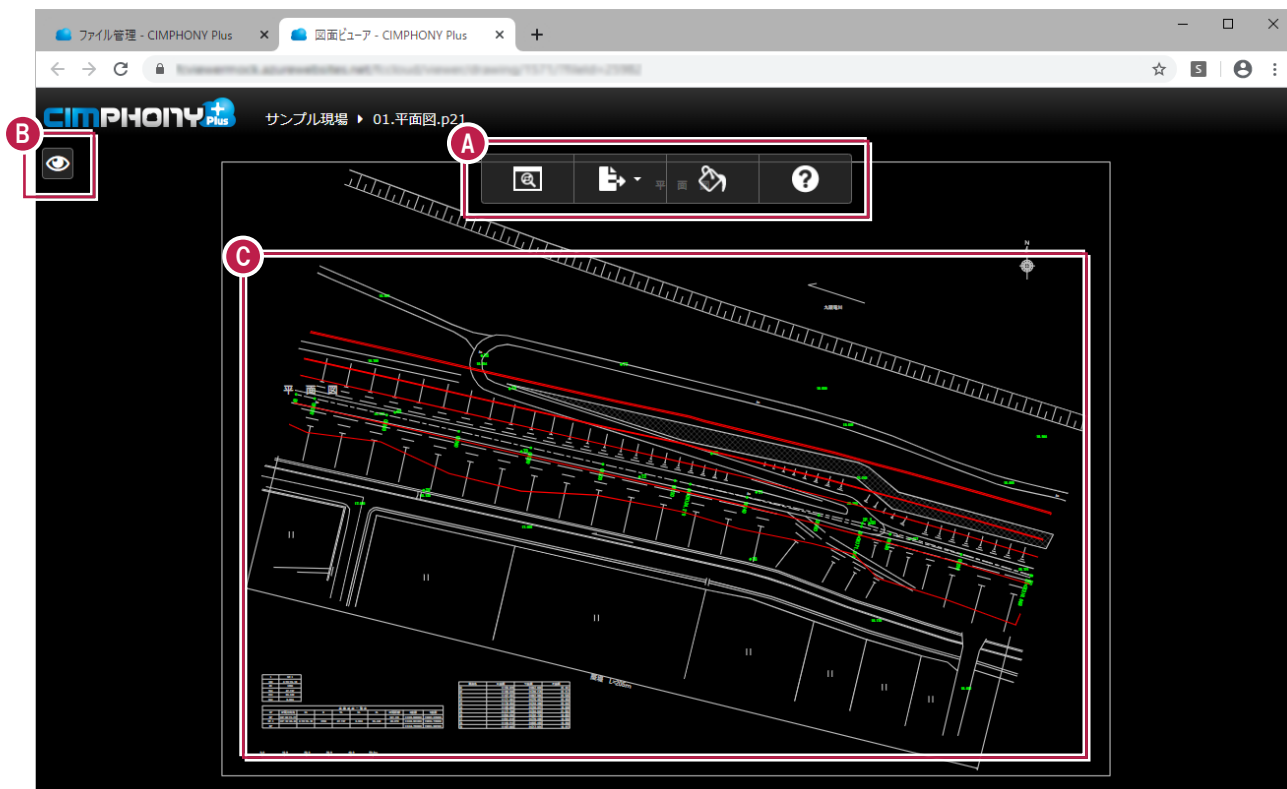


図面データが表示されます。

「ファイル情報」の「ビューア」をクリックして開くこともできます。



画面構成（使用できるコマンドや表示設定など）について説明します。



A	[データ領域]		図面全体を表示します。
	[出力]		・ [画像出力] ではビューアで表示中の状態を画像として出力します。 ・ [URL 共有] では現場を共有するための URL を出力します。（※参照者権限では使用できません。） ・ 詳細は以下を参照してください。 所有者、作成者・・・P.89～91 参照者・・・P.150、151
	[背景色]		ビューアの背景色を白または黒に切り替えます。 背景と同じ色の要素は、色が反転します。
	[ヘルプ]		図面ビューアの各コマンドの概要を確認します。

B	[レイヤ設定] 	レイヤの一覧を表示します。 チェックをオンにしたレイヤに属する要素がビューアに表示されます。 チェックをオフにしたレイヤに属する要素は非表示になります。 [全選択] [全解除] をクリックして、レイヤの表示/非表示を一括で設定することもできます。  ☒ 全選択 ☐ 全解除 ☒ C-TTL ☐ C-STR ☐ C-BMK ☒ C-BMK-SRVR ☒ C-BGD ☒ C-STR-DIM ☒ C-BMK-TXT ☒ C-BMK-HTXT
C	ビューア	B でチェックをオンにしたレイヤに属する要素が表示されます。 以下の画面操作ができます。 <パソコンの場合> ・「マウスホイールスクロール」：拡大、縮小 ・「マウスホイールクリック+ドラッグ」：移動 <タブレットの場合> ・「2本の指を拡げる/縮める」：拡大、縮小 ・「1本の指を一方向に動かす」：移動

+ 補足

図面ビューアでの制限事項

- ラスタ（画像、写真）は表示されません。
- DXF/DWGファイルの場合はモデル空間のみ表示されます。
- ユーザー定義線種はすべて実線に置き換えられます。
- 全体の領域に対して小さすぎる要素は表示されません。
- レイヤ色ではなく、要素が持つ色で表示されます。
- 図面の要素数が多いと、描画速度が遅くなることがあります。

CIMPHONY Plusを操作する際の注意事項を解説します。

16-1 工期終了した現場での作業の制限について

工期終了した現場では、入力/編集系のコマンドが利用できません。
閲覧のみ可能です。（すべての役割が、参照者と同じ権限になります。）

画面	機能	操作
現場ビューア	計測－距離計測	閲覧のみ
	計測－面積計測	閲覧のみ
	計測－体積計測 3D	閲覧のみ
	注釈	閲覧のみ
	断面 3D	○
	施工状況 3D	○
	カラーバーの編集 3D	×
	視点切替	○
	出力－画像出力	○
	出力－URL 共有	×
	表示設定－点群表示 3D	○
	表示設定－標高補正 3D	×
	ヘルプ	○
ファイル管理	フォルダー	閲覧のみ
	ファイル	閲覧のみ
	ダウンロード	○
設計ビューア 3D	断面	○
	視点切替	○
	出力－画像出力	○
	出力－URL 共有	×
	表示設定－標高補正	×
	ヘルプ	○
点群ビューア 3D	視点切替	○
	出力－画像出力	○
	出力－URL 共有	×
	表示設定－点群表示	○
	表示設定－標高補正	×
	ヘルプ	○

画面	機能	操作
3D モデルビューア 3D	視点切替	○
	出力－画像出力	○
	出力－URL 共有	×
	表示設定－標高補正	×
	ヘルプ	○
図面ビューア 3D	データ領域	○
	出力－画像出力	○
	出力－URL 共有	×
	背景色	○
	ヘルプ	○

動作環境

ブラウザ	Google Chrome 9 以降 Microsoft Edge Safari 8 以降 Mozilla Firefox 4 以降 ※上記ブラウザの公式最新バージョン推奨
必要解像度	1280 x 1024 ピクセル 以上
グラフィックス機能	OpenGL 3.2 もしくは OpenGL ES 2.0 以上 ※WebGLが実行可能であること
グラフィックスメモリ	512MB ※1GB以上推奨

※ 上記動作環境は、2020年1月時点のものです。

本製品の取り扱い及び著作権

- (1) 本ソフトウェアおよび本文の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
 - (2) 本ソフトウェアおよび本文の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
 - (3) 本ソフトウェアを複数の機械で同時に使用する場合は、機械と同数の本ソフトウェアが必要です。
 - (4) 本ソフトウェアの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
 - (5) 運用した結果の影響については(4)の項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
 - (6) 弊社以外のソフトウェアに関するお問い合わせはご遠慮願います。
 - (7) データのバックアップについて
お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存してください。
また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - Windowsの正式名称は、Microsoft (R) Windows (R) Operating Systemです。
 - Apple、iPad、iPhone、iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
 - Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Acrobat Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
 - OpenStreetMap® はOpenStreetMap財団（OSMF）がOpen Data Commons Open Database License (ODbL) の下にライセンスするオープンデータです。
OpenStreetMapならびに拡大鏡のロゴおよびState of the MapはOpenStreetMap財団の登録商標です。
 - HeartRails Geo API Copyright (C) 2006 - 2020 HeartRails Inc. Some Rights Reserved.
 - GDAL Copyright (c) 2000, Frank Warmerdam, Released under the MIT license
<http://svn.osgeo.org/gdal/trunk/gdal/LICENSE.TXT>
 - E57 Foundation API Copyright 2009 - 2010 Kevin Ackley (kackley@e57consulting.com), All Rights Reserved.
 - Xerces-C++ Copyright (c) 1999-2016 The Apache Software Foundation.
 - 解説画面を含め、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
 - EX-TREND武蔵は、福井コンピュータホールディングス株式会社の登録商標です。
 - TREND-ONE、TREND-FIELD、TREND-POINT、TREND-COREは、福井コンピュータ株式会社の登録商標です。